

令和元年 12 月 24 日（火）

第 3 回まち・ひと・しごと創生有識者会議【資料No. 1】

一関市まち・ひと・しごと創生総合戦略 基本目標及び重要業績評価指標の平成 30 年度末の状況

1 基本目標の平成 30 年度末の状況

基本目標	指 標	現状値 (H26)	目標値 (R1) ※最終年度	実績値 (H30)
I 市民が力を発揮できる仕事を創出し、若者や女性が集うまちを目指します	年間転出超過者数 ※	448 人	329 人	377 人
II 社会全体で子育てを支援し、子育てしやすいまちを目指します	合計特殊出生率	(H25) 1.58	1.65	(H29) 1.40
III 心豊かに安心して暮らせる、住みたい、住んでよかったまちを目指します	65 歳以上の人口に占める要介護認定者（要介護 1～5）の割合 ※	15.7%	15.3%	16.9%
	メタボリックシンドローム該当者及び予備群該当者の割合 ※	(H25) 25.8%	22.0%	(H29) 27.8%
IV 未来へ引き継がれる、誇りと愛着が持てるまちを目指します	市民センターの利用人数	492 千人	541 千人	554 千人

※ 現状値から減少（低下）することを目指す指標

2 重要業績評価指標の平成 30 年度末の状況

基本目標	施策展開の基本的方向	K P I の 30 年度末目標値に対する達成状況					
		A	B	C	D	E	集計中※
I 市民が力を発揮できる仕事を創出し、若者や女性が集うまちを目指します		8	2	3	2	3	2
	① 安定した雇用を創出する	4		3	2		2
	② 新しい人の流れをつくる	4	2			3	
II 社会全体で子育てを支援し、子育てしやすいまちを目指します		3	0	2	2	2	0
	① 結婚、出産の希望をかなえる			1	2	1	
	② 安心して子育てを楽しめる環境の形成	3		1		1	
III 心豊かに安心して暮らせる、住みたい、住んでよかったまちを目指します		5	3	5	3	2	0
	① 地域で安全に安心して暮らせる環境の整備、充実	3		3	2	1	
	② 生きがいを持ち健康に暮らせる環境づくり	2	3	2	1	1	
IV 未来へ引き継がれる、誇りと愛着が持てるまちを目指します		2	2	0	0	1	2
	① 将来にわたって持続可能なまちづくり					1	2
	② 連携と協働によるまちづくり	2	2				
計		18 (33.3%)	7 (13.0%)	10 (18.5%)	7 (13.0%)	8 (14.8%)	4 (7.4%)
(参考) 平成 29 年度末実績		20 (37.0%)	8 (14.8%)	5 (9.3%)	8 (14.8%)	8 (14.8%)	5 (9.2%)

※集計中：実績値未確定等

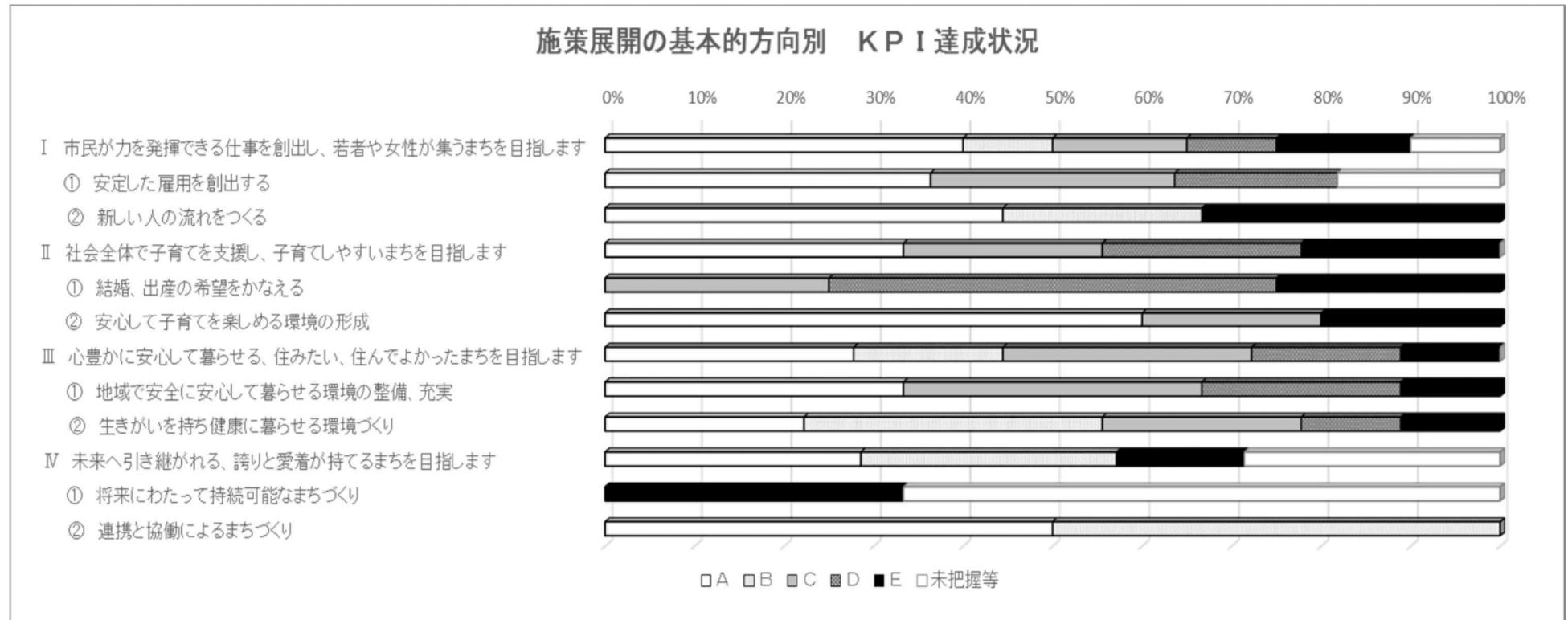
(1) 目標値に対する各年度の達成率の算出方法

$$\text{達成率 (目標比) \%} = \{ \text{H30 年度末実績値} - \text{現状値 (H26)} \} \div \{ \text{H30 年度末目標値} - \text{現状値 (H26)} \}$$

(2) 達成状況を定量的に判定する評価区分 (達成率により、5段階で記載)

A (100%以上)、B (80%以上 100%未満)、C (50%以上 80%未満)、D (0%以上 50%未満)、E (達成率がマイナス (現状値から悪化))

(参考) 重要業績評価指標の平成 30 年度末目標に対する達成状況



一関市まち・ひと・しごと創生総合戦略 基本目標及び重要業績評価指標の達成状況一覧

令和元年12月24日(火)
第3回一関市まち・ひと・しごと創生有識者会議【資料No.2】

基本目標 I

市民が力を発揮できる仕事を創出し、若者や女性が集う街を目指します

数値目標					達成状況						担当部	
指標	目標値設定	目標年度	目標値	現状値	H27年度実績値	H28年度実績値	H29年度実績値	H30年度実績値	R2年度目標値	H30年度実績値に対する評価		今後の取組
年間転出超過者数 ※	転出超過者数を15年かけてゼロにするものとし、5年間で約3割達成する。	R1	329 人	448 人 (H26年度末)	446 人 (H27年)	325 人 (H28年)	431 人 (H29年)	377 人 (H30年)	299 人 (R2年)	平成30年は前年に比べ転入者数、転出者数とも増加したが、転入者数を転出数が上回った。転入・転出とも20代が最も多く、次いで30代が多い。20代は30代にくらべ首都圏への転出が多い。また、東京都・仙台市において転出超過が大きい。景気上昇や人材不足等が地方から東京圏への人口移動に影響を与えていると思われる。	若年層の人口移動が大きいことから、若者の地元定着に向けた取組を進めているが、十分な効果が現れていない。近年は若者の地方帰郷の意識の高まりも見られることから、より効果的な取組が必要である。	市長公室

※現状値から減少(低下)することを目指す指標

I-①-1 地場産業の振興

【主な取り組み】

- ▼地域ブランドのPR促進
- ▼新製品、新技術開発の支援
- ▼生産力、生産性の向上による経営力強化支援
- ▼商業、サービス業の振興支援
- ▼インバウンド観光の推進

達成度 A 100%以上
B 80%以上
C 50%以上
D 0%以上
E 0%未満

No.	重要業績評価指標 (KPI)	目標年度	目標値	H30年度目標値 ※()はH29年度	現状値(H26)	達成状況						達成率 ※()はH29年度	達成度 ※()はH29年度	H30年度実績値に対する評価 ※未確定のものはH29年度実績に対する評価	今後の取組	担当部
						H27年度実績値	H28年度実績値	H29年度実績値	H30年度実績値	R2年度目標値						
1	産地直売施設(道の駅)入込客数	R1	1,155 千人/年	1,134 千人/年	1,052 千人/年	1,068 千人/年	1,040 千人/年	1,052 千人/年	1,255 千人/年	1,300 千人/年	247.6%	A	道の駅むろねが平成30年4月にオープンし、室根地域周辺の観光資源や伝統文化などの魅力を伝えることで集客が見込めた。また、県内外の他の道の駅と連携した道の駅スタンプラリー等のイベント、さらには独自で企画したイベント等の開催により、目標以上の入込客数に至った。	集客効果が見込まれるイベントへの参加支援、独自のイベント企画、開催について継続支援する。	農林部	
2	研究機関等との共同研究数	R1	5 件/年	5 件/年	2 件/年	3 件/年	11 件/年	3 件/年	2 件/年	5 件/年	0.0%	D	平成30年度は、企業のニーズと補助要件が合致せず、市単独補助金の利用による共同研究の実施はなかった。(公財)岩手県南技術研究センターにおいては、共同研究の相談があったものの、企業の資金面や研究内容の技術的問題から実施には至らず、一関高専においては、平成29年度から継続している共同研究2件を実施したものの、新たな共同研究は無かった。	工業相談員による訪問や企業アンケートなどを通じて、企業の動向などをより深く把握し、共同研究の取組みがさらに促進されるよう取り組んでいく。	商工労働部	
3	製造業の製造品出荷額	R1	2,200 億円/年	2,183 (2,167) 億円/年	億円/年	2,097 億円/年	2,036 億円/年	2,092 億円/年	— 億円/年	2,200 億円/年	— (-50.0%)	(E)	平成29年度は、平成28年度と比較し、56億円の増加となっている。当市の主力産業である電子部品・デバイス関連産業や輸送機械産業の生産活動が若干回復したと思われる。	引き続き、企業の設備投資などの企業活動を支援していく。	商工労働部	
4	外国人観光入込客数	R1	21,000 人回/年	18,000 人回/年	5,867 人回/年	9,097 人回/年	13,565 人回/年	20,025 人回/年	25,194 人回/年	27,000 人回/年	159.3%	A	狛鼻溪地区を中心に団体での入込が増えたことで、対前年比25.8%の大幅増となった。 【狛鼻溪 外国人観光客数】 H28 11,614人 H29 15,401人(3,760人増) H30 18,610人(3,209人増)	引き続き、海外等のプロモーション活動の強化を図るなど情報発信と受入体制整備に努めるとともに、DMOや観光協会等の関係機関との連携を図りながらインバウンド誘致を図り、市観光振興計画の目標値(平成33年度)である27,000人回/年度の早期達成を目指す。	商工労働部	

I-①-2 雇用の場の創出

- 【主な取り組み】
- ▼農業経営体の育成
 - ▼企業・事業誘致活動の推進
 - ▼起業、創業支援

達成度 A 100%以上
 B 80%以上
 C 50%以上
 D 0%以上
 E 0%未満

No.	重要業績評価指標 (KPI)	目標年度	目標値	H30年度 目標値 ※()はH29年度	現状値(H26)	達成状況							H30年度実績値に対する評価 ※未確定のものはH29年度実績に対する評価	今後の取組	担当部
						H27年度 実績値	H28年度 実績値	H29年度 実績値	H30年度 実績値	R2年度 目標値	達成率 ※()はH29 年度	達成度 ※()はH29 年度			
5	農業法人数	R1	81 法人	77 法人	61 法人	65 法人	67 法人	70 法人	72 法人	85 法人	68.8%	C	担い手不足のほか、米の直接支払交付金が平成30年から廃止となった等、農業の先行きが不透明であり、任意の営農組合から法人化への動きが鈍くなっている。また、基盤整備事業実施地区については、事業進捗に合わせて引き続き法人化への支援を行っていく。	法人化計画がある組織等に対し、平成30年度に新たに設立した「いわて農業経営相談センター」と連携して引き続き支援を行う。	農林部
6	6次産業化事業化件数	R1	64 件	62 件	54 件	71 件	71 件	74 件	79 件	82 件	312.5%	A	H30年度に事業化した農商工連携開発事業費補助金を活用した事業により、事業化件数が増えた。R2年度末の目標値66件に対して、H30年度末現在79件とすでに事業化件数は上回っている。今後も農商工連携開発事業費補助金を活用した事業が増えると思われる。	今後も県などの関係機関と連携を図りながら、農商工連携開発事業費補助金を活用した事業が増えるよう支援していく。	農林部
7	誘致企業数(18年度からの累計)	R1	31 社	29 社	21 社	21 社	22 社	23 社	24 社	33 社	37.5%	D	企業訪問、物件視察対応等により誘致折衝を行ったほか、展示会出展など多様な誘致活動を展開し、1社の新規立地があったが、立地場所や土地の面積などの条件が合致しなかったため目標数値の達成には至らなかった。	HPや展示会等により市の立地環境や各種優遇制度を広く情報発信する。また、関係機関等との連携を強化し、物件情報の収集、提供を行うとともに企業訪問活動を実施する。	商工労働部
8	製造業事業所数(従業員4人以上)	R1	280 事業所	275 (269) 事業所	253 事業所	276 事業所	248 事業所	252 事業所	— 事業所	280 事業所	— (-6.3%)	— (E)	平成29年度は、平成28年度と比較し、事業所数が4増加している。生産活動の回復や、事業承継支援や起業支援などにより増加したと思われる。	引き続き、一関商工会議所の中小企業支援室等と連携し、事業承継等の支援に力を入れるとともに、起業支援による事業所数増加を図る。	商工労働部

I-①-3 人材の育成

【主な取り組み】

- ▼農業の担い手の育成
- ▼地域企業が行う人材育成への支援
- ▼キャリア教育の推進
- ▼外国語教育の推進
- ▼ことばの力を育てる教育の推進
- ▼郷土愛を育む教育の推進

達成度 A 100%以上
B 80%以上
C 50%以上
D 0%以上
E 0%未満

No.	重要業績評価指標 (KPI)	目標年度	目標値	H30年度 目標値	現状値 (H26)	達成状況							達成率	達成度	H30年度実績値に対する評価 ※未確定のものはH29年度実績に対する評価	今後の取組	担当部
						H27年度 実績値	H28年度 実績値	H29年度 実績値	H30年度 実績値	R2年度 目標値							
9	新規学卒者就農数(累計)	R1	49人	46人	34人	37人	40人	45人	47人	52人	108.3%	A	新規学卒者等就農促進支援事業(JAへ雇用研修を委託)の研修者が、H30年度からの新規就農につながり、目標を達成することができた。	今後も県・JA等の関係機関と連携し、研修者への支援を行う。	農林部		
10	品質管理検定合格者数(累計)	R1	1,028人	956人	541人	668人	677人	727人	755人	1,080人	51.6%	C	企業訪問やHP等により、品質管理検定市内実施の周知を図り、多くの受検者を確保することができた。資格取得の支援講座も継続して実施したが、全国の合格率も低く、目標を達成することができなかった。 【H30年度】合格者数/受検者数(合格率) ・全国 28,113人/55,890人(50.3%) ・一関会場 218人/490人(44.5%) ・うち市内企業 28人/82人(34.1%)	引き続き、企業訪問やHP等により、広く周知し、受検者の増加を図る。また、資格取得支援講座の回数や内容を充実させる等、合格者の増加につながるよう支援していく。	商工労働部		
11	「ことばの先人」の学習に取り組んだ学校の割合	R1	100.0%	100.0%	41.2%	57.6%	75.8%	90.9%	100.0%	100.0%	100.0%	A	市内の小学校全28校で、ことばのテキスト「言海」を使用した取組が実施され、「ことばの先人」の学習に取り組む割合は、100%を達成した。 なお、「ことばの先人」出前講座は7校で実施した。	ことばのテキスト「言海」を使用した取組は今後も全校で実施する。「ことばの先人」出前講座については、未実施の16校(小学校7校、中学校9校)のうち、令和元年度は8校で実施予定で、令和2年度までに全ての学校で実施する。	教育部		

I-②-1 若者定着の推進

【主な取り組み】

- ▼地元企業への理解増進
- ▼地元企業への就職活動支援、移住就労支援
- ▼農業の担い手の確保、育成
- ▼働きやすい職場づくりの啓発
- ▼高等教育機関等の充実

No.	重要業績評価指標 (KPI)	目標年度	目標値	H30年度 目標値	現状値 (H26)	達成状況							達成率	達成度	H30年度実績値に対する評価 ※未確定のものはH29年度実績に対する評価	今後の取組	担当部
						H27年度 実績値	H28年度 実績値	H29年度 実績値	H30年度 実績値	R2年度 目標値							
12	新規就農者数(累計)	R1	473人	453人	373人	390人	411人	427人	441人	493人	85.0%	B	新規就農ワンストップ相談窓口、新規学卒者等就農促進支援事業や農業次世代人材投資事業交付金を組み合わせながら、新規就農に向けた支援を行っているが、平成30年度の新規就農者数は14人に留まった。	今後も新規就農を希望する者のニーズに合わせながら、支援を行う。	農林部		
13	新規学卒者の管内就職率	R1	60.0%	58.4%	51.8%	50.9%	48.5%	47.9%	47.2%	60%	-69.7%	E	関係機関との連携や各種施策の実施により、県内就職率については62.4%と、昨年度60.9%から1.5ポイント上昇しているところであるが、市外の事業所の採用数が多かったこともあり、管内就職率については目標値を下回った。	地元企業の理解を深める取り組みなど、目標数値達成に向け、今後も各種施策の実施及び関係機関との連携を図っていく。	商工労働部		

I-②-2 移住定住の促進

【主な取り組み】

- ▼移住者への経済的支援
- ▼相談窓口の強化
- ▼就農支援
- ▼人材不足への対処
- ▼政府関係機関の移転誘致

達成度 A 100%以上
 B 80%以上
 C 50%以上
 D 0%以上
 E 0%未満

No.	重要業績評価指標 (KPI)	目標年度	目標値	H30年度 目標値	現状値 (H26)	達成状況							H30年度実績値に対する評価 ※未確定のものはH29年度実績に対する評価	今後の取組	担当部
						H27年度 実績値	H28年度 実績値	H29年度 実績値	H30年度 実績値	R2年度 目標値	達成率	達成度			
14	転入者数	R1	2,780 人/年	2,763 人/年	2,697 人/年	2,687 人/年	2,584 人/年	2,603 人/年	2,580 人/年	2,800 人/年	-177.3%	E	平成29年度に比べ、平成30年度は20代及び30代において、盛岡市、仙台市からの転入が減っている。移住者の住宅取得に対する補助制度の利用や、首都圏での移住セミナーの開催などの取り組みは行っているが、転入者数の全体を底上げするまでには至っていない。	移住者住宅取得補助金や移住支援補助金(新規事業)制度の周知により、移住者の増加を図る。	まちづくり推進部
15	空き家バンクの新規登録件数	R1	20 件/年	18 件/年	8 件/年	17 件/年	22 件/年	23 件/年	23 件/年	23 件/年	150.0%	A	チラシの全戸配布を行ったことなどにより、空き家バンクの利用及び問い合わせが増えてきており、当制度が浸透してきている。	空き家バンク制度の周知徹底と宅建協会との連携、補助金制度の周知により、空き家バンクの登録件数、成約件数増を目指す。	まちづくり推進部

I-②-3 交流人口の拡大

- 【主な取り組み】
- ▼観光資源の整備、活用
 - ▼二次交通の充実
 - ▼中心商店街の空き店舗対策
 - ▼一ノ関駅周辺の賑わい創出
 - ▼都市間交流の促進
 - ▼来訪機会の拡大

達成度 A 100%以上
 B 80%以上
 C 50%以上
 D 0%以上
 E 0%未満

No.	重要業績評価指標 (KPI)	目標年度	目標値	H30年度 目標値	現状値 (H26)	達成状況							担当部		
						H27年度 実績値	H28年度 実績値	H29年度 実績値	H30年度 実績値	R2年度 目標値	達成率	達成度		H30年度実績値に対する評価 ※未確定のものはH29年度実績に対する評価	今後の取組
16	観光入込客数	R1	2,300 千人回/年	2,260 千人回/年	2,101 千人回/年	2,204 千人回/年	2,097 千人回/年	2,145 千人回/年	2,621 千人回/年	2,310 千人回/年	327.0%	A	道の駅むろねの開業や、須川地区の18.4%増、一関・平泉パルーンフェスティバル、全国ご当地もちサミット、室根神社特別大祭といったイベントが盛況だったことから、対前年比22.1%の大幅増となり、一関市観光振興計画において計画最終年度の目標値として設定している令和3年度の年間観光入込客数の目標値も達成した。	関係機関と連携し、観光入込客数の増加に加えて通過型から滞在型観光への転換に向けて取り組みや、外国人観光客の誘客に力を入れ、観光振興計画の5つの基本方針を推進していきます。	商工労働部
17	商店街空き店舗率 ※	R1	23.2 %	23.7 %	25.8 %	25.4 %	26 %	27.6 %	28 %	23.2 %	-104.8%	E	空き店舗入居支援の推進のため、各不動産屋へ空き店舗入居支援補助金のチラシを配るなどの周知を行った。空き店舗入居支援制度を利用してH30は5件の入居者があったが、閉店する店舗も多く、空き店舗率の改善には至らなかった。	引き続き、空き店舗入居支援制度により空き店舗への入居を推進していくとともに、商工会議所との連携により、個店の事業継承も支援するなど、空き店舗が増加しない取り組みを進める。	商工労働部
18	市外の選手も参加するスポーツ大会の参加者数	R1	20,000 人/年	19,586 人/年	17,928 人/年	22,836 人/年	24,745 人/年	25,997 人/年	28,473 人/年	30,000 人/年	636.0%	A	各種目別競技協会等が継続して大会を開催していることに加え、輪番制で県大会の会場を設定している大会や新たなスポーツ大会の開催(東北高等学校駅伝競走大会)等により、参加者数が増加し当市の競技力の向上につながっている。	学会等開催補助金制度などにより大会の開催を支援する。	まちづくり推進部

※現状値から減少(低下)することを指す指標

I-②-4 地域の魅力増進や知名度の向上

- 【主な取り組み】
- ▼効果的な情報発信
 - ▼体験、交流事業
 - ▼歴史的地域資源の活用

No.	重要業績評価指標 (KPI)	目標年度	目標値	H30年度 目標値	現状値 (H26)	達成状況							担当部		
						H27年度 実績値	H28年度 実績値	H29年度 実績値	H30年度 実績値	R2年度 目標値	達成率	達成度		H30年度実績値に対する評価 ※未確定のものはH29年度実績に対する評価	今後の取組
19	市の公式ホームページのアクセス数	R1	2,280 千件/年	2,261 千件/年	2,186 千件/年	2,012 千件/年	1,782 千件/年	2,268 千件/年	2,357 千件/年	2,400 千件/年	228.0%	A	30年度は、「出張！なんでも鑑定団」「宝石の国展」などのイベントでアクセス数が増加した。	ホームページの利便性や安全性を向上させながら、市民に必要な情報の発信に努める。	市長公室
20	民俗資料館を学習に活用した学校数	R1	11 校/年	10 校/年	0 校/年	0 校/年	0 校/年	0 校/年	8 校/年	12 校/年	80.0%	B	施設開館が遅れ11月となったため、H30年度は5か月分の実績となり、目標値を下回った。	校長会議等の機会に学校向け施設活用案内を配布し、周知を図る。	教育部

基本目標Ⅱ

社会全体で子育てを支援し、次代の担い手を応援するまちを目指します

数値目標					達成状況							担当部
指標	目標値設定	目標年度	目標値	現状値	H27年度実績値	H28年度実績値	H29年度実績値	H30年度実績値	R2年度目標値	H30年度実績値に対する評価	今後の取組	
合計特殊出生率	出生率を15年かけて1.8まで向上させるものとし、5年間で約3割達成する。	R1	1.65	1.58	1.55	1.43	1.48	1.40	1.66	合計特殊出生率のH29年実績は前年から減少し、全国(1.43)、県(1.47)を下回った。出生数は減少しており、平成28年度比較すると平成29年は25～29歳において出生数の減少が大きい。	引き続き、結婚、妊娠、出産等の各分野が点ではなく線につながるよう、一連の施策の推進により、切れ目のない支援を行い、長期的な視点で人口を維持していくため、一層、子どもを産み育てやすい環境づくりを進めていくことが必要である。	市長公室

Ⅱ-①-1 結婚支援

【主な取り組み】

- ▼結婚情報サービスの提供
- ▼婚活支援イベントや結婚相談の実施
- ▼ライフデザイン(結婚～出産～子育て)の構築支援

達成度	A 100%以上
	B 80%以上
	C 50%以上
	D 0%以上

No.	重要業績評価指標(KPI)	目標年度	目標値	H30年度目標値	現状値(H26)	達成状況							担当部		
						H27年度実績値	H28年度実績値	H29年度実績値	H30年度実績値	R2年度目標値	達成率	達成度		H30年度実績値に対する評価 ※未確定のものはH29年度実績に対する評価	今後の取組
21	結婚祝金交付件数	R1	5件/年	4件/年	1件/年	3件/年	2件/年	2件/年	3件/年	5件/年	66.7%	C	令和元年度も4組となる見込みであり、事業の継続により効果が出てきている。	今後も継続的に縁結び支援事業やイベントを実施し、結婚に結び付くよう取り組んでいく。	まちづくり推進部
22	いちのせき結婚活動サポートセンターの会員登録数	R1	500人	465人	324人	530人	885人	987人	329人	500人	3.5%	D	平成30年度は、登録会員の継続意思や住所地の確認などを行ったことにより、登録者数が減少した。	FMや新聞、縁結び支援員などを通じて、事業の周知を行い、会員登録者の増加を図る。	まちづくり推進部

Ⅱ-①-2 妊娠、出産への支援

【主な取り組み】

- ▼妊娠、出産の相談、支援体制
- ▼妊娠、出産の経済的支援

No.	重要業績評価指標(KPI)	目標年度	目標値	H30年度目標値	現状値(H26)	達成状況							担当部		
						H27年度実績値	H28年度実績値	H29年度実績値	H30年度実績値	R2年度目標値	達成率	達成度		H30年度実績値に対する評価 ※未確定のものはH29年度実績に対する評価	今後の取組
23	特定不妊治療を受けている方への助成実績(延べ人数)	R1	69人	68人	66人	77人	65人	43人	39人	70人	-1350.0%	E	県の特定不妊治療助成対象者が減少しているため、市の特定不妊治療費助成の申請者数も減少している。	県と連携し、制度の周知を図る	保健福祉部
24	妊婦健康診査受診率	R1	89.5%	88.8%	86.2%	83.2%	85.9%	83.3%	87.4%	90.0%	46.2%	D	予定日より早い出産などで、妊娠37週目以降の受診率が低く、目標値には達しなかった。 (受診率 36週:87.1%⇒37週:75.8%⇒38週:58.0%⇒39週:34.8%)	妊娠期間中に必要な健康診査を受診するよう積極的に指導する。	保健福祉部

II-②-1 子育て支援の充実

- 【主な取り組み】
- ▼子育てに係る経済的支援
 - ▼子育て相談、支援環境の充実
 - ▼保育の充実(延長保育、病後児保育など)

達成度 A 100%以上
B 80%以上
C 50%以上
D 0%以上
E 0%未満

No.	重要業績評価指標 (KPI)	目標年度	目標値	H30年度 目標値	現状値 (H26)	達成状況							担当部		
						H27年度 実績値	H28年度 実績値	H29年度 実績値	H30年度 実績値	R2年度 目標値	達成率	達成度		H30年度実績値に対する評価 ※未確定のものはH29年度実績に対する評価	今後の取組
25	待機児童数 ※	R1	0 人	0 人	43 人	34 人	51 人	0 人	0 人	0 人	100.0%	A	地域型保育事業の参入による利用定員の拡大と保育士確保支援により目標を達成することができた。	H31年度においても、4月1日時点の待機児童数は0人となり目標を達成した。引き続き待機児童の解消に向けた保育士確保の支援などに取り組む。	保健福祉部
26	子育て相談件数	R1	840 件/年	706 件/年	168 件/年	790 件/年	763 件/年	993 件/年	825 件/年	840 件/年	122.1%	A	子育て支援センターで相談ができることが認識され、目標達成となった。	引き続き、相談者への適切なアドバイスをするなど、相談者に寄り添った相談事業に取り組む。	保健福祉部

※現状値から減少(低下)することを目指す指標

II-②-2 教育環境の充実

- 【主な取り組み】
- ▼教育に係る経済的支援
 - ▼ICT(情報通信技術)の活用等による新たな学びの推進
 - ▼緊急時の連絡体制の整備
 - ▼高等教育機関等の充実

No.	重要業績評価指標 (KPI)	目標年度	目標値	H30年度 目標値	現状値 (H26)	達成状況							担当部		
						H27年度 実績値	H28年度 実績値	H29年度 実績値	H30年度 実績値	R2年度 目標値	達成率	達成度		H30年度実績値に対する評価 ※未確定のものはH29年度実績に対する評価	今後の取組
27	情報通信技術を活用して学習指導を行った学校の割合(小学校)	R1	69.0 %	68.1 %	64.7 %	66.7 %	54.5 %	66.7 %	85.7 %	86.0 %	617.6%	A	市で整備しているデジタルコンテンツ(デジタル教科書等)が児童生徒の課題把握や思考の整理に有効なツールであることが教師に理解されてきている。特に小学校では児童の興味関心を高めるためにICT機器の積極的な活用がなされている。(H30教育の情報化の実態調査 肯定回答80.9%)	・教育研究所ICT部会による、効果的な活用方法についての研究および実践例の紹介 ・デジタルコンテンツのニーズの把握と整備 ・ハード面の計画的な整備	教育部
27	情報通信技術を活用して学習指導を行った学校の割合(中学校)	R1	58.0 %	56.4 %	50.0 %	52.9 %	35.3 %	70.6 %	62.5 %	63.0 %	195.3%	A	中学校では教科担任制であることから、積極的に活用する教科(先生)と使わない教科(先生)が固定化されている傾向が強いものと予想される。また、更なる効果的な活用に対する期待もあり、前年度よりポイントが下がったと考えられる。		教育部
28	学校緊急情報相互連絡システム登録率	R1	98.5 %	98.0 %	96.0 %	97.2 %	97.5 %	98.0 %	95.9 %	99.0 %	-5.0%	E	H27~H29の実績値は、全54校・園のうち集計可能な8校分の数値であった。H30は、全54校・園の集計が可能となった。このことから、H29とH30の実績値を直接比較することができないが、登録率が下がった要因としては、H27~H29までの8校は、登録率が高く、H30から集計に加えた46校・園の登録率は、前述の8校に比べて低かったものと考えられる。	引き続き、保護者等に対し登録を促し、システムの活用を図る。令和2年5月末で、現システム(スマートボード)の運用が終了するので、新システムの導入を検討する。	教育部

II-②-3 就労環境の整備

- 【主な取り組み】
- ▼仕事と子育ての両立支援
 - ▼出産、子育てに関する男性の意識啓発

達成度	A 100%以上
	B 80%以上
	C 50%以上
	D 0%以上
	E 0%未満

No.	重要業績評価指標 (KPI)	目標年度	目標値	H30年度 目標値	現状値 (H26)	達成状況								担当部	
						H27年度 実績値	H28年度 実績値	H29年度 実績値	H30年度 実績値	R2年度 目標値	達成率	達成度	H30年度実績値に対する評価 ※未確定のものはH29年度実績に対する評価		今後の取組
29	男女共同参画サポーター認定者数	R1	87人	79人	67人	69人	73人	77人	75人	91人	66.7%	C	毎年度、男女共同参画サポーター要請講座への参加募集を行い新規認定者数は順調に伸びているが、他市への転出等による減が新規増加分を上回り、29年度より減少した。	今後、サポーターによる新しい組織が立ち上がる予定であることから、連携してPR活動に取り組む。	まちづくり推進部

基本目標Ⅲ

心豊かに安心して暮らせる、住みたい、住んでよかったまちを目指します

数値目標					達成状況							担当部
指標	目標値設定	目標年度	目標値	現状値	H27年度実績値	H28年度実績値	H29年度実績値	H30年度実績値	R2年度目標値	H30年度実績値に対する評価	今後の取組	
65歳以上の人口に占める要介護認定者(要介護1～5)の割合 ※	要介護度の低い要介護1及び2の認定者の割合を減らすことにより、全体の割合を減らす	R1	15.3 %	15.7 % (H26年度末)	15.8 %	16.3 %	16.8 %	16.9 %	15.3 %	65歳以上の人口に占める要介護者1～5の割合は0.1ポイント増加したが、要介護1及び2の認定者は平成29年度は8.5%であったものが、平成30年度は7.4%と1.1ポイント減少しており、比較的軽い要介護度の認定者が減少したことは、介護予防教室の効果と考えられる。	一般介護予防事業である週イチ倶楽部の取組について普及および周知を図り、市民が自ら介護予防に取り組めるように支援していく。	保健福祉部
メタボリックシンドローム該当者及び予備群該当者の割合 ※	一関保健事業実施計画における目標値を達成し、維持する。	R1	22.0 %	25.8 % (H25年度末)	26.1 % (H26年度末)	25.3 % (H27年度末)	27.0 % (H28年度末)	27.8 % (H29年度末)	22.0 %	特定健診の未受診者への受診勧奨通知の送付や追加健診の実施により、健診受診率の向上は図られたが、その後、対象者に実施する特定保健指導の実施率が低く、目標を達成することができなかった。要因としては、居住地での特定保健指導が一関地域を除いて年1～2回であることから、健診結果を生活習慣の改善に生かすことができなかったことが考えられる。	引き続き、特定健診の受診率の向上を図るとともに、メタボリックシンドローム及びその予備軍の対象者が特定保健指導による生活改善支援を手軽に受けることができるよう、居住地域での実施回数を増やすとともに、電話等により利用を呼びかける。	保健福祉部

※現状値から減少(低下)することを目指す指標

達成度	A 100%以上
	B 80%以上
	C 50%以上
	D 0%以上
	E 0%未満

Ⅲ-①-1 医療、福祉、介護体制の充実

- 【主な取り組み】
- ▼医療介護人材の育成、確保
 - ▼地域医療機関の充実
 - ▼夜間、緊急医療体制の充実

No.	重要業績評価指標(KPI)	目標年度	目標値	H30年度目標値	現状値(H26)	達成状況							担当部		
						H27年度実績値	H28年度実績値	H29年度実績値	H30年度実績値	R2年度目標値	達成率	達成度		H30年度実績値に対する評価 ※未確定のものはH29年度実績に対する評価	今後の取組
30	医師修学資金貸付利用者数	R1	7人	6人	2人	3人	4人	5人	5人	8人	75.0%	C	様々に周知、啓発に取り組んできたが、応募者がなかった。要因の一つに、岩手県や岩手県国民健康保険団体連合会で実施している、医師修学資金貸付事業の運用が拡充され(全県で55名募集)、そちらへ応募者が流れていることも考えられる。	市内はもとより県内の主な高等学校(進学校)や市内高校附属中学校、更には宮城県内の主な高等学校(進学校)や医科大学に対する一層のアプローチなど、周知の機会を増やし、修学生の確保につとめる。	保健福祉部
31	介護担い手育成講座受講者数(累計)	R1	115人	95人	15人	30人	49人	68人	98人	135人	103.8%	A	介護職への就職を希望する者が少ないこと、また、初任者研修よりも資格取得に直結する実務者研修を受講する者が多い傾向にあることから、受講者数が伸び悩んでいる。	受講者数の増加を目指し、開催時期の検討及び積極的な周知を行う。	保健福祉部
32	介護職員初任者研修奨励金交付者数(累計)	R1	100人	80人	-	17人	27人	44人	57人	80人	71.3%	C	新規学卒者で介護職への就職を希望する者が少ないことから、初任者研修の受講者が減少している。	新規学卒者確保のため、介護職の魅力を伝えるパンフレット発行や高校訪問など関心を高める働きかけを行う。	保健福祉部
33	実務者研修奨励金交付者数(累計)	R1	80人	60人	-	-人	46人	78人	113人	80人	188.3%	A	類似する制度も多くないため、事業の実施については、浸透・定着してきている。30年度は申請者のうち、交付要件に該当しない者もなく、正しい制度理解が進んでいる。	申請期間の拡大及び積極的な周知により、引き続き交付者の拡大を目指す。	保健福祉部

Ⅲ-①-2 地域生活の支援

- 【主な取り組み】 ▼地域包括ケアシステムの構築
▼生活交通の維持確保

達成度 A 100%以上
B 80%以上
C 50%以上
D 0%以上

No.	重要業績評価指標 (KPI)	目標年度	目標値	H30年度 目標値	現状値 (H26)	達成状況							H30年度実績値に対する評価 ※未確定のものはH29年度実績に対する評価	今後の取組	担当部
						H27年度 実績値	H28年度 実績値	H29年度 実績値	H30年度 実績値	R2年度 目標値	達成率	達成度			
34	地域包括支援センターの設置数	R1	9 (か所)	9 (か所)	6 (か所)	6 (か所)	6 (か所)	6 (か所)	6 (か所)	9 (か所)	0.0%	D	受託者となる委託先法人等の目途が立たず、当初方針である日常生活圏域毎の設置は困難であると判断し、平成29年度から方針を変更。設置数はそのままにし、センター機能の強化を図るため、人員配置を増やすこととしている。平成30年度は、増員に向け関係機関と協議を進めた。	第7期介護保険事業計画 (H30～R2) においては、設置計画数は6か所とし、圏域内の高齢者人口に応じて適切に職員を配置するための人材確保と、機能拡充を図ることとしており、R1、R2年度で増員を行う予定。	広域行政 組合
35	高齢者見守りネットワーク協力事業所数	R1	50 事業所	50 事業所	- 事業所	32 事業所	35 事業所	36 事業所	55 事業所	65 事業所	110.0%	A	企業訪問、文書通知など積極的な広報活動を行い、6月に金融機関、東北電力、一関ガスなどを企業訪問し、一定の理解を得て、新たに19事業者が参画することとなった。	これまでの広報活動により、事業に興味を示している事業所を個別に訪問し、毎年度5事業所の増加を目指す。	保健福祉部
36	市営バスの年間利用者数	R1	195 千人	193 千人	186 千人	183 千人	170 千人	161 千人	155 千人	195 千人	-442.9%	E	ダイヤ改正等による利便性の向上を図ったが、少子高齢化、沿線の人口減少等により利用者の減少が続いている状況。	一関市地域公共交通網形成計画 (R1～R5) に基づき、全市的にデマンド型乗合タクシーの導入等、地域の実情に応じた地域公共交通ネットワークの再編を進めていく。	まちづくり 推進部

Ⅲ-①-3 暮らしの安全対策

- 【主な取り組み】 ▼災害に強いまちづくりの推進
▼消防防災体制の拡充
▼防犯、交通安全対策の推進

No.	重要業績評価指標 (KPI)	目標年度	目標値	H30年度 目標値	現状値 (H26)	達成状況							H30年度実績値に対する評価 ※未確定のものはH29年度実績に対する評価	今後の取組	担当部
						H27年度 実績値	H28年度 実績値	H29年度 実績値	H30年度 実績値	R2年度 目標値	達成率	達成度			
37	木造住宅耐震改修工事助成件数(累計)	R1	115 件	110 件	90 件	97 件	97 件	100 件	102 件	120 件	60.0%	C	H30年度耐震診断件数19件に対し2件の耐震改修となり、耐震診断の約1割が耐震改修を行った。耐震改修の費用が高いことから、高齢者世帯等が多い中、改修まで行えない状況にある。	耐震診断件数に対する耐震改修率を上げるため、耐震診断実施者に対し、PRを推進していく。	建設部
38	自主防災組織の組織率	R1	100.0 %	98.2 %	90.9 %	91.6 %	92.02 %	92.02 %	92.24 %	100 %	18.4%	D	H30年度は、自主防災組織の新規結成が1件であった。まだ組織化されていない行政区については、組織結成を働きかけているが、高齢化による人材不足などの課題を抱えている地域であることから結成に至らなかった。	引き続き、未結成行政区リーダーに対する組織結成を働きかけていき、自主防災組織に関する理解を深めてもらう取組を実施していく。	消防本部

Ⅲ-②-1 健康づくりと介護予防の促進
 【主な取り組み】 ▼健康づくりの推進
 ▼介護予防の充実

達成度 A 100%以上
 B 80%以上
 C 50%以上
 D 0%以上

No.	重要業績評価指標(KPI)	目標年度	目標値	H30年度 目標値	現状値(H26)	達成状況							H30年度実績値に対する評価 ※未確定のものはH29年度実績に対する評価	今後の取組	担当部
						H27年度 実績値	H28年度 実績値	H29年度 実績値	H30年度 実績値	R2年度 目標値	達成率	達成度			
39	がん検診受診率 胃がん検診(市実施分)	R1	50.0 %	44.5 %	22.5 %	22.4 %	22.2 %	23.7 %	23.2 %	50.0 %	3.2%	D	受診歴がある方で最近がん検診を受けない理由は、内閣府調査(平成19年度)によると「たまたまうけていない」が約3割ある。がん検診受診率を上げるには、コール・リコール(再度の受診案内)が効果的と言われており、平成30年度は胃がん検診、子宮がん検診、乳がん検診、大腸がん検診の未受診者に対し再度の受診案内をしたことにより、目標値には達しなかったが、受診率はほぼ維持された。	検診会場での託児サービスや夜間検診など子育て世代・働き盛り世代にも受診しやすい環境を整えることに加え、未受診者へ再通知や40歳、50歳の節目年齢の方全員に受診票を送付する等受診勧奨を取り組む。また、健康いちのせき21マイレージカードを活用した受診勧奨や、「受けよう」と思っている人が確実に受診に結びつくよう通知方法などを検討する。	保健福祉部
39	がん検診受診率 子宮がん検診(市実施分)	R1	50.0 %	45.8 %	29.2 %	27.7 %	26.6 %	29.1 %	29.2 %	50.0 %	0.0%	D			
39	がん検診受診率 肺がん検診(市実施分)	R1	50.0 %	45.2 %	26.2 %	28.1 %	29 %	30.8 %	31.5 %	50.0 %	27.9%	D			
39	がん検診受診率 乳がん検診(市実施分)	R1	50.0 %	46.6 %	33.1 %	33.1 %	34.4 %	37.6 %	36.2 %	50.0 %	23.0%	D			
39	がん検診受診率 大腸がん検診(市実施分)	R1	50.0 %	46.1 %	30.5 %	29.6 %	29.6 %	32.1 %	32.1 %	50.0 %	10.3%	D			
40	脳血管疾患による死亡率(男性:人口10万対) ※	R1	156.0 人	160.0 人	180.0 人	192.3 人	163.3 人	168.7 人	176.2 人	147.7 人	19.0%	D	男性の脳血管疾患死亡率は平成28年までは減少していたが、平成28年からは増加に転じている。脳卒中を含む生活習慣病を目的に、特定健診や後期高齢者の健診を実施しているが、これらの健診の受診率は伸びている。これらの健診のほか、様々な場面で脳卒中予防に関する健康教育等も行っているが、すぐにはその効果が数値に表れないものと考え。	特定健診、後期高齢者の健診の受診率の向上を目指すとともに、イベントなどを活用し、脳卒中予防を啓発していく。	保健福祉部
40	脳血管疾患による死亡率(女性:人口10万対) ※	R1	164.4 人	169.2 人	193.3 人	230.5 人	191.1 人	174.2 人	173.8 人	161.7 人	80.9%	B	女性の脳血管疾患死亡率は年々減少傾向にあるが、男性の脳血管疾患死亡率よりも高い割合である。また、県平均である155.7よりも高い状況にある。脳卒中を含む生活習慣病を目的に、特定健診や後期高齢者の健診を実施しているが、これらの健診の受診率は伸びている。これらの健診のほか、様々な場面で脳卒中予防に関する健康教育等も行っているが、すぐにはその効果が数値に表れないものと考え。	特定健診、後期高齢者の健診の受診率の向上を目指すとともに、イベントなどを活用し、脳卒中予防を啓発していく。	保健福祉部
41	介護予防事業延べ参加者数	R1	54,781 人	54,567 人	33,711 人	35,630 人	33,991 人	38,910 人	54,253 人	55,000 人	98.5%	B	介護予防事業については、行政主導から住民主体による取組に移行しており、活発な事業実施に向け働きかけを実施しているが、地域資源やニーズの違いなど、地域ごとに介護予防事業の取組に特徴があり、地域間での開催内容や回数、体制などに偏りがある状況となっている。	住民主体による介護予防の取組を促すため、事業の周知広報や、研修会の実施、担い手の育成、生活支援コーディネーターによるきめ細やかな支援などに取り組んでいる。	保健福祉部
42	週イチ倶楽部サポーター養成者数	R1	80 人	60 人	-	- 人	36 人	99 人	56 人	150 人	93.3%	B	平成28年度は1クールの実施であったが、平成29年度、30年度ともは2クール実施した。週イチ倶楽部をすでに取り組んでいる団体に呼びかけ2クールで56人のサポーターを養成した。このことにより住民主体の介護予防活動の継続の支援につながっていると考えられる。	令和元年度も2クール実施予定。	保健福祉部

※現状値から減少(低下)することを指す指標

Ⅲ-②-2 いきいきとした生活を送るための環境づくり

【主な取り組み】

- ▼文化、芸術活動の振興
- ▼スポーツレクリエーション活動の推進
- ▼生涯学習の推進
- ▼高齢者の社会参加の支援

達成度 A	100%以上
B	80%以上
C	50%以上
D	0%以上
E	0%未満

No.	重要業績評価指標 (KPI)	目標年度	目標値	H30年度 目標値	現状値 (H26)	達成状況						達成度	H30年度実績値に対する評価 ※未確定のものはH29年度実績に対する評価	今後の取組	担当部
						H27年度 実績値	H28年度 実績値	H29年度 実績値	H30年度 実績値	R2年度 目標値	達成率				
43	文化センター利用件数	R1	1,200 件/年	1,183 件/年	1,115 件/年	1,170 件/年	1,145 件/年	1,193 件/年	1,246 件/年	1,250 件/年	192.6%	A	藤沢文化センターの利用件数が平成29年度末の45件から106件へと大幅に増加。市内中学の吹奏楽部の利用が多く、今後も利用が定着化するものと考えられる。	利用者のニーズ把握に努め、利用しやすい環境づくりに取り組む。	まちづくり推進部
44	市営スポーツ施設利用者数	R1	1,000 千人/年	982 千人/年	925 千人/年	901 千人/年	888 千人/年	860 千人/年	859 千人/年	1,000 千人/年	-115.8%	E	人口減少もあり利用者数は減少している。スポーツ施設利用者数の拡大に向けた取組を強化する必要がある。	現在、施設を利用していない人も含め、気軽にスポーツに親しむ環境づくりに努める。	まちづくり推進部
45	市民センターにおける生涯学習活動利用者数	R1	310 千人/年	295 千人/年	234 千人/年	306 千人/年 ※	303 千人/年	279 千人/年	273 千人/年	310 千人/年	63.9%	C	社会教育団体会員の高齢化が進むとともに、新規会員となる年齢層の余暇に対する多様性から会員が増えず、利用者が増加していない。	社会教育団体の活動の支援とあわせ、利用の促進を図る。	まちづくり推進部
46	老人クラブ加入率	R1	22.0 %	22.0 %	22.0 %	21.4 %	20.6 %	20.0 %	19.0 %	23.0 %	86.1%	B	死亡や加齢による退会者の増加、65歳での加入に対する抵抗感などによる新規会員の減少から、解散や活動停止も生じており、会員数の減少が続いている。	今後単位クラブを中心に、イベントなどの周知や勧誘活動の推進により、若手会員の増加と活動の活性化に取り組む。	保健福祉部
47	シニア活動プラザ利用者数	R1	3,223 人/年	3,023 人/年	2,223 人/年	3,482 人/年	4,879 人/年	7,056 人/年	9,424 人/年	3,423 人/年	900.1%	A	シニアフェスタ等の事業を多く開催したことから、会員及び利用者の増加につながった。	主催事業の充実を図るとともに、施設利用について効果的なPRに取組み、新規利用者の増加を目指す。	保健福祉部

※H27実績値集計誤りにより303千人/年から修正

基本目標Ⅳ

未来へ引き継がれる、誇りと愛着が持てるまちを目指します

数値目標					達成状況							担当部
指標	目標値設定	目標年度	目標値	現状値	H27年度実績値	H28年度実績値	H29年度実績値	H30年度実績値	R2年度目標値	H30年度実績値に対する評価	今後の取組	
市民センターの利用人数	H26までの公民館としての利用から、H27以降の市民センターとして5年間で10%増加させる	R1	541 千人	492 千人 (H26年度末)	539 千人	509 千人	542 千人	554 千人	560 千人	地域づくり活動の拠点として活用されてきている。ほとんどの地域で地域づくり計画が策定され、地域づくり活動が実践の段階に入ったことから、利用者数が増加した。平成28年度は減少したものの、市民センター移行後は利用者は増加している。	H29年度にいが丘、真柴、滝沢の各分館が本館に移行したことや地域づくり計画の策定がおおむね終了したことなど、ますます実践的な地域づくり活動への活用が見込まれることから、目標達成を目指す。	まちづくり推進部

達成度 A 100%以上
B 80%以上
C 50%以上
D 0%以上

Ⅳ-①-1 ILCを基軸としたまちづくり

【主な取り組み】 ▼ILCの普及啓発、情報発信

No.	重要業績評価指標 (KPI)	目標年度	目標値	H30年度目標値	現状値 (H26)	達成状況							担当部		
						H27年度実績値	H28年度実績値	H29年度実績値	H30年度実績値	R2年度目標値	達成率	達成度		H30年度実績値に対する評価 ※未確定のものはH29年度実績に対する評価	今後の取組
48	市民や各団体からの要請を受けて行ったILCセミナーの年間開催回数	R1	50 回	47 回	36 回	20 回	29 回	8 回	21 回	50 回	-136.4%	E	以前からの市長による講演など、普及啓発を行ってきたこと、また、ILC誘致に関する大きな進展が見られないことが重なり、市民からの要請が少なかった。また、普及啓発の一環として、サイエンスカフェ(4回)や中学校での特別授業(14校)等を実施した。	日本学術会議での議論や国の動きが進展する見込みであることから、ILCによってもたらされる効果、ILCの意義や価値について知る機会となるセミナー等を開催していきたい。 また、市民のILCに関する関心事項について解説するセミナーの開催を関係機関に対し要請の申し入れを行う。	市長公室

Ⅳ-①-2 資源・エネルギー循環のまちづくり

【主な取り組み】 ▼再生可能エネルギーの導入促進
▼廃棄物の発生抑制、再使用、再生利用の推進

No.	重要業績評価指標 (KPI)	目標年度	目標値	H30年度目標値 ※()はH29年度	現状値 (H26)	達成状況							担当部		
						H27年度実績値	H28年度実績値	H29年度実績値	H30年度実績値	R2年度目標値	達成率 ※()はH29年度	達成度 ※()はH29年度		H30年度実績値に対する評価 ※未確定のものはH29年度実績に対する評価	今後の取組
49	リサイクル率(一般廃棄物)	R1	16.8 %	16.5 % (16.2)	15.6 %	15.8 %	15.1 %	15.0 %	— %	16.9 %	— (-100.0%)	(E)	廃棄物の総排出量は減少しているが、資源物以外の廃棄物の割合が多く、リサイクル率が低下した。リサイクル率は清掃センターでの集計であり、資源物が清掃センター以外の小売店等へ持ち込まれていることも影響していると思われる。	これまでの活動を継続し、新たに「ごみ分別アプリ」を導入し、適切な分別について啓発を実施する。 また、生ごみ処理体験キットの体験モニターを募り、生ごみ減量の意識醸成と生ごみ処理機の普及を図る。	市民環境部

IV-①-3 東日本大震災からの復旧復興

【主な取り組み】 ▼農林業の生産基盤の再生

達成度 A 100%以上
B 80%以上
C 50%以上
D 0%以上

No.	重要業績評価指標 (KPI)	目標年度	目標値	H30年度 目標値 ※()はH29年度	現状値 (H26)	達成状況							担当部		
						H27年度 実績値	H28年度 実績値	H29年度 実績値	H30年度 実績値	R2年度 目標値	達成率 ※()はH29 年度	達成度 ※()はH29 年度		H30年度実績値に対する評価 ※未確定のものはH29年度実績に対する評価	今後の取組
50	原木しいたけの年間生産量	R1	9,860 kg	8,436 (7,013) kg	2,742 kg	6,814 kg(※)	12,502 kg	19,462 kg	未確定 kg	19,462 kg	— (391.4%)	— (A)	再び生産に取り組む生産者が増えたことと、ほど木造成本数も増加したことにより生産量が増えたもの。	継続的に原木導入等への支援を推進する。	農林部

※H27速報値6,431kgから実績値に修正

IV-②-1 地域コミュニティ活動の活性化

【主な取り組み】 ▼協働によるまちづくりの推進
▼コミュニティ意識の向上
▼コミュニティ活動の充実

No.	重要業績評価指標 (KPI)	目標年度	目標値	H30年度 目標値	現状値 (H26)	達成状況							担当部		
						H27年度 実績値	H28年度 実績値	H29年度 実績値	H30年度 実績値	R2年度 目標値	達成率	達成度		H30年度実績値に対する評価 ※未確定のものはH29年度実績に対する評価	今後の取組
51	地域協働体設立数(市登録数)	R1	34 団体	34 団体	18 団体	30 団体	32 団体	33 団体	33 団体	34 団体	93.8%	B	市内のほとんどの市民センターの管轄区域内で地域協働体が設立され、特色ある地域づくり活動に取り組んでいる。	今後、未設立の地域に対して継続して支援していく。	まちづくり推進部
52	地域づくり計画を策定した地域協働体数	R1	34 団体	34 団体	2 団体	15 団体	32 団体	33 団体	33 団体	34 団体	96.9%	B	市内のほとんどの地域協働体で地域づくり計画が作成され、特色ある地域づくり活動に取り組んでいる。	今後、地域協働体未設立の地域に対して継続して支援していく。	まちづくり推進部

IV-②-2 地域間の連携

【主な取り組み】 ▼広域連携の推進

No.	重要業績評価指標 (KPI)	目標年度	目標値	H30年度 目標値	現状値 (H26)	達成状況							担当部		
						H27年度 実績値	H28年度 実績値	H29年度 実績値	H30年度 実績値	R2年度 目標値	達成率	達成度		H30年度実績値に対する評価 ※未確定のものはH29年度実績に対する評価	今後の取組
53	広域連携事業数(定住自立圏共生ビジョン掲載事業)	R1	28 事業	27 事業	23 事業	29 事業	29 事業	30 事業	30 事業	32 事業	175.0%	A	子育て支援のため、両市町とも医療費助成の対象を高校生まで拡大する事業などを新たに連携事業として追加した。	ほかにも連携できる事業がないか担当者同士で協議できる場を設けたい。	市長公室

IV-②-3 行政機能の効率化

【主な取り組み】 ▼業務改革の推進
▼人材育成の推進と組織体制の見直し

No.	重要業績評価指標 (KPI)	目標年度	目標値	H30年度 目標値	現状値 (H26)	達成状況							担当部		
						H27年度 実績値	H28年度 実績値	H29年度 実績値	H30年度 実績値	R2年度 目標値	達成率	達成度		H30年度実績値に対する評価 ※未確定のものはH29年度実績に対する評価	今後の取組
54	行財政改革による財政効果額	R1	1,036 百万円	712 百万円	-	1,680 百万円	227 百万円	522 百万円	871 百万円	1,593 百万円	122.3%	A	指定管理者制度の活用等により第3次集中改革プランの計画額712百万円を上回る財政効果額があった。	第3次行政改革大綱、集中改革プランによる行財政改革の取組を着実に推進する。	総務部

一関市 結婚・出産・子育てに関するアンケート調査（単純集計）

令和元年12月11日

【調査目的】

市民の結婚、出産、子育てに関する考えを調査し、令和3年度から5年間を計画期間とする「第2期総合戦略」を策定する際の参考とする。

【調査内容】

- ① 実施時期 令和元年10月4日から10月18日まで
- ② 対象者 一関市民 1,492人
(20歳から39歳まで(平成31年4月1日現在)の方の中から無作為に抽出)
- ③ 調査方法 調査票によるアンケート調査(郵送法)

【回答数】

419人 (回収率 28.1%)

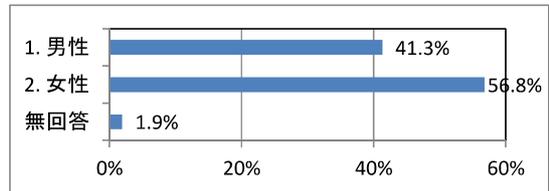
【設問および回答】

(1) あなたの性別を教えてください。(1つ選択)

「女性」が56.8%、「男性」が41.3%となっています。

選択肢	回答数	割合(%)
1. 男性	173	41.3%
2. 女性	238	56.8%
無回答	8	1.9%
合計	419	100.0%

有効回答数= 419

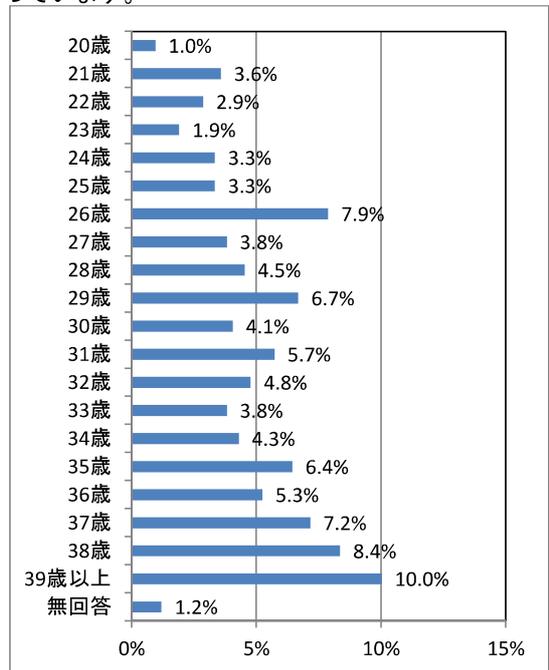


(2) あなたの年齢はおいくつですか。(1つ選択)

「39歳以上」が10.0%と最も多く、次いで「38歳」が8.4%となっています。

選択肢	回答数	割合(%)
20歳	4	1.0%
21歳	15	3.6%
22歳	12	2.9%
23歳	8	1.9%
24歳	14	3.3%
25歳	14	3.3%
26歳	33	7.9%
27歳	16	3.8%
28歳	19	4.5%
29歳	28	6.7%
30歳	17	4.1%
31歳	24	5.7%
32歳	20	4.8%
33歳	16	3.8%
34歳	18	4.3%
35歳	27	6.4%
36歳	22	5.3%
37歳	30	7.2%
38歳	35	8.4%
39歳以上	42	10.0%
無回答	5	1.2%
合計	419	100.0%

有効回答数= 419

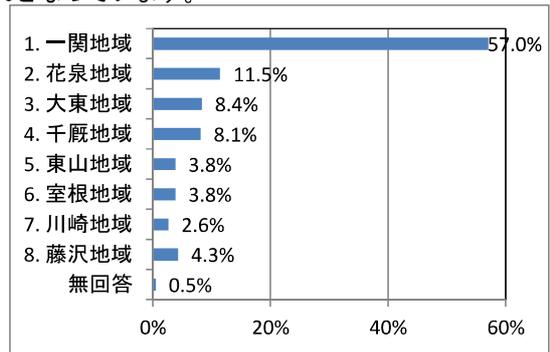


(3) あなたのお住まいの地域はどちらですか。(1つ選択)

「一関地域」が57.0%と最も多く、次いで「花泉地域」が11.5%となっています。

選択肢	回答数	割合(%)
1. 一関地域	239	57.0%
2. 花泉地域	48	11.5%
3. 大東地域	35	8.4%
4. 千厩地域	34	8.1%
5. 東山地域	16	3.8%
6. 室根地域	16	3.8%
7. 川崎地域	11	2.6%
8. 藤沢地域	18	4.3%
無回答	2	0.5%
合計	419	100.0%

有効回答数= 419

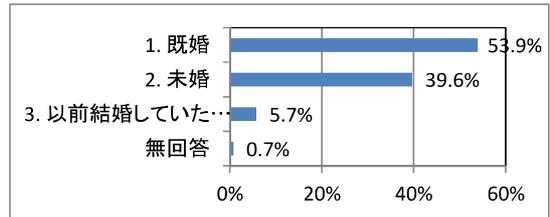


(4) あなたは、現在結婚されていますか。(1つ選択)

「既婚」が53.9%、「未婚」が39.6%となっています。

選択肢	回答数	割合(%)
1. 既婚	226	53.9%
2. 未婚	166	39.6%
3. 以前結婚していた(離婚・死別)	24	5.7%
無回答	3	0.7%
合計	419	100.0%

有効回答数= 419

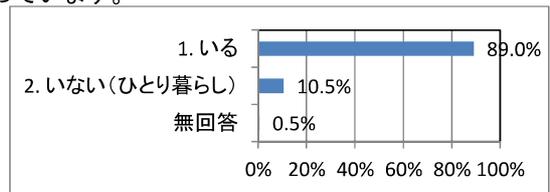


(5) 現在、同居されている方がいらっしゃいますか。(1つ選択)

「いる」が89.0%、「いない(ひとり暮らし)」が10.5%となっています。

選択肢	回答数	割合(%)
1. いる	373	89.0%
2. いない(ひとり暮らし)	44	10.5%
無回答	2	0.5%
合計	419	100.0%

有効回答数= 419



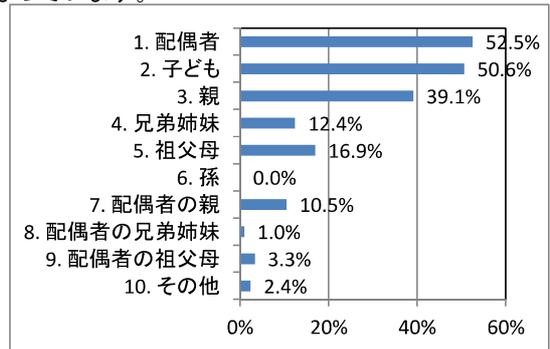
(6) (5)で「1. いる」を選んだ方にうかがいます。現在どなたと同居されていますか。あなたからみた続柄をお答えください。(あてはまるものすべて選択)

「配偶者」が52.5%と最も多く、次いで「子ども」が50.6%となっています。

選択肢	回答数	割合(%)
1. 配偶者	220	52.5%
2. 子ども	212	50.6%
3. 親	164	39.1%
4. 兄弟姉妹	52	12.4%
5. 祖父母	71	16.9%
6. 孫	0	0.0%
7. 配偶者の親	44	10.5%
8. 配偶者の兄弟姉妹	4	1.0%
9. 配偶者の祖父母	14	3.3%
10. その他	10	2.4%

有効回答数= 419

※複数回答のため、合計は100%にならない

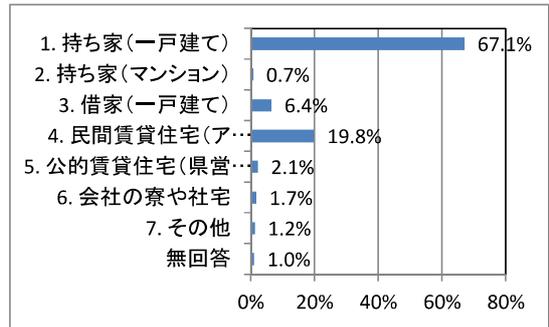


(7) あなたの居住形態はどれですか。(1つ選択)

「持ち家(一戸建て)」が67.1%と最も多く、次いで「民間賃貸住宅(アパート、賃貸マンション)」が19.8%となっています。

選択肢	回答数	割合(%)
1. 持ち家(一戸建て)	281	67.1%
2. 持ち家(マンション)	3	0.7%
3. 借家(一戸建て)	27	6.4%
4. 民間賃貸住宅(アパート、賃貸マンション)	83	19.8%
5. 公的賃貸住宅(県営住宅、市営住宅等)	9	2.1%
6. 会社の寮や社宅	7	1.7%
7. その他	5	1.2%
無回答	4	1.0%
合計	419	100.0%

有効回答数= 419

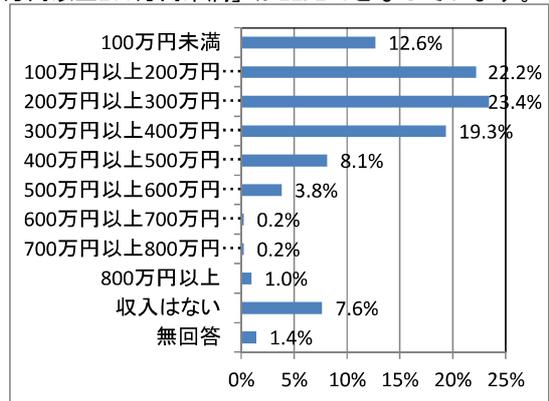


(9) あなたの年収についてうかがいます。あてはまるものをお選びください。(1つ選択)

「200万円以上300万円未満」が23.4%と最も多く、次いで「100万円以上200万円未満」が22.2%となっています。

選択肢	回答数	割合(%)
100万円未満	53	12.6%
100万円以上200万円未満	93	22.2%
200万円以上300万円未満	98	23.4%
300万円以上400万円未満	81	19.3%
400万円以上500万円未満	34	8.1%
500万円以上600万円未満	16	3.8%
600万円以上700万円未満	1	0.2%
700万円以上800万円未満	1	0.2%
800万円以上	4	1.0%
収入はない	32	7.6%
無回答	6	1.4%
合計	419	100.0%

有効回答数= 419

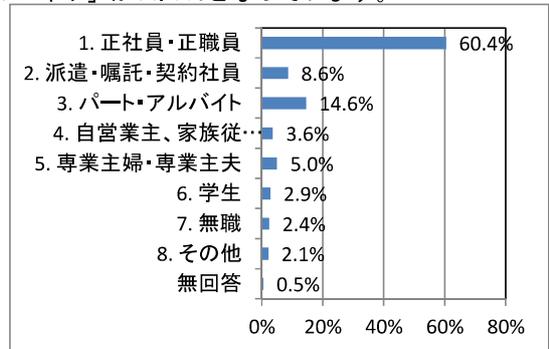


(10) あなたの就労状況を教えてください。(1つ選択)

「正社員・正職員」が60.4%と最も多く、次いで「パート・アルバイト」が14.6%となっています。

選択肢	回答数	割合(%)
1. 正社員・正職員	253	60.4%
2. 派遣・嘱託・契約社員	36	8.6%
3. パート・アルバイト	61	14.6%
4. 自営業主、家族従事者	15	3.6%
5. 専業主婦・専業主夫	21	5.0%
6. 学生	12	2.9%
7. 無職	10	2.4%
8. その他	9	2.1%
無回答	2	0.5%
合計	419	100.0%

有効回答数= 419

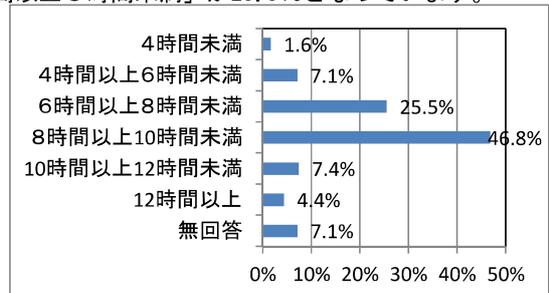


(12) (10)で「1. 正社員・正職員」～「4. 自営業主、家族従事者」を選んだ方にうかがいます。あなたの実労働時間は1日どれくらいですか。(1つ選択)

「8時間以上10時間未満」が46.8%と最も多く、次いで「6時間以上8時間未満」が25.5%となっています。

選択肢	回答数	割合(%)
4時間未満	6	1.6%
4時間以上6時間未満	26	7.1%
6時間以上8時間未満	93	25.5%
8時間以上10時間未満	171	46.8%
10時間以上12時間未満	27	7.4%
12時間以上	16	4.4%
無回答	26	7.1%
合計	365	100.0%

有効回答数= 365

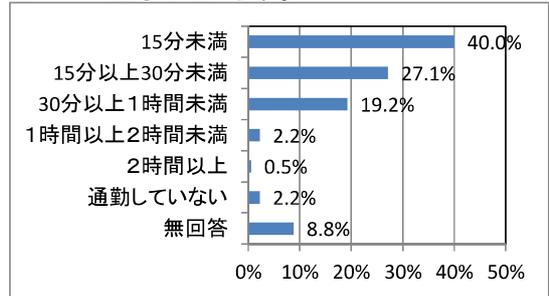


(13) (10)で「1. 正社員・正職員」～「4. 自営業主、家族従事者」を選んだ方にうかがいます。あなたの通勤時間は片道どれくらいですか。(1つ選択)

「15分未満」が40.0%と最も多く、次いで「15分以上30分未満」が27.1%となっています。

選択肢	回答数	割合(%)
15分未満	146	40.0%
15分以上30分未満	99	27.1%
30分以上1時間未満	70	19.2%
1時間以上2時間未満	8	2.2%
2時間以上	2	0.5%
通勤していない	8	2.2%
無回答	32	8.8%
合計	365	100.0%

有効回答数 = 365

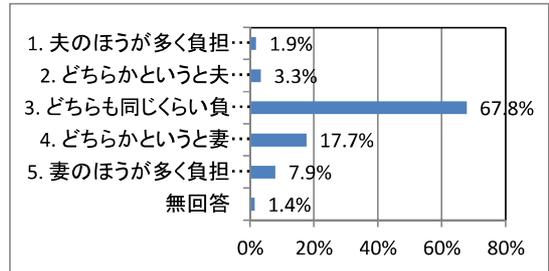


(14) [★【全員】お答えください] あなたは、夫婦間での家事や育児の負担は、どのようであればよいと思いますか。 ※配偶者がいない方は、いると仮定してお答えください。(1つ選択)

「どちらも同じくらい負担する」が67.8%と最も多く、次いで「どちらかというと妻のほうが多く負担する」が17.7%となっています。

選択肢	回答数	割合(%)
1. 夫のほうが多く負担する	8	1.9%
2. どちらかというとも夫のほうが多く負担する	14	3.3%
3. どちらも同じくらい負担する	284	67.8%
4. どちらかというとも妻のほうが多く負担する	74	17.7%
5. 妻のほうが多く負担する	33	7.9%
無回答	6	1.4%
合計	419	100.0%

有効回答数 = 419

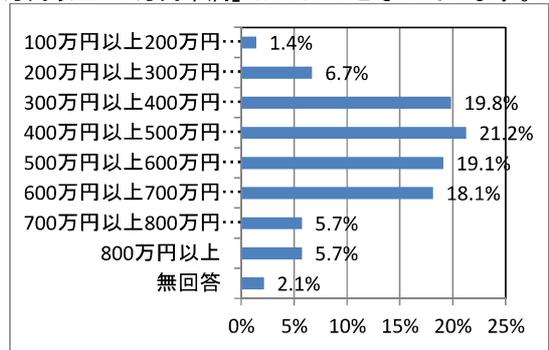


(15) [★【全員】お答えください] 結婚生活をスタートさせるにあたり、必要な夫婦の合計年収はどのくらいだと思いますか。(1つ選択)

「400万円以上500万円未満」が21.2%と最も多く、次いで「300万円以上400万円未満」が19.8%となっています。

選択肢	回答数	割合(%)
100万円以上200万円未満	6	1.4%
200万円以上300万円未満	28	6.7%
300万円以上400万円未満	83	19.8%
400万円以上500万円未満	89	21.2%
500万円以上600万円未満	80	19.1%
600万円以上700万円未満	76	18.1%
700万円以上800万円未満	24	5.7%
800万円以上	24	5.7%
無回答	9	2.1%
合計	419	100.0%

有効回答数 = 419



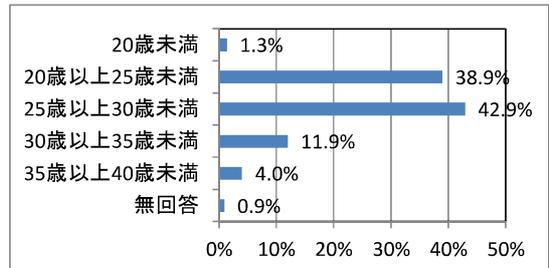
★以下の(16)から(24)までの設問は、【既婚】の方のみお答えください。

(16) 結婚されたのは何歳のときですか。その年齢をお書きください。

5歳年齢階級別にみると、「25歳以上30歳未満」が42.9%と最も多く、次いで「20歳以上25歳未満」が38.9%となっています。

年齢階級	回答数	割合(%)
20歳未満	3	1.3%
20歳以上25歳未満	88	38.9%
25歳以上30歳未満	97	42.9%
30歳以上35歳未満	27	11.9%
35歳以上40歳未満	9	4.0%
無回答	2	0.9%
合計	226	100.0%

有効回答数 = 226



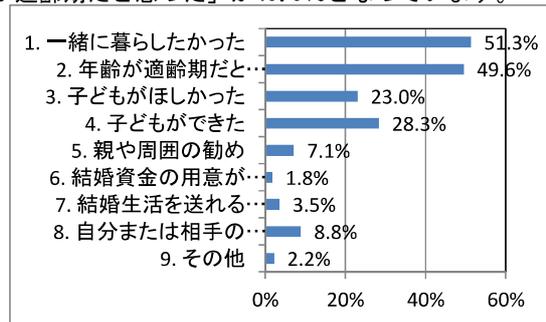
(17) 結婚時期を決めた要因として大きかったものはどれですか。(あてはまるものすべて選択)

「一緒に暮らしたかった」が51.3%と最も多く、次いで「年齢が適齢期だと思った」が49.6%となっています。

選択肢	回答数	割合(%)
1. 一緒に暮らしたかった	116	51.3%
2. 年齢が適齢期だと思った	112	49.6%
3. 子どもがほしかった	52	23.0%
4. 子どもができた	64	28.3%
5. 親や周囲の勧め	16	7.1%
6. 結婚資金の用意ができた	4	1.8%
7. 結婚生活を送れる収入が得られるようになった	8	3.5%
8. 自分または相手の仕事の事情	20	8.8%
9. その他	5	2.2%

有効回答数 = 226

※複数回答のため、合計は100%にならない

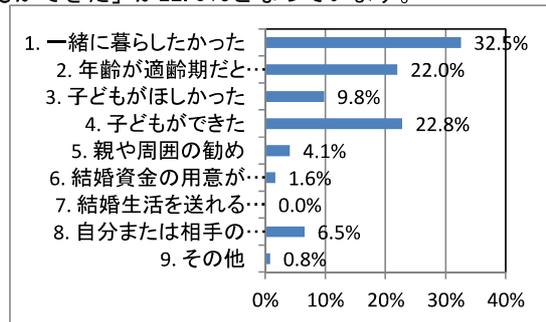


(19) (17)で2つ以上選択された方にうかがいます。選んだ選択肢の中で、最も大きな要因だったものはどれですか。選択肢の番号をお答えください。(1つ選択)

「一緒に暮らしたかった」が23.5%と最も多く、次いで「子どもができた」が22.8%となっています。

選択肢	回答数	割合(%)
1. 一緒に暮らしたかった	40	32.5%
2. 年齢が適齢期だと思った	27	22.0%
3. 子どもがほしかった	12	9.8%
4. 子どもができた	28	22.8%
5. 親や周囲の勧め	5	4.1%
6. 結婚資金の用意ができた	2	1.6%
7. 結婚生活を送れる収入が得られるようになった	0	0.0%
8. 自分または相手の仕事の事情	8	6.5%
9. その他	1	0.8%

有効回答数 = 123

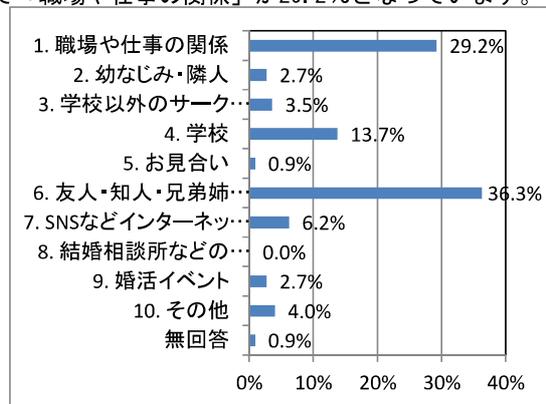


(20) 現在の配偶者とはどのようなきっかけで知り合いましたか。(1つ選択)

「友人・知人・兄弟姉妹を通じて」が36.3%と最も多く、次いで「職場や仕事の関係」が29.2%となっています。

選択肢	回答数	割合(%)
1. 職場や仕事の関係	66	29.2%
2. 幼なじみ・隣人	6	2.7%
3. 学校以外のサークル・クラブ活動・習い事	8	3.5%
4. 学校	31	13.7%
5. お見合い	2	0.9%
6. 友人・知人・兄弟姉妹を通じて	82	36.3%
7. SNSなどインターネットを通じて	14	6.2%
8. 結婚相談所などの結婚情報サービス	0	0.0%
9. 婚活イベント	6	2.7%
10. その他	9	4.0%
無回答	2	0.9%
合計	226	100.0%

有効回答数 = 226

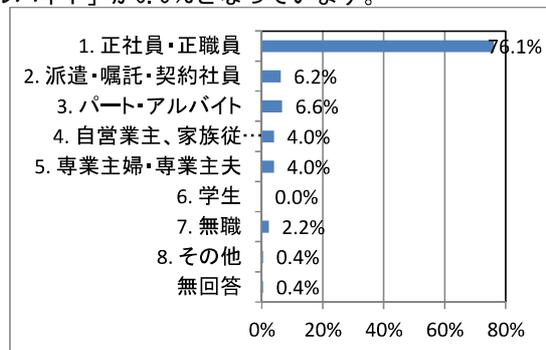


(22) あなたの配偶者の就労状況を教えてください。(1つ選択)

「正社員・正職員」が76.1%と最も多く、次いで「パート・アルバイト」が6.6%となっています。

選択肢	回答数	割合(%)
1. 正社員・正職員	172	76.1%
2. 派遣・嘱託・契約社員	14	6.2%
3. パート・アルバイト	15	6.6%
4. 自営業主・家族従事者	9	4.0%
5. 専業主婦・専業主夫	9	4.0%
6. 学生	0	0.0%
7. 無職	5	2.2%
8. その他	1	0.4%
無回答	1	0.4%
合計	226	100.0%

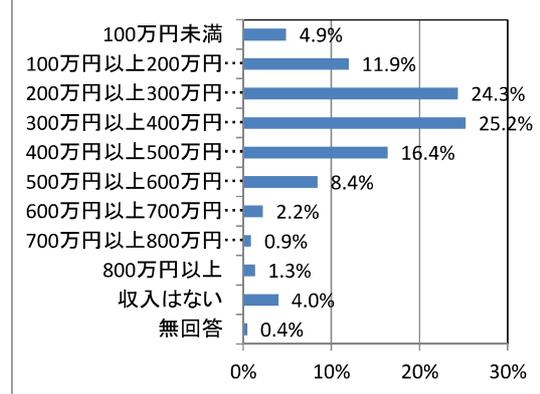
有効回答数 = 226



(24) あなたの配偶者の年収についてうかがいます。あてはまるものをお選びください。(1つ選択)
 「300万円以上400万円未満」が25.2%と最も多く、次いで「200万円以上300万円未満」が24.3%となっています。

選択肢	回答数	割合(%)
100万円未満	11	4.9%
100万円以上200万円未満	27	11.9%
200万円以上300万円未満	55	24.3%
300万円以上400万円未満	57	25.2%
400万円以上500万円未満	37	16.4%
500万円以上600万円未満	19	8.4%
600万円以上700万円未満	5	2.2%
700万円以上800万円未満	2	0.9%
800万円以上	3	1.3%
収入はない	9	4.0%
無回答	1	0.4%
合計	226	100.0%

有効回答数＝ 226



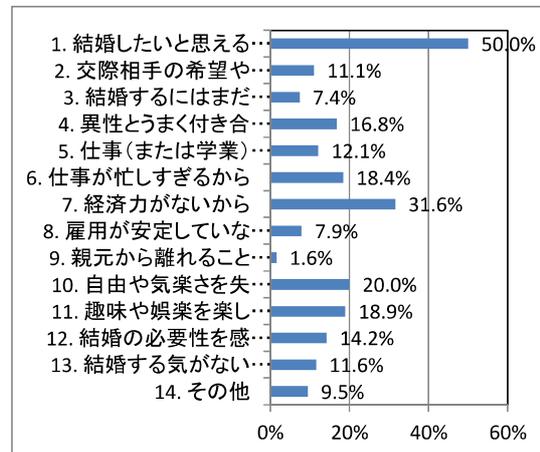
★以下の(25)から(32)までの設問は、【未婚】の方、または【以前結婚していた】方のみ お答えください。

(25) 現在、あなたが結婚(再婚)していない理由を教えてください。(あてはまるものすべて選択)
 「結婚したいと思える相手がいないから」が50.0%と最も多く、次いで「経済力がないから」が31.6%となっています。

選択肢	回答数	割合(%)
1. 結婚したいと思える相手がいないから	95	50.0%
2. 交際相手の希望や事情のため	21	11.1%
3. 結婚するにはまだ若いから	14	7.4%
4. 異性とうまく付き合えないから	32	16.8%
5. 仕事(または学業)を優先したいから	23	12.1%
6. 仕事が忙しすぎるから	35	18.4%
7. 経済力がないから	60	31.6%
8. 雇用が安定していないから	15	7.9%
9. 親元から離れることができないから	3	1.6%
10. 自由や気楽さを失いたくないから	38	20.0%
11. 趣味や娯楽を楽しみたいから	36	18.9%
12. 結婚の必要性を感じないから	27	14.2%
13. 結婚する気がないから	22	11.6%
14. その他	18	9.5%

有効回答数＝ 190

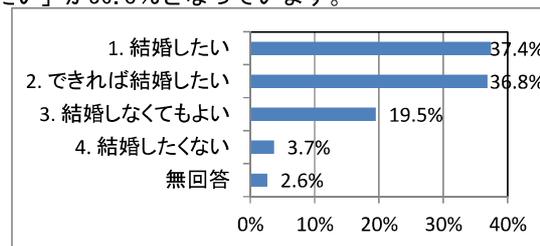
※複数回答のため、合計は100%にならない



(27) あなたは、結婚についてどのようにお考えですか。(1つ選択)
 「結婚したい」が37.4%と最も多く、次いで「できれば結婚したい」が36.8%となっています。

選択肢	回答数	割合(%)
1. 結婚したい	71	37.4%
2. できれば結婚したい	70	36.8%
3. 結婚しなくてもよい	37	19.5%
4. 結婚したくない	7	3.7%
無回答	5	2.6%
合計	190	100.0%

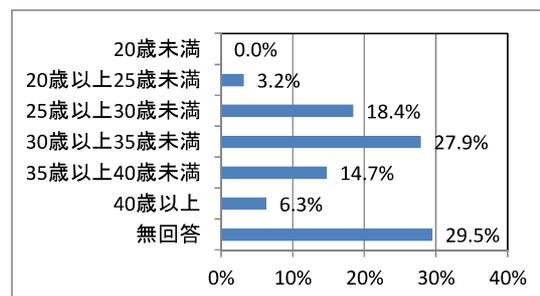
有効回答数＝ 190



(28) (27)で「1. 結婚したい」または「2. できれば結婚したい」を選んだ方にうかがいます。何歳くらいで結婚したいですか。その年齢をお書きください。
 5歳年齢階級別にみると、「30歳以上35歳未満」が27.9%と最も多く、次いで「25歳以上30歳未満」が18.4%となっています。

選択肢	回答数	割合(%)
20歳未満	0	0.0%
20歳以上25歳未満	6	3.2%
25歳以上30歳未満	35	18.4%
30歳以上35歳未満	53	27.9%
35歳以上40歳未満	28	14.7%
40歳以上	12	6.3%
無回答	56	29.5%
合計	190	100.0%

有効回答数＝ 190



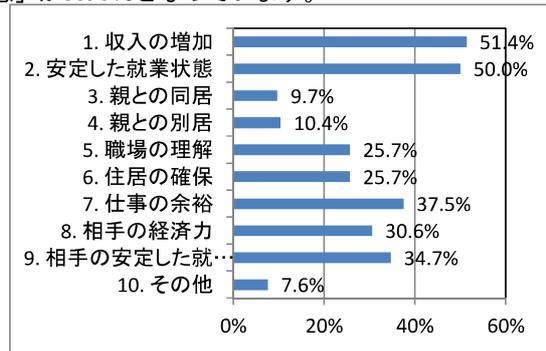
(29) (27)で「1. 結婚したい」または「2. できれば結婚したい」を選んだ方にうかがいます。今後結婚するとしたら、どのような条件が必要ですか。(あてはまるものすべて選択)

「収入の増加」が51.4%と最も多く、次いで「安定した就業状態」が50.0%となっています。

選択肢	回答数	割合(%)
1. 収入の増加	74	51.4%
2. 安定した就業状態	72	50.0%
3. 親との同居	14	9.7%
4. 親との別居	15	10.4%
5. 職場の理解	37	25.7%
6. 住居の確保	37	25.7%
7. 仕事の余裕	54	37.5%
8. 相手の経済力	44	30.6%
9. 相手の安定した就業状態	50	34.7%
10. その他	11	7.6%

有効回答数 = 144

※複数回答のため、合計は100%にならない



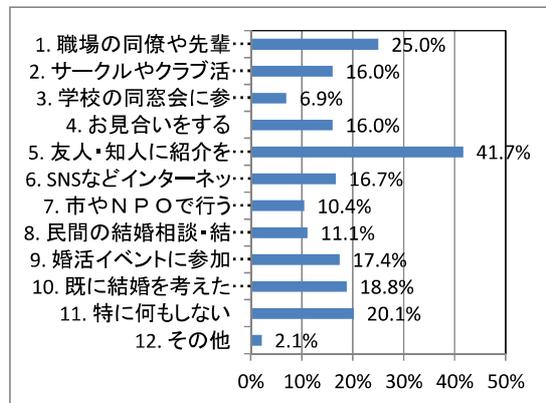
(31) (27)で「1. 結婚したい」または「2. できれば結婚したい」を選んだ方にうかがいます。結婚相手との出会いを求めるとしたら、どのようなことに取り組みたいと思いますか。(あてはまるものすべて選択)

「友人・知人に紹介を頼む」が41.7%と最も多く、次いで「職場の同僚や先輩に紹介を頼む」が25.0%となっています。

選択肢	回答数	割合(%)
1. 職場の同僚や先輩に紹介を頼む	36	25.0%
2. サークルやクラブ活動に参加する	23	16.0%
3. 学校の同窓会に参加する	10	6.9%
4. お見合いをする	23	16.0%
5. 友人・知人に紹介を頼む	60	41.7%
6. SNSなどインターネットを通じて探す	24	16.7%
7. 市やNPOで行う結婚相談・結婚支援	15	10.4%
8. 民間の結婚相談・結婚情報サービス	16	11.1%
9. 婚活イベントに参加する	25	17.4%
10. 既に結婚を考えた相手がいる	27	18.8%
11. 特に何もしない	29	20.1%
12. その他	3	2.1%

有効回答数 = 144

※複数回答のため、合計は100%にならない

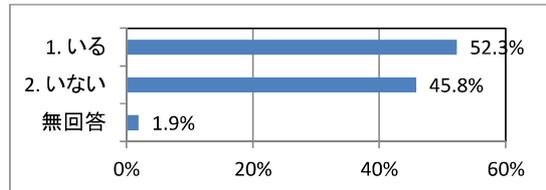


(33) ★【全員】お答えください] あなたにお子さんはいらっしゃいますか。(1つ選択)

「いる」が52.3%、「いない」が45.8%となっています。

選択肢	回答数	割合(%)
1. いる	219	52.3%
2. いない	192	45.8%
無回答	8	1.9%
合計	419	100.0%

有効回答数 = 419



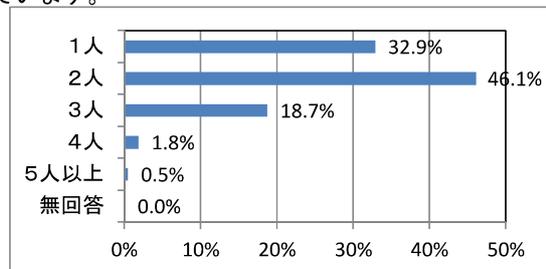
★以下の(34)から(44)までの設問は、【子どもがいる】方のみお答えください。

(34) お子さんは何人いらっしゃいますか。(同居・別居は問いません)(1つ選択)

「2人」が46.1%と最も多く、次いで「1人」が32.9%となっています。

選択肢	回答数	割合(%)
1人	72	32.9%
2人	101	46.1%
3人	41	18.7%
4人	4	1.8%
5人以上	1	0.5%
無回答	0	0.0%
合計	219	100.0%

有効回答数 = 219

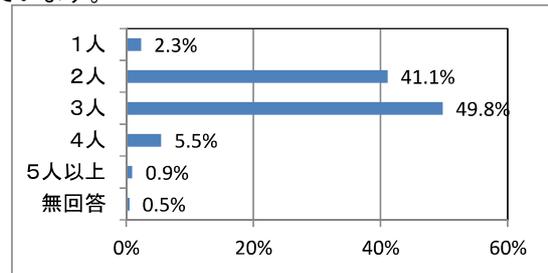


(35) あなたにとって理想の子どもの数は何人ですか。(1つ選択)

「3人」が49.8%と最も多く、次いで「2人」が41.1%となっています。

選択肢	回答数	割合(%)
1人	5	2.3%
2人	90	41.1%
3人	109	49.8%
4人	12	5.5%
5人以上	2	0.9%
無回答	1	0.5%
合計	219	100.0%

有効回答数= 219

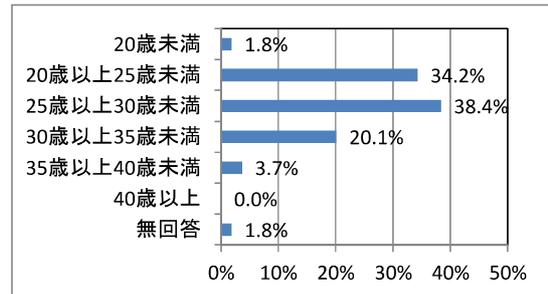


(36) 初めてお子さんをお持ちになった年齢をお書きください。

5歳年齢階級別にみると、「25歳以上30歳未満」が38.4%と最も多く、次いで「20歳以上25歳未満」が34.2%となっています。

	回答数	割合(%)
20歳未満	4	1.8%
20歳以上25歳未満	75	34.2%
25歳以上30歳未満	84	38.4%
30歳以上35歳未満	44	20.1%
35歳以上40歳未満	8	3.7%
40歳以上	0	0.0%
無回答	4	1.8%
合計	219	100.0%

有効回答数= 219

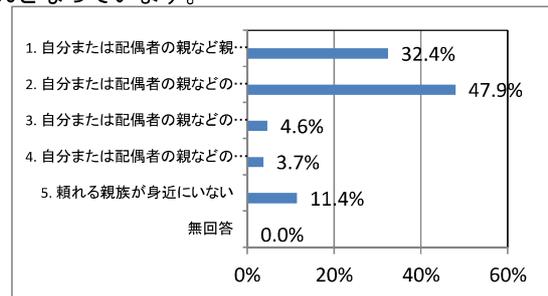


(37) あなたが子育てをするにあたり、頼れる親族の方は身近にいますか。(1つ選択)

「自分または配偶者の親などの親族と同居しており、頼ることができる」が47.9%と最も多く、次いで「自分または配偶者の親など親族と同居しており、頼ることができない」が32.4%となっています。

選択肢	回答数	割合(%)
1. 自分または配偶者の親など親族と同居しており、頼ることができる	71	32.4%
2. 自分または配偶者の親などの親族と同居しており、頼ることができない	105	47.9%
3. 自分または配偶者の親などの親族と同居しているが、頼ることができない	10	4.6%
4. 自分または配偶者の親などの親族と同居しているが、頼ることができない	8	3.7%
5. 頼れる親族が身近にいない	25	11.4%
無回答	0	0.0%
合計	219	100.0%

有効回答数= 219



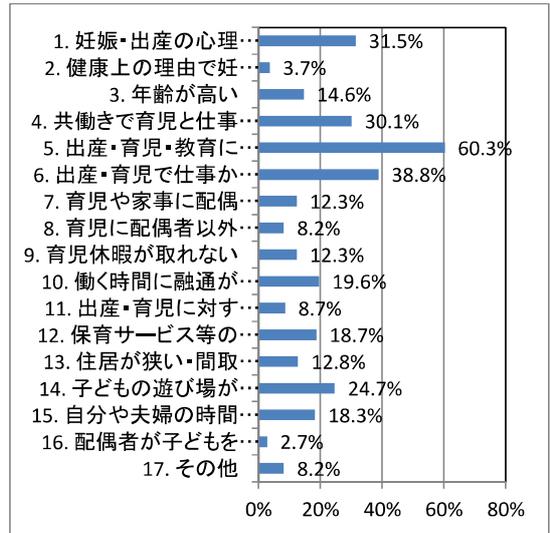
(38) 2人目以降のお子さんについてうかがいます。お子さんが1人の方は2人目以降の出産について支障になると想定されること、2人以上お子さんがいる方は出産前に支障だと感じていたことはどのようなことですか。(あてはまるものすべて選択)

「出産・育児・教育にお金がかかる」が60.3%と最も多く、次いで「出産・育児で仕事から離れることによる減収」が38.8%となっています。

選択肢	回答数	割合(%)
1. 妊娠・出産の心理的・肉体的な負担が大きい	69	31.5%
2. 健康上の理由で妊娠・出産が困難	8	3.7%
3. 年齢が高い	32	14.6%
4. 共働きで育児と仕事の両立が困難	66	30.1%
5. 出産・育児・教育にお金がかかる	132	60.3%
6. 出産・育児で仕事から離れることによる減収	85	38.8%
7. 育児や家事に配偶者の協力が得られない	27	12.3%
8. 育児に配偶者以外の家族の協力が得られない	18	8.2%
9. 育児休暇が取れない	27	12.3%
10. 働く時間に融通がきく仕事が少ない	43	19.6%
11. 出産・育児に対する職場の理解がない	19	8.7%
12. 保育サービス等の支援体制が不十分	41	18.7%
13. 住居が狭い・間取りが不十分	28	12.8%
14. 子どもの遊び場が近所がない	54	24.7%
15. 自分や夫婦の時間が取れなくなる	40	18.3%
16. 配偶者が子どもを望まない	6	2.7%
17. その他	18	8.2%

有効回答数 = 219

※複数回答のため、合計は100%にならない

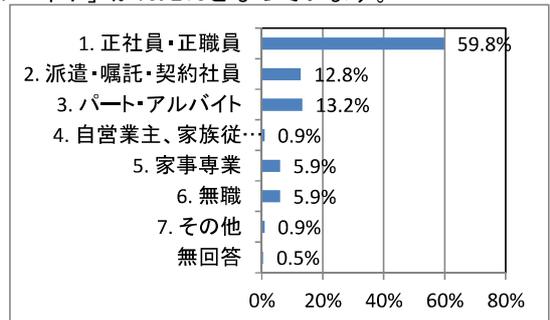


(40) 第1子出産前の就労状況を教えてください。 ※男性の方は、配偶者の状況についてお答えください。(1つ選択)

「正社員・正職員」が59.8%と最も多く、次いで「パート・アルバイト」が13.2%となっています。

選択肢	回答数	割合(%)
1. 正社員・正職員	131	59.8%
2. 派遣・嘱託・契約社員	28	12.8%
3. パート・アルバイト	29	13.2%
4. 自営業主、家族従事者	2	0.9%
5. 家事専業	13	5.9%
6. 無職	13	5.9%
7. その他	2	0.9%
無回答	1	0.5%
合計	219	100.0%

有効回答数 = 219

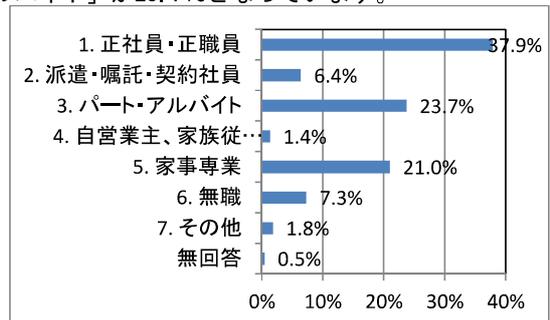


(42) 第1子出産後の就労状況を教えてください。 ※男性の方は、配偶者の状況についてお答えください。(1つ選択)

「正社員・正職員」が37.9%と最も多く、次いで「パート・アルバイト」が23.7%となっています。

選択肢	回答数	割合(%)
1. 正社員・正職員	83	37.9%
2. 派遣・嘱託・契約社員	14	6.4%
3. パート・アルバイト	52	23.7%
4. 自営業主、家族従事者	3	1.4%
5. 家事専業	46	21.0%
6. 無職	16	7.3%
7. その他	4	1.8%
無回答	1	0.5%
合計	219	100.0%

有効回答数 = 219

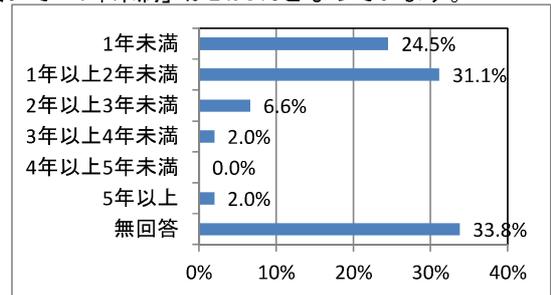


(44) (42)で「1. 正社員・正職員」から「4. 自営業主、家族従事者」を選んだ方にうかがいます。出産後どのくらいの期間で就労されましたか。○年○か月のようにお書きください。

1年単位でみると、「1年以上2年未満」が31.1%と最も多く、次いで「1年未満」が24.5%となっています。

	回答数	割合(%)
1年未満	37	24.5%
1年以上2年未満	47	31.1%
2年以上3年未満	10	6.6%
3年以上4年未満	3	2.0%
4年以上5年未満	0	0.0%
5年以上	3	2.0%
無回答	51	33.8%
合計	151	100.0%

有効回答数 = 151



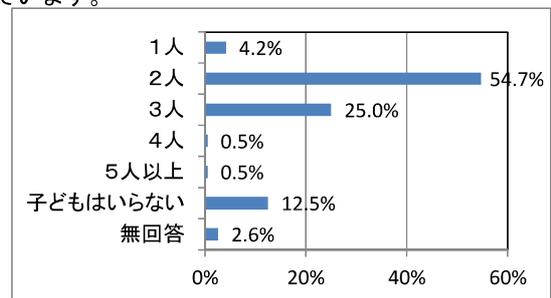
★以下の(45)から(52)までの設問は、【子どもがいない】方のみお答えください。

(45) あなたにとって理想の子どもの数は何人ですか。(1つ選択)

「2人」が54.7%と最も多く、次いで「3人」が25.0%となっています。

選択肢	回答数	割合(%)
1人	8	4.2%
2人	105	54.7%
3人	48	25.0%
4人	1	0.5%
5人以上	1	0.5%
子どもはいない	24	12.5%
無回答	5	2.6%
合計	192	100.0%

有効回答数 = 192

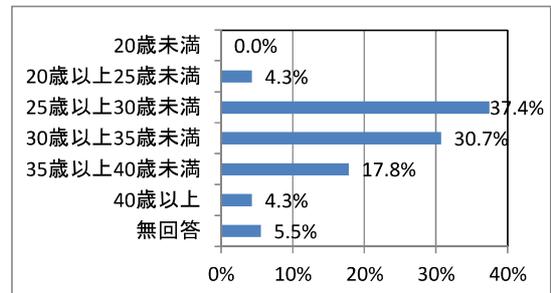


(46) (45)で「1人」から「5人以上」を選んだ方にうかがいます。理想的には何歳くらいで子ども(第1子)を持ちたいと思いますか。実際にどうであるかは別として、あなたにとって理想の年齢をお書きください。

5歳年齢階級別にみると、「25歳以上30歳未満」が37.4%と最も多く、次いで「30歳以上35歳未満」が30.7%となっています。

	回答数	割合(%)
20歳未満	0	0.0%
20歳以上25歳未満	7	4.3%
25歳以上30歳未満	61	37.4%
30歳以上35歳未満	50	30.7%
35歳以上40歳未満	29	17.8%
40歳以上	7	4.3%
無回答	9	5.5%
合計	163	100.0%

有効回答数 = 163



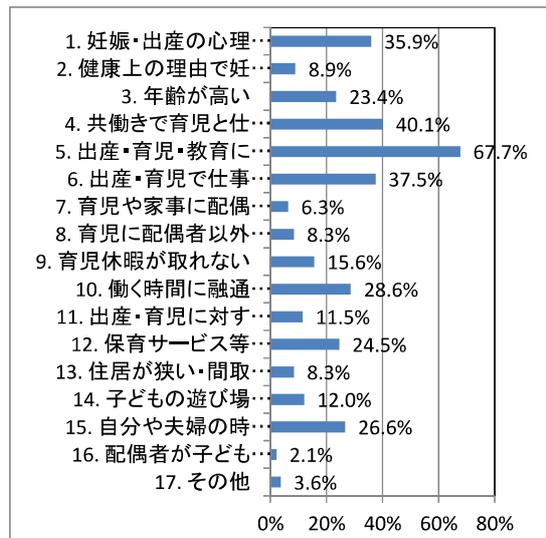
(47) 出産や子育てについて、支障になりそうだと感じることはどのようなことですか。（あてはまるものすべて選択）

「出産・育児・教育にお金がかかる」が67.7%と最も多く、次いで「共働きで育児と仕事の両立が困難」が40.1%となっています。

選択肢	回答数	割合(%)
1. 妊娠・出産の心理的・肉体的な負担が大きい	69	35.9%
2. 健康上の理由で妊娠・出産が困難	17	8.9%
3. 年齢が高い	45	23.4%
4. 共働きで育児と仕事の両立が困難	77	40.1%
5. 出産・育児・教育にお金がかかる	130	67.7%
6. 出産・育児で仕事から離れることによる減収	72	37.5%
7. 育児や家事に配偶者の協力が得られない	12	6.3%
8. 育児に配偶者以外の家族の協力が得られない	16	8.3%
9. 育児休暇が取れない	30	15.6%
10. 働く時間に融通がきく仕事が少ない	55	28.6%
11. 出産・育児に対する職場の理解がない	22	11.5%
12. 保育サービス等の支援体制が不十分	47	24.5%
13. 住居が狭い・間取りが不十分	16	8.3%
14. 子どもの遊び場が近所がない	23	12.0%
15. 自分や夫婦の時間が取れなくなる	51	26.6%
16. 配偶者が子どもを望まない	4	2.1%
17. その他	7	3.6%

有効回答数＝ 192

※複数回答のため、合計は100%にならない

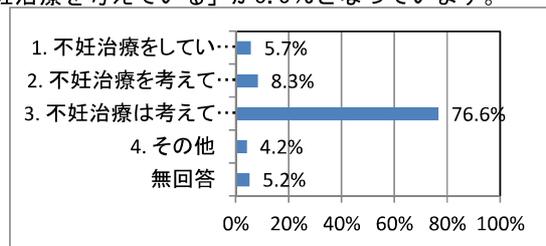


(49) 不妊治療についてうかがいます。あてはまるものをお選びください。（1つ選択）

「不妊治療は考えていない」が76.6%と最も多く、次いで「不妊治療を考えている」が8.3%となっています。

選択肢	回答数	割合(%)
1. 不妊治療をしている、または治療したことがある	11	5.7%
2. 不妊治療を考えている	16	8.3%
3. 不妊治療は考えていない	147	76.6%
4. その他	8	4.2%
無回答	10	5.2%
合計	192	100.0%

有効回答数＝ 192



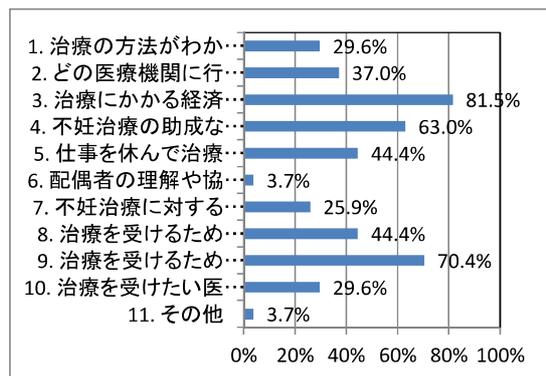
(51) (49)で「1. 不妊治療をしている、または治療したことがある」または「2. 不妊治療を考えている」を選んだ方にうかがいます。不妊治療について、困っていること、心配していることは何ですか。（あてはまるものすべて選択）

「治療にかかる経済的な負担が大きい」が81.5%と最も多く、次いで「治療を受けるための精神的負担が大きい」が70.4%となっています。

選択肢	回答数	割合(%)
1. 治療の方法がわからない	8	29.6%
2. どの医療機関に行けばよいかわからない	10	37.0%
3. 治療にかかる経済的な負担が大きい	22	81.5%
4. 不妊治療の助成などの支援制度がわからない	17	63.0%
5. 仕事を休んで治療に行くことができない	12	44.4%
6. 配偶者の理解や協力が得られない	1	3.7%
7. 不妊治療に対する職場の理解が得にくい	7	25.9%
8. 治療を受けるための身体的負担が大きい	12	44.4%
9. 治療を受けるための精神的負担が大きい	19	70.4%
10. 治療を受けたい医療機関が遠い	8	29.6%
11. その他	1	3.7%

有効回答数＝ 27

※複数回答のため、合計は100%にならない





一関市 結婚・出産・子育てに関するアンケート調査

◆調査ご協力をお願い

皆さまには、日頃より市政の推進にご理解・ご協力をいただき、ありがとうございます。さて、一関市では、人口減少の抑制を図るため、平成27年度に「一関市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、結婚、出産、子育てを応援する取組や市内外の若者が一関市に定着するような取組を進めております。

この調査は、皆さまの結婚、出産、子育てに関する考えをおうかがいし、令和3年度から5年間を計画期間とする「第2期総合戦略」を策定する際の参考とするため実施するものです。このたびの調査対象者につきましては、市内にお住まいの20歳から39歳まで（平成31年4月1日現在）の方の中から無作為に選ばせていただき、ご協力をお願いしております。

ご回答いただいた調査内容は、「こう思う方は全体の何%」といった形で統計的な数値に取りまとめますので、お名前や個人が特定された形で回答内容が外部に漏れるなど、ご迷惑をおかけすることはありません。

個人的な内容をおうかがいする調査となり、誠に恐縮ですが、調査の趣旨にご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和元年10月

一関市長 勝部 修

◆ご記入にあたってのお願い

- この調査の回答は、あて名のご本人さまが記入してください。
- できるだけ濃い鉛筆か、黒のボールペンなどで記入してください。
- 回答方法は、各問の選択肢の中から該当するものを選択してマークしていただくものと、内容を記述するものがあります。選択するものは、「1つ」の場合や、「あてはまるものすべて」などの場合があります。また、設問によっては回答していただく方が限られますので、ご注意ください。

◆調査票は、同封の返信用封筒に入れて【10月18日(金)】までに投函してください（切手は不要です）

【お問合せ先】

一関市 市長公室 政策企画課 未来戦略係
〒021-8501 岩手県一関市竹山町7番2号
TEL 0191-21-8641 FAX 0191-21-2164



一関市 結婚・出産・子育てに関するアンケート調査

選択式の回答は、該当箇所のマーク○を塗りつぶしてご回答ください。

○: 空白マーク ●: 正しいぬりつぶし /: 不十分なぬりつぶし

記述式の回答は、回答欄からはみ出さないように記入してください。

この用紙は機械で処理します。回答欄以外に書き込みをしたり、用紙を汚したり、折り目を付けたりしないように注意してください。

◆ 1. あなたご自身やご家族の状況についてうかがいます。 [★【全員】お答えください]

(1) あなたの性別を教えてください。(1つ選択)

1. 男性

2. 女性

(2) あなたの年齢はおいくつですか。(1つ選択)

20歳

21歳

22歳

23歳

24歳

25歳

26歳

27歳

28歳

29歳

30歳

31歳

32歳

33歳

34歳

35歳

36歳

37歳

38歳

39歳以上

(3) あなたのお住まいの地域はどちらですか。(1つ選択)

1. 一関地域

2. 花泉地域

3. 大東地域

4. 千厩地域

5. 東山地域

6. 室根地域

7. 川崎地域

8. 藤沢地域

(4) あなたは、現在結婚されていますか。(1つ選択)

1. 既婚

2. 未婚

3. 以前結婚していた(離婚・死別)

(5) 現在、同居されている方がいらっしゃいますか。(1つ選択)

1. いる

2. いない(ひとり暮らし)

(6) (5)で「1. いる」を選んだ方にうかがいます。現在どなたと同居されていますか。あなたからみた続柄をお答えください。(あてはまるものすべて選択)

1. 配偶者

2. 子ども

3. 親

4. 兄弟姉妹

5. 祖父母

6. 孫

7. 配偶者の親

8. 配偶者の兄弟姉妹

9. 配偶者の祖父母

10. その他

★マークのしかた



(7) あなたの居住形態はどれですか。(1つ選択)

1. 持ち家（一戸建て） 2. 持ち家（マンション） 3. 借家（一戸建て）
 4. 民間賃貸住宅（アパート、賃貸マンション） 5. 公的賃貸住宅（県営住宅、市営住宅等）
 6. 会社の寮や社宅 7. その他

(8) ※(7)で「7.その他」を選んだ方は、その内容をお書きください。

(9) あなたの年収についてうかがいます。あてはまるものをお選びください。(1つ選択)

- 100万円未満 100万円以上200万円未満 200万円以上300万円未満
 300万円以上400万円未満 400万円以上500万円未満 500万円以上600万円未満
 600万円以上700万円未満 700万円以上800万円未満 800万円以上
 収入はない

(10) あなたの就労状況を教えてください。(1つ選択)

1. 正社員・正職員 2. 派遣・嘱託・契約社員 3. パート・アルバイト
 4. 自営業主、家族従事者 5. 専業主婦・専業主夫 6. 学生
 7. 無職 8. その他

(11) ※(10)で「8.その他」を選んだ場合は、その内容をお書きください。

(12) (10)で「1.正社員・正職員」～「4.自営業主、家族従事者」を選んだ方にうかがいます。あなたの実労働時間は1日どれくらいですか。(1つ選択)

- 4時間未満 4時間以上6時間未満 6時間以上8時間未満
 8時間以上10時間未満 10時間以上12時間未満 12時間以上

(13) (10)で「1.正社員・正職員」～「4.自営業主、家族従事者」を選んだ方にうかがいます。あなたの通勤時間は片道どれくらいですか。(1つ選択)

- 15分未満 15分以上30分未満 30分以上1時間未満
 1時間以上2時間未満 2時間以上 通勤していない

◆2. 結婚についてうかがいます。

(14) [★【全員】お答えください] あなたは、夫婦間での家事や育児の負担は、どのようであればよいと思いますか。 ※配偶者がいない方は、いると仮定してお答えください。(1つ選択)

1. 夫のほうが多く負担する 2. どちらかというとも夫のほうが多く負担する
 3. どちらも同じくらい負担する 4. どちらかというとも妻のほうが多く負担する
 5. 妻のほうが多く負担する

★マークのしかた



(15) [★【全員】お答えください] 結婚生活をスタートさせるにあたり、必要な夫婦の合計年収はどのくらいだと思いますか。(1つ選択)

- 100万円以上200万円未満 200万円以上300万円未満 300万円以上400万円未満
 400万円以上500万円未満 500万円以上600万円未満 600万円以上700万円未満
 700万円以上800万円未満 800万円以上

★以下の(16)から(24)までの設問は、【既婚】の方のみお答えください。

(16) 結婚されたのは何歳のときですか。その年齢をお書きください。

歳

(17) 結婚時期を決めた要因として大きかったものはどれですか。(あてはまるものすべて選択)

1. 一緒に暮らしたかった 2. 年齢が適齢期だと思った 3. 子どもがほしかった
 4. 子どもができた 5. 親や周囲の勧め 6. 結婚資金の用意ができた
 7. 結婚生活を送れる収入が得られるようになった 8. 自分または相手の仕事の事情 9. その他

(18) ※(17)で「9. その他」を選んだ方は、その内容をお書きください。

(19) (17)で2つ以上選択された方にうかがいます。選んだ選択肢の中で、最も大きな要因だったものはどれですか。選択肢の番号をお答えください。(1つ選択)

- 1 2 3 4 5 6 7 8 9

(20) 現在の配偶者とはどのようなきっかけで知り合いましたか。(1つ選択)

1. 職場や仕事の関係 2. 幼なじみ・隣人 3. 学校以外のサークル・クラブ活動・習い事
 4. 学校 5. お見合い 6. 友人・知人・兄弟姉妹を通じて
 7. SNSなどインターネットを通じて 8. 結婚相談所などの結婚情報サービス
 9. 婚活イベント 10. その他

(21) ※(20)で「10. その他」を選んだ方は、その内容をお書きください。

(22) あなたの配偶者の就労状況を教えてください。(1つ選択)

1. 正社員・正職員 2. 派遣・嘱託・契約社員 3. パート・アルバイト
 4. 自営業主、家族従事者 5. 専業主婦・専業主夫 6. 学生
 7. 無職 8. その他

(23) ※(22)で「8. その他」を選んだ場合は、その内容をお書きください。

★マークのしかた



- (24) あなたの配偶者の年収についてうかがいます。あてはまるものをお選びください。(1つ選択)
- 100万円未満
 - 100万円以上200万円未満
 - 200万円以上300万円未満
 - 300万円以上400万円未満
 - 400万円以上500万円未満
 - 500万円以上600万円未満
 - 600万円以上700万円未満
 - 700万円以上800万円未満
 - 800万円以上
 - 収入はない

★以下の(25)から(32)までの設問は、【未婚】の方、または【以前結婚していた】方のみお答えください。

- (25) 現在、あなたが結婚（再婚）していない理由を教えてください。(あてはまるものすべて選択)
- 1. 結婚したいと思える相手がいないから
 - 2. 交際相手の希望や事情のため
 - 3. 結婚するにはまだ若いから
 - 4. 異性とうまく付き合えないから
 - 5. 仕事（または学業）を優先したいから
 - 6. 仕事が忙しすぎるから
 - 7. 経済力がないから
 - 8. 雇用が安定していないから
 - 9. 親元から離れることができないから
 - 10. 自由や気楽さを失いたくないから
 - 11. 趣味や娯楽を楽しみたいから
 - 12. 結婚の必要性を感じないから
 - 13. 結婚する気がないから
 - 14. その他

- (26) ※(25)で「14. その他」を選んだ場合は、その内容をお書きください。

- (27) あなたは、結婚についてどのようにお考えですか。(1つ選択)
- 1. 結婚したい
 - 2. できれば結婚したい
 - 3. 結婚しなくてもよい
 - 4. 結婚したくない

- (28) (27)で「1. 結婚したい」または「2. できれば結婚したい」を選んだ方にうかがいます。何歳くらいで結婚したいですか。その年齢をお書きください。

歳くらい

- (29) (27)で「1. 結婚したい」または「2. できれば結婚したい」を選んだ方にうかがいます。今後結婚するとしたら、どのような条件が必要ですか。(あてはまるものすべて選択)

- 1. 収入の増加
- 2. 安定した就業状態
- 3. 親との同居
- 4. 親との別居
- 5. 職場の理解
- 6. 住居の確保
- 7. 仕事の余裕
- 8. 相手の経済力
- 9. 相手の安定した就業状態
- 10. その他

- (30) ※(29)で「10. その他」を選んだ場合は、その内容をお書きください。

★マークのしかた



(31) (27)で「1. 結婚したい」または「2. できれば結婚したい」を選んだ方にうかがいます。結婚相手との出会いを求めるとしたら、どのようなことに取り組みたいと思いますか。（あてはまるものすべて選択）

- | | |
|--|---|
| <input type="radio"/> 1. 職場の同僚や先輩に紹介を頼む | <input type="radio"/> 2. サークルやクラブ活動に参加する |
| <input type="radio"/> 3. 学校の同窓会に参加する | <input type="radio"/> 4. お見合いをする |
| <input type="radio"/> 5. 友人・知人に紹介を頼む | <input type="radio"/> 6. SNSなどインターネットを通じて探す |
| <input type="radio"/> 7. 市やNPOで行う結婚相談・結婚支援 | <input type="radio"/> 8. 民間の結婚相談・結婚情報サービス |
| <input type="radio"/> 9. 婚活イベントに参加する | <input type="radio"/> 10. 既に結婚を考えた相手がいる |
| <input type="radio"/> 11. 特に何もしない | <input type="radio"/> 12. その他 |

(32) ※(31)で「12. その他」を選んだ場合は、その内容をお書きください。

◆3. 出産や子育てについてうかがいます。

(33) [★【全員】お答えください] あなたにお子さんはいらっしゃいますか。（1つ選択）

- | | |
|-----------------------------|------------------------------|
| <input type="radio"/> 1. いる | <input type="radio"/> 2. いない |
|-----------------------------|------------------------------|

★以下の(34)から(44)までの設問は、【子どもがいる】方のみお答えください。

(34) お子さんは何人いらっしゃいますか。（同居・別居は問いません）（1つ選択）

- | | | | | |
|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|----------------------------|
| <input type="radio"/> 1人 | <input type="radio"/> 2人 | <input type="radio"/> 3人 | <input type="radio"/> 4人 | <input type="radio"/> 5人以上 |
|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|----------------------------|

(35) あなたにとって理想の子どもの数は何人ですか。（1つ選択）

- | | | | | |
|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|----------------------------|
| <input type="radio"/> 1人 | <input type="radio"/> 2人 | <input type="radio"/> 3人 | <input type="radio"/> 4人 | <input type="radio"/> 5人以上 |
|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|----------------------------|

(36) 初めてお子さんをお持ちになった年齢をお書きください。

(37) あなたが子育てをするにあたり、頼れる親族の方は身近にいますか。（1つ選択）

- 1. 自分または配偶者の親などの親族と同居しており、頼ることができる
- 2. 自分または配偶者の親などの親族と近居しており、頼ることができる
- 3. 自分または配偶者の親などの親族と同居しているが、頼ることができない
- 4. 自分または配偶者の親などの親族と近居しているが、頼ることができない
- 5. 頼れる親族が身近にいない

★マークのしかた



(38) 2人目以降のお子さんについてうかがいます。お子さんが1人の方は2人目以降の出産について支障になると想定されること、2人以上お子さんがいる方は出産前に支障だと感じていたことはどのようなことですか。(あてはまるものすべて選択)

- 1. 妊娠・出産の心理的・肉体的な負担が大きい
- 2. 健康上の理由で妊娠・出産が困難
- 3. 年齢が高い
- 4. 共働きで育児と仕事の両立が困難
- 5. 出産・育児・教育にお金がかかる
- 6. 出産・育児で仕事から離れることによる減収
- 7. 育児や家事に配偶者の協力が得られない
- 8. 育児に配偶者以外の家族の協力が得られない
- 9. 育児休暇が取れない
- 10. 働く時間に融通がきく仕事が少ない
- 11. 出産・育児に対する職場の理解がない
- 12. 保育サービス等の支援体制が不十分
- 13. 住居が狭い・間取りが不十分
- 14. 子どもの遊び場が近所がない
- 15. 自分や夫婦の時間が取れなくなる
- 16. 配偶者が子どもを望まない
- 17. その他

(39) ※(38)で「17. その他」を選んだ場合は、その内容をお書きください。

(40) 第1子出産前の就労状況を教えてください。 ※男性の方は、配偶者の状況についてお答えください。(1つ選択)

- 1. 正社員・正職員
- 2. 派遣・嘱託・契約社員
- 3. パート・アルバイト
- 4. 自営業主、家族従事者
- 5. 家事専業
- 6. 無職
- 7. その他

(41) ※(40)で「7. その他」を選んだ場合は、その内容をお書きください。

(42) 第1子出産後の就労状況を教えてください。 ※男性の方は、配偶者の状況についてお答えください。(1つ選択)

- 1. 正社員・正職員
- 2. 派遣・嘱託・契約社員
- 3. パート・アルバイト
- 4. 自営業主、家族従事者
- 5. 家事専業
- 6. 無職
- 7. その他

(43) ※(42)で「7. その他」を選んだ場合は、その内容をお書きください。

(44) (42)で「1. 正社員・正職員」から「4. 自営業主、家族従事者」を選んだ方にうかがいます。出産後どのくらいの期間で就労されましたか。○年○か月のようにお書きください。



★以下の(45)から(52)までの設問は、【子どもがいない】方のみお答えください。

(45) あなたにとって理想の子どもの数は何人ですか。(1つ選択)

- 1人 2人 3人 4人 5人以上 子どもはいらない

(46) (45)で「1人」から「5人以上」を選んだ方にうかがいます。理想的には何歳くらいで子ども(第1子)を持ちたいと思いますか。実際にどうであるかは別として、あなたにとって理想の年齢をお書きください。

歳くらい

(47) 出産や子育てについて、支障になりそうだと感じることはどのようなことですか。(あてはまるものすべて選択)

- | | |
|---|---|
| <input type="radio"/> 1. 妊娠・出産の心理的・肉体的な負担が大きい | <input type="radio"/> 2. 健康上の理由で妊娠・出産が困難 |
| <input type="radio"/> 3. 出産年齢が高い | <input type="radio"/> 4. 共働きで育児と仕事の両立が困難 |
| <input type="radio"/> 5. 出産・育児・教育にお金がかかる | <input type="radio"/> 6. 出産・育児で仕事から離れることによる減収 |
| <input type="radio"/> 7. 育児や家事に配偶者の協力が得られない | <input type="radio"/> 8. 育児に配偶者以外の家族の協力が得られない |
| <input type="radio"/> 9. 育児休暇が取れない | <input type="radio"/> 10. 働く時間に融通がきく仕事が少ない |
| <input type="radio"/> 11. 出産・育児に対する職場の理解がない | <input type="radio"/> 12. 保育サービス等の支援体制が不十分 |
| <input type="radio"/> 13. 住居が狭い・間取りが不十分 | <input type="radio"/> 14. 子どもの遊び場が近所がない |
| <input type="radio"/> 15. 自分や夫婦の時間が取れなくなる | <input type="radio"/> 16. 配偶者が子どもを望まない |
| <input type="radio"/> 17. その他 | |

(48) ※(47)で「17. その他」を選んだ場合は、その内容をお書きください。

(49) 不妊治療についてうかがいます。あてはまるものをお選びください。(1つ選択)

1. 不妊治療をしている、または治療したことがある 2. 不妊治療を考えている
3. 不妊治療は考えていない 4. その他

(50) ※(49)で「4. その他」を選んだ場合は、その内容をお書きください。

★マークのしかた



(51) (49)で「1. 不妊治療をしている、または治療したことがある」または「2. 不妊治療を考えている」を選んだ方にうかがいます。不妊治療について、困っていること、心配していることは何ですか。（あてはまるものすべて選択）

- 1. 治療の方法がわからない
- 2. どの医療機関に行けばよいかわからない
- 3. 治療にかかる経済的な負担が大きい
- 4. 不妊治療の助成などの支援制度がわからない
- 5. 仕事を休んで治療に行くことができない
- 6. 配偶者の理解や協力が得られない
- 7. 不妊治療に対する職場の理解が得にくい
- 8. 治療を受けるための身体的負担が大きい
- 9. 治療を受けるための精神的負担が大きい
- 10. 治療を受けたい医療機関が遠い
- 11. その他

(52) ※(51)で「11. その他」を選んだ場合は、その内容をお書きください。

★【全員】お答えください。

(53)一関市が、結婚・出産・子育てしやすいまちになるためには、現在の状況からどのように変わっていけばよいと思いますか。お考えやご提案がありましたら、記入してください。

ご協力ありがとうございました。

一関市から転出された方へのアンケート調査（単純集計）

令和元年12月11日

【調査目的】

転出者の転出の理由や転出前後の生活環境の変化などについて調査し、令和3年度から5年間を計画期間とする「第2期総合戦略」を策定する際の参考とする。

【調査内容】

- ① 実施時期 令和元年10月4日から10月18日まで
- ② 対象者 転出者 453人
(平成30年に一関市から転出された方の中から無作為に抽出)
- ③ 調査方法 調査票によるアンケート調査（郵送法）

【回答数】

91人 (回収率 20.1%)

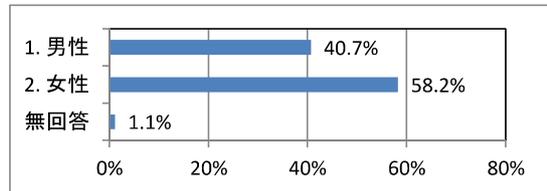
【設問および回答】

(1) あなたの性別を教えてください。（1つ選択）

「女性」が58.2%、「男性」が40.7%となっています。

選択肢	回答数	割合(%)
1. 男性	37	40.7%
2. 女性	53	58.2%
無回答	1	1.1%
合計	91	100.0%

有効回答数 = 91

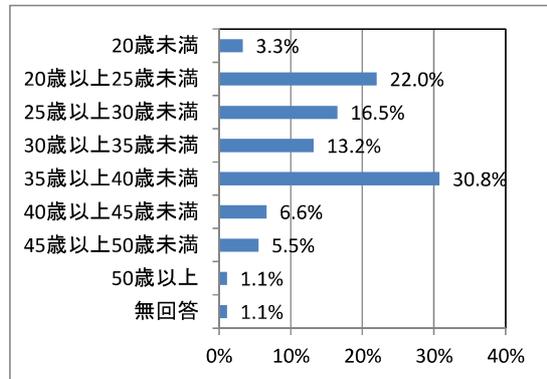


(2) あなたの年齢をお書きください。

5歳年齢階級別にみると、「35歳以上40歳未満」が30.8%と最も多く、次いで「20歳以上25歳未満」の22.0%となっています。

	回答数	割合(%)
20歳未満	3	3.3%
20歳以上25歳未満	20	22.0%
25歳以上30歳未満	15	16.5%
30歳以上35歳未満	12	13.2%
35歳以上40歳未満	28	30.8%
40歳以上45歳未満	6	6.6%
45歳以上50歳未満	5	5.5%
50歳以上	1	1.1%
無回答	1	1.1%
合計	91	100.0%

有効回答数 = 91

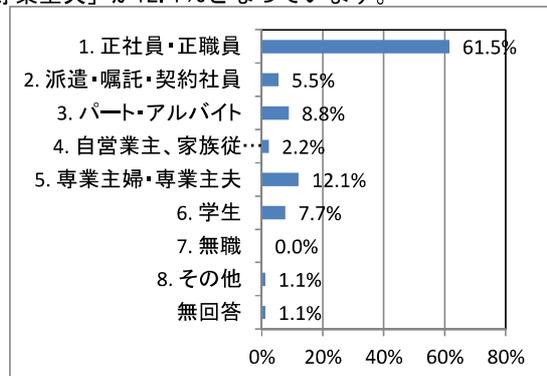


(3) あなたの就労状況を教えてください。（1つ選択）

「正社員・正職員」が61.5%と最も多く、次いで「専業主婦・専業主夫」が12.1%となっています。

選択肢	回答数	割合(%)
1. 正社員・正職員	56	61.5%
2. 派遣・嘱託・契約社員	5	5.5%
3. パート・アルバイト	8	8.8%
4. 自営業主、家族従事者	2	2.2%
5. 専業主婦・専業主夫	11	12.1%
6. 学生	7	7.7%
7. 無職	0	0.0%
8. その他	1	1.1%
無回答	1	1.1%
合計	91	100.0%

有効回答数 = 91

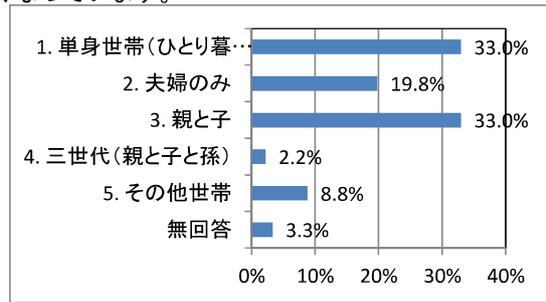


(5) あなたの家族構成は、次のどれですか。(1つ選択)

「単身世帯(ひとり暮らし)」と「親と子」が33.0%と最も多くなっています。

選択肢	回答数	割合(%)
1. 単身世帯(ひとり暮らし)	30	33.0%
2. 夫婦のみ	18	19.8%
3. 親と子	30	33.0%
4. 三世代(親と子と孫)	2	2.2%
5. その他世帯	8	8.8%
無回答	3	3.3%
合計	91	100.0%

有効回答数= 91

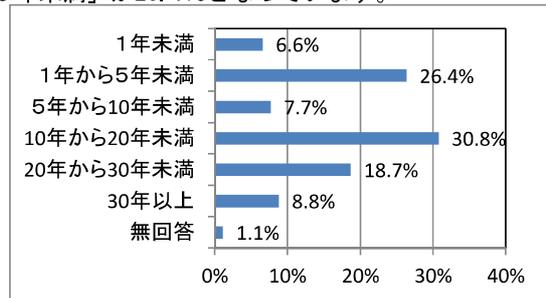


(7) 一関市にはおおむね何年、お住まいになりましたか。(1つ選択)

「10年から20年未満」が30.8%と最も多く、次いで「1年から5年未満」が26.4%となっています。

選択肢	回答数	割合(%)
1年未満	6	6.6%
1年から5年未満	24	26.4%
5年から10年未満	7	7.7%
10年から20年未満	28	30.8%
20年から30年未満	17	18.7%
30年以上	8	8.8%
無回答	1	1.1%
合計	91	100.0%

有効回答数= 91

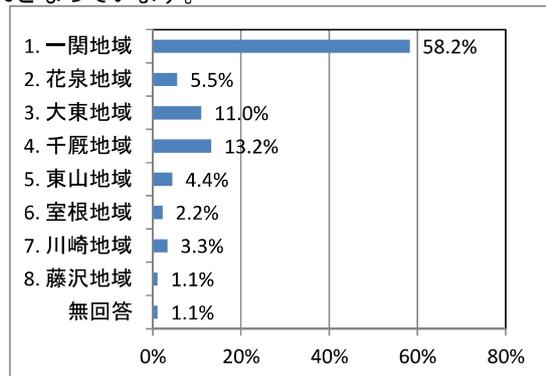


(8) 一関市でお住まいになられていた地域を教えてください。(1つ選択)

「一関地域」が58.2%と最も多く、次いで「千厩地域」が13.2%となっています。

選択肢	回答数	割合(%)
1. 一関地域	53	58.2%
2. 花泉地域	5	5.5%
3. 大東地域	10	11.0%
4. 千厩地域	12	13.2%
5. 東山地域	4	4.4%
6. 室根地域	2	2.2%
7. 川崎地域	3	3.3%
8. 藤沢地域	1	1.1%
無回答	1	1.1%
合計	91	100.0%

有効回答数= 91

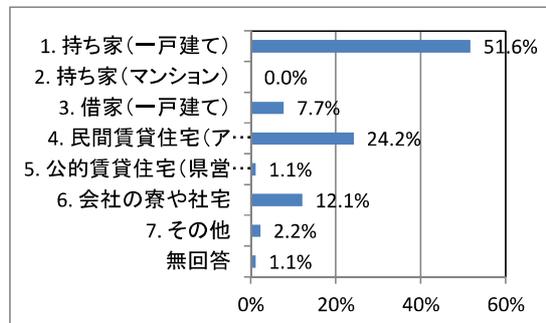


(9) 一関市でお住まいになられていたときの居住形態について教えてください。(1つ選択)

「持ち家(一戸建て)」が51.6%と最も多く、次いで「民間賃貸住宅(アパート、賃貸マンション)」が24.2%となっています。

選択肢	回答数	割合(%)
1. 持ち家(一戸建て)	47	51.6%
2. 持ち家(マンション)	0	0.0%
3. 借家(一戸建て)	7	7.7%
4. 民間賃貸住宅(アパート、賃貸マンション)	22	24.2%
5. 公的賃貸住宅(県営住宅、市営住宅等)	1	1.1%
6. 会社の寮や社宅	11	12.1%
7. その他	2	2.2%
無回答	1	1.1%
合計	91	100.0%

有効回答数= 91

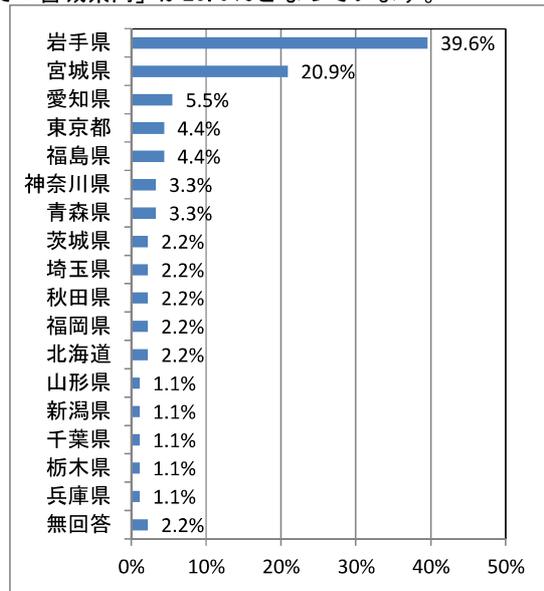


(11) 転出先の都道府県名と市区町村名をお書きください。

都道府県別にみると、「岩手県内」が39.6%と最も多く、次いで「宮城県内」が20.9%となっています。

	回答数	割合(%)
岩手県	36	39.6%
宮城県	19	20.9%
愛知県	5	5.5%
東京都	4	4.4%
福島県	4	4.4%
神奈川県	3	3.3%
青森県	3	3.3%
茨城県	2	2.2%
埼玉県	2	2.2%
秋田県	2	2.2%
福岡県	2	2.2%
北海道	2	2.2%
山形県	1	1.1%
新潟県	1	1.1%
千葉県	1	1.1%
栃木県	1	1.1%
兵庫県	1	1.1%
無回答	2	2.2%
合計	91	100.0%

有効回答数＝ 91

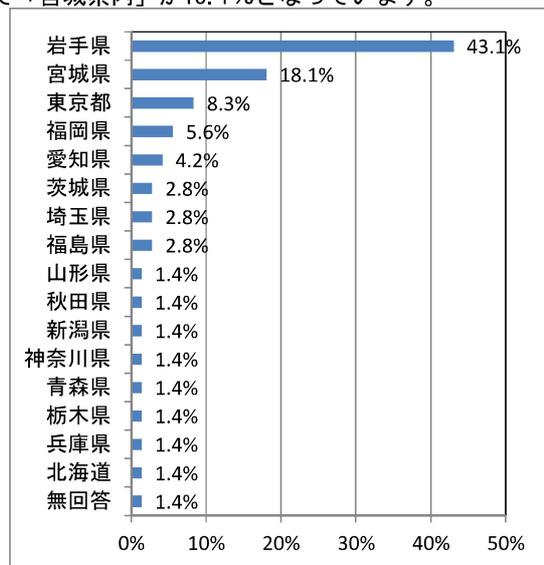


(12) 勤務先の都道府県名と市区町村名をお書きください。(勤務されている方のみお書きください)

都道府県別にみると、「岩手県内」が43.1%と最も多く、次いで「宮城県内」が18.1%となっています。

	回答数	割合(%)
岩手県	31	43.1%
宮城県	13	18.1%
東京都	6	8.3%
福岡県	4	5.6%
愛知県	3	4.2%
茨城県	2	2.8%
埼玉県	2	2.8%
福島県	2	2.8%
山形県	1	1.4%
秋田県	1	1.4%
新潟県	1	1.4%
神奈川県	1	1.4%
青森県	1	1.4%
栃木県	1	1.4%
兵庫県	1	1.4%
北海道	1	1.4%
無回答	1	1.4%
合計	72	100.0%

有効回答数＝ 72

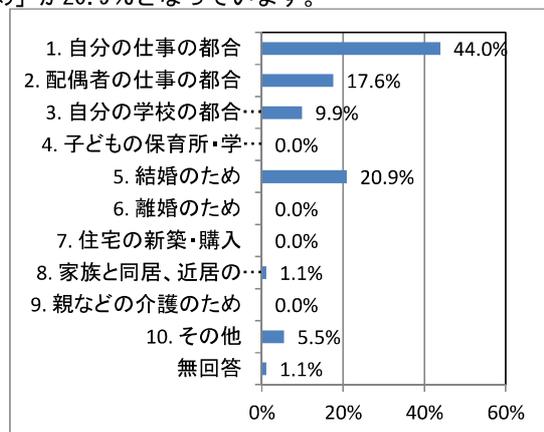


(13) 一関市から転出された主な理由は何ですか。(1つ選択)

「自分の仕事の都合」が44.0%と最も多く、次いで「結婚のため」が20.9%となっています。

選択肢	回答数	割合(%)
1. 自分の仕事の都合	40	44.0%
2. 配偶者の仕事の都合	16	17.6%
3. 自分の学校の都合(進学、通学など)	9	9.9%
4. 子どもの保育所・学校の都合	0	0.0%
5. 結婚のため	19	20.9%
6. 離婚のため	0	0.0%
7. 住宅の新築・購入	0	0.0%
8. 家族と同居、近居のため	1	1.1%
9. 親などの介護のため	0	0.0%
10. その他	5	5.5%
無回答	1	1.1%
合計	91	100.0%

有効回答数＝ 91

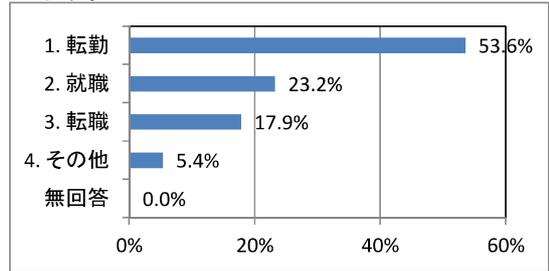


(15) (13)で「1. 自分の仕事の都合」または「2. 配偶者の仕事の都合」を選んだ方にうかがいます。
 仕事の都合の具体的な内容は何ですか。(1つ選択)

「転勤」が53.6%と最も多く、次いで「就職」が23.2%となっています。

選択肢	回答数	割合(%)
1. 転勤	30	53.6%
2. 就職	13	23.2%
3. 転職	10	17.9%
4. その他	3	5.4%
無回答	0	0.0%
合計	56	100.0%

有効回答数= 56



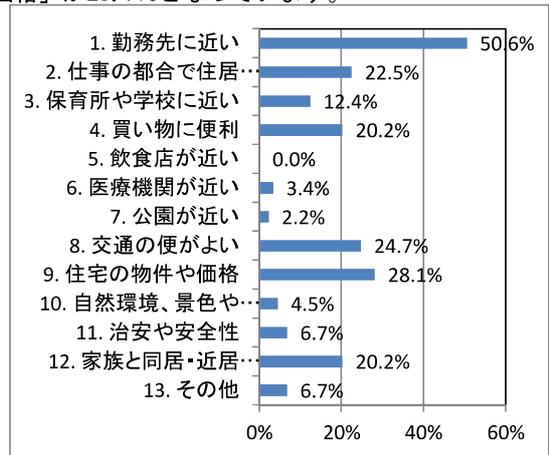
(17) 現在のお住まいを決める際に、重視した居住環境は何ですか。(あてはまるもの3つまで選択)

「勤務先に近い」が50.6%と最も多く、次いで「住宅の物件や価格」が28.1%となっています。

選択肢	回答数	割合(%)
1. 勤務先に近い	45	50.6%
2. 仕事の都合で住居が決められていた	20	22.5%
3. 保育所や学校に近い	11	12.4%
4. 買い物に便利	18	20.2%
5. 飲食店が近い	0	0.0%
6. 医療機関が近い	3	3.4%
7. 公園が近い	2	2.2%
8. 交通の便がよい	22	24.7%
9. 住宅の物件や価格	25	28.1%
10. 自然環境、景色や静かさ	4	4.5%
11. 治安や安全性	6	6.7%
12. 家族と同居・近居するため	18	20.2%
13. その他	6	6.7%

有効回答数= 89

※複数回答のため、合計は100%にならない



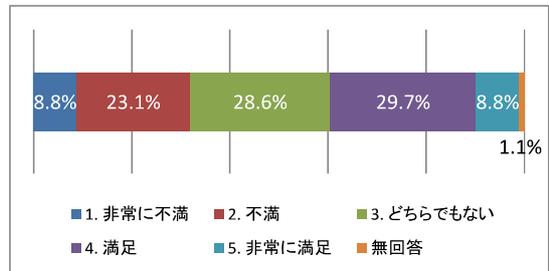
(19) 現在お住まいの市区町村と比べて、一関市の生活環境の満足度をうかがいます。次の各項目について、
 1「非常に不満」～5「非常に満足」の5段階評価で、あてはまる番号を1つ選択してください。

1 日常の買い物の便利さ

選択肢	回答数	割合(%)
1. 非常に不満	8	8.8%
2. 不満	21	23.1%
3. どちらでもない	26	28.6%
4. 満足	27	29.7%
5. 非常に満足	8	8.8%
無回答	1	1.1%
合計	91	100.0%

有効回答数= 91

評価の平均= 3.1

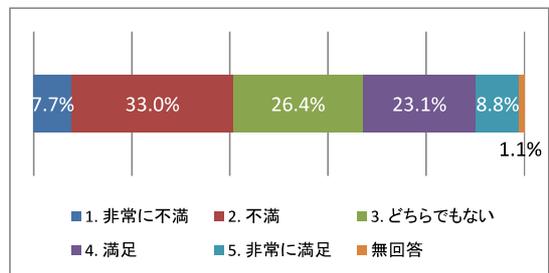


2 飲食店の多さ

選択肢	回答数	割合(%)
1. 非常に不満	7	7.7%
2. 不満	30	33.0%
3. どちらでもない	24	26.4%
4. 満足	21	23.1%
5. 非常に満足	8	8.8%
無回答	1	1.1%
合計	91	100.0%

有効回答数= 91

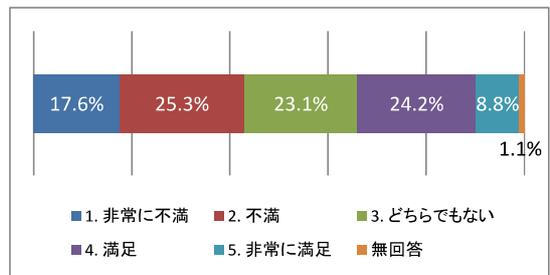
評価の平均= 2.9



3 交通の便利さ

選択肢	回答数	割合(%)
1. 非常に不満	16	17.6%
2. 不満	23	25.3%
3. どちらでもない	21	23.1%
4. 満足	22	24.2%
5. 非常に満足	8	8.8%
無回答	1	1.1%
合計	91	100.0%

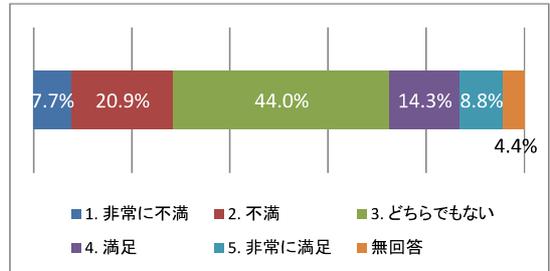
有効回答数= 91
 評価の平均= 2.8



4 職場までの距離

選択肢	回答数	割合(%)
1. 非常に不満	7	7.7%
2. 不満	19	20.9%
3. どちらでもない	40	44.0%
4. 満足	13	14.3%
5. 非常に満足	8	8.8%
無回答	4	4.4%
合計	91	100.0%

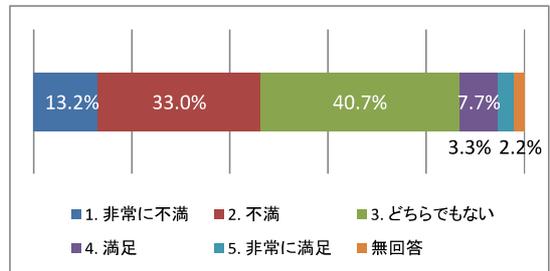
有効回答数= 91
 評価の平均= 3.0



5 働く場の多さ

選択肢	回答数	割合(%)
1. 非常に不満	12	13.2%
2. 不満	30	33.0%
3. どちらでもない	37	40.7%
4. 満足	7	7.7%
5. 非常に満足	3	3.3%
無回答	2	2.2%
合計	91	100.0%

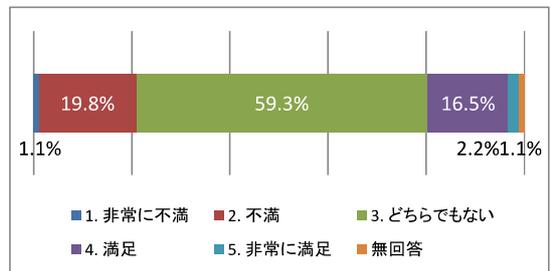
有効回答数= 91
 評価の平均= 2.5



6 子育て環境

選択肢	回答数	割合(%)
1. 非常に不満	1	1.1%
2. 不満	18	19.8%
3. どちらでもない	54	59.3%
4. 満足	15	16.5%
5. 非常に満足	2	2.2%
無回答	1	1.1%
合計	91	100.0%

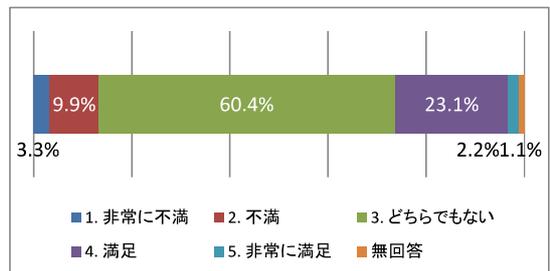
有効回答数= 91
 評価の平均= 3.0



7 教育環境

選択肢	回答数	割合(%)
1. 非常に不満	3	3.3%
2. 不満	9	9.9%
3. どちらでもない	55	60.4%
4. 満足	21	23.1%
5. 非常に満足	2	2.2%
無回答	1	1.1%
合計	91	100.0%

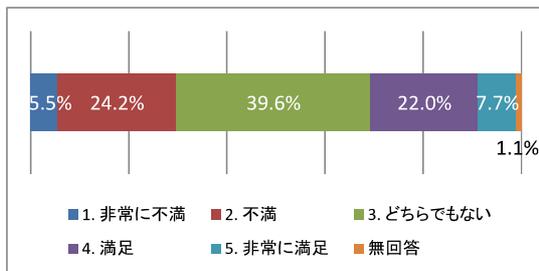
有効回答数= 91
 評価の平均= 3.1



8 医療環境

選択肢	回答数	割合(%)
1. 非常に不満	5	5.5%
2. 不満	22	24.2%
3. どちらでもない	36	39.6%
4. 満足	20	22.0%
5. 非常に満足	7	7.7%
無回答	1	1.1%
合計	91	100.0%

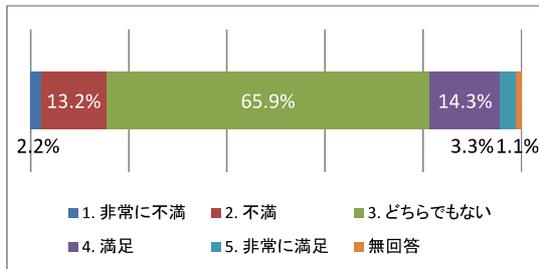
有効回答数= 91
 評価の平均= 3.0



9 福祉・介護環境

選択肢	回答数	割合(%)
1. 非常に不満	2	2.2%
2. 不満	12	13.2%
3. どちらでもない	60	65.9%
4. 満足	13	14.3%
5. 非常に満足	3	3.3%
無回答	1	1.1%
合計	91	100.0%

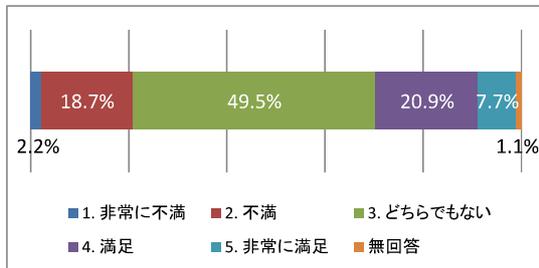
有効回答数= 91
 評価の平均= 3.0



10 住宅環境

選択肢	回答数	割合(%)
1. 非常に不満	2	2.2%
2. 不満	17	18.7%
3. どちらでもない	45	49.5%
4. 満足	19	20.9%
5. 非常に満足	7	7.7%
無回答	1	1.1%
合計	91	100.0%

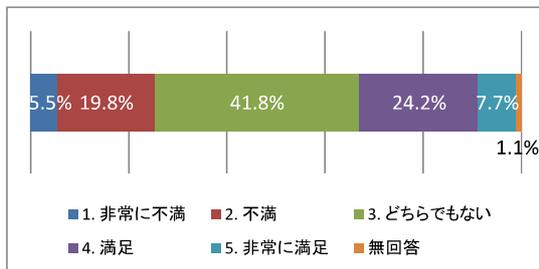
有効回答数= 91
 評価の平均= 3.1



11 インターネットなどの通信環境

選択肢	回答数	割合(%)
1. 非常に不満	5	5.5%
2. 不満	18	19.8%
3. どちらでもない	38	41.8%
4. 満足	22	24.2%
5. 非常に満足	7	7.7%
無回答	1	1.1%
合計	91	100.0%

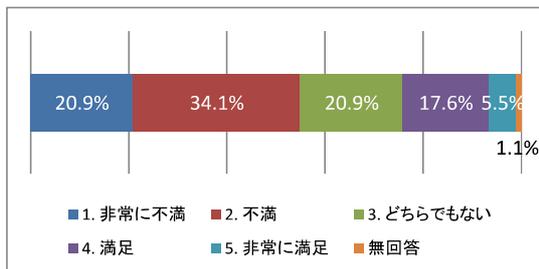
有効回答数= 91
 評価の平均= 3.1



12 娯楽・余暇での楽しみ

選択肢	回答数	割合(%)
1. 非常に不満	19	20.9%
2. 不満	31	34.1%
3. どちらでもない	19	20.9%
4. 満足	16	17.6%
5. 非常に満足	5	5.5%
無回答	1	1.1%
合計	91	100.0%

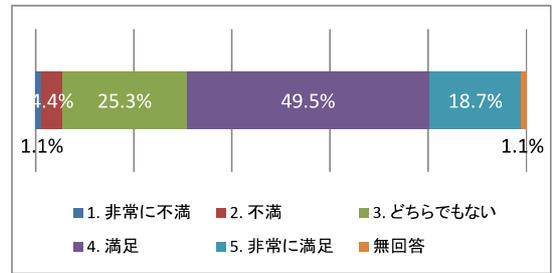
有効回答数= 91
 評価の平均= 2.5



13 自然環境

選択肢	回答数	割合(%)
1. 非常に不満	1	1.1%
2. 不満	4	4.4%
3. どちらでもない	23	25.3%
4. 満足	45	49.5%
5. 非常に満足	17	18.7%
無回答	1	1.1%
合計	91	100.0%

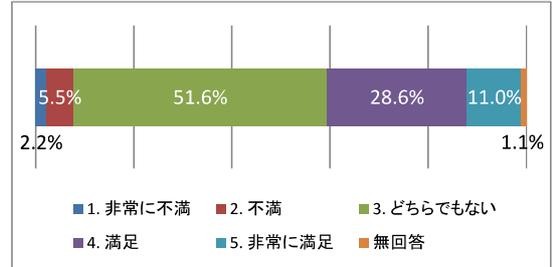
有効回答数= 91
 評価の平均= 3.8



14 近所・地域の人間関係

選択肢	回答数	割合(%)
1. 非常に不満	2	2.2%
2. 不満	5	5.5%
3. どちらでもない	47	51.6%
4. 満足	26	28.6%
5. 非常に満足	10	11.0%
無回答	1	1.1%
合計	91	100.0%

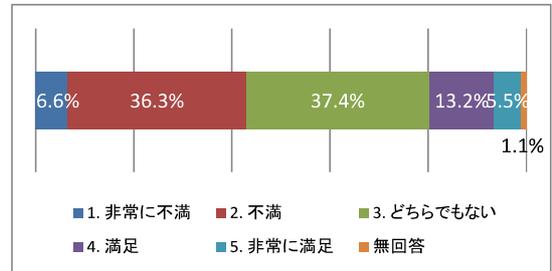
有効回答数= 91
 評価の平均= 3.4



15 街のにぎわい

選択肢	回答数	割合(%)
1. 非常に不満	6	6.6%
2. 不満	33	36.3%
3. どちらでもない	34	37.4%
4. 満足	12	13.2%
5. 非常に満足	5	5.5%
無回答	1	1.1%
合計	91	100.0%

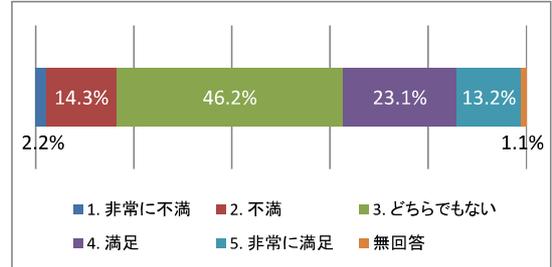
有効回答数= 91
 評価の平均= 2.7



16 ゆとりある暮らし

選択肢	回答数	割合(%)
1. 非常に不満	2	2.2%
2. 不満	13	14.3%
3. どちらでもない	42	46.2%
4. 満足	21	23.1%
5. 非常に満足	12	13.2%
無回答	1	1.1%
合計	91	100.0%

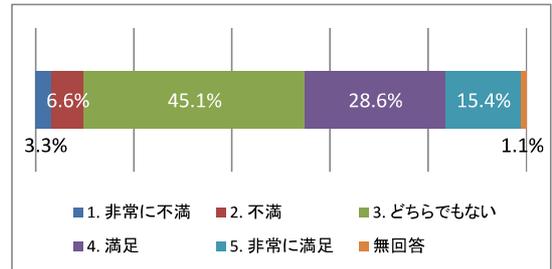
有効回答数= 91
 評価の平均= 3.3



17 治安・防犯

選択肢	回答数	割合(%)
1. 非常に不満	3	3.3%
2. 不満	6	6.6%
3. どちらでもない	41	45.1%
4. 満足	26	28.6%
5. 非常に満足	14	15.4%
無回答	1	1.1%
合計	91	100.0%

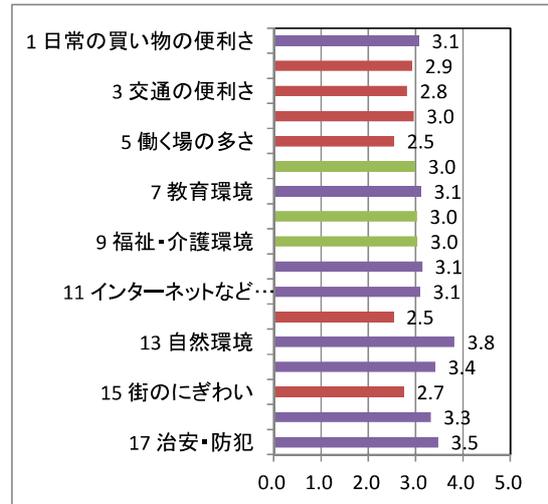
有効回答数= 91
 評価の平均= 3.5



各項目の5段階評価の平均値

「自然環境」が3.8と最も高く、次いで「治安・防犯」が3.5となっています。また「働く場所の多さ」と「娯楽・余暇での楽しみ」が2.5と最も低くなっています。

1 日常の買い物の便利さ	3.1
2 飲食店の多さ	2.9
3 交通の便利さ	2.8
4 職場までの距離	3.0
5 働く場の多さ	2.5
6 子育て環境	3.0
7 教育環境	3.1
8 医療環境	3.0
9 福祉・介護環境	3.0
10 住宅環境	3.1
11 インターネットなどの通信環境	3.1
12 娯楽・余暇での楽しみ	2.5
13 自然環境	3.8
14 近所・地域の人間関係	3.4
15 街のにぎわい	2.7
16 ゆとりある暮らし	3.3
17 治安・防犯	3.5

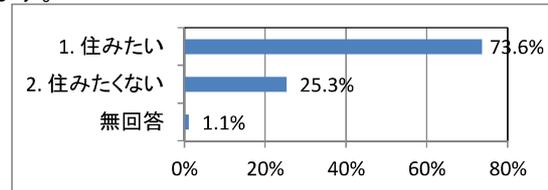


(20) 機会があれば、もう一度一関市に住みたいと思いますか。(1つ選択)

「住みたい」が73.6%、「住みたくない」が25.3%となっています。

選択肢	回答数	割合(%)
1. 住みたい	67	73.6%
2. 住みたくない	23	25.3%
無回答	1	1.1%
合計	91	100.0%

有効回答数= 91



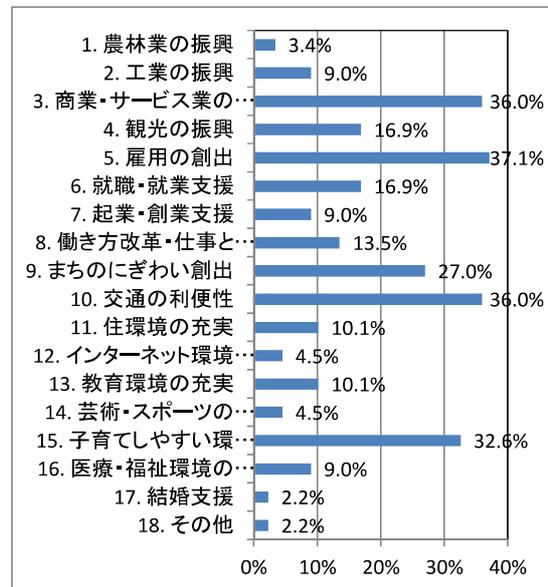
(23) 一関市が若者から住んでみたいと思われるまちになるためにどのような分野に力を入れればよいと思いますか。(あてはまるもの3つまで選択)

「雇用の創出」が37.1%と最も多く、次いで「商業・サービス業の振興」と「交通の利便性」が36.0%となっています。

選択肢	回答数	割合(%)
1. 農林業の振興	3	3.4%
2. 工業の振興	8	9.0%
3. 商業・サービス業の振興	32	36.0%
4. 観光の振興	15	16.9%
5. 雇用の創出	33	37.1%
6. 就職・就業支援	15	16.9%
7. 起業・創業支援	8	9.0%
8. 働き方改革・仕事と生活の調和	12	13.5%
9. まちのにぎわい創出	24	27.0%
10. 交通の利便性	32	36.0%
11. 住環境の充実	9	10.1%
12. インターネット環境の整備	4	4.5%
13. 教育環境の充実	9	10.1%
14. 芸術・スポーツの振興	4	4.5%
15. 子育てしやすい環境づくり	29	32.6%
16. 医療・福祉環境の充実	8	9.0%
17. 結婚支援	2	2.2%
18. その他	2	2.2%

有効回答数= 89

※複数回答のため、合計は100%にならない





一関市から転出された皆さまへ アンケート調査にご協力をお願いいたします

◆調査ご協力のお願い

皆さまには、日頃より市政の推進にご理解・ご協力をいただき、ありがとうございます。

さて、一関市では、人口減少の抑制を図るため、平成27年度に「一関市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、結婚、出産、子育てを応援する取組や市内外の若者が一関市に定着するような取組を進めております。

この調査は、皆さまの転出の理由や転出前後の生活環境の変化などについておうかがいし、令和3年度から5年間を計画期間とする「第2期総合戦略」を策定する際の参考とするため実施するものです。このたびの調査対象者につきましては、平成30年に一関市から転出された方の中から無作為に選ばせていただき、ご協力をお願いしております。

ご回答いただいた調査内容は、「こう思う方は全体の何%」といった形で整理し、統計的な数値に取りまとめますので、お名前や個人が特定された形で回答内容が外部に漏れるなど、ご迷惑をおかけすることはありません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨にご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和元年10月

一関市長 勝部 修

◆ご記入にあたってのお願い

- この調査の回答は、あて名のご本人さまが記入してください。
- できるだけ濃い鉛筆か、黒のボールペンなどで記入してください。
- 回答方法は、各問の選択肢の中から該当するものを選択してマークしていただくものと、内容を記述するものがあります。選択するものは、「1つ」の場合や、「あてはまるもの3つまで」などの場合があります。また、設問によっては回答していただく方が限られますので、ご注意ください。

◆調査票は、同封の返信用封筒に入れて【10月18日(金)】までに 投函してください。（切手は不要です）

【お問合せ先】

一関市 市長公室 政策企画課 未来戦略係
〒021-8501 岩手県一関市竹山町7番2号
TEL 0191-21-8641 FAX 0191-21-2164



一関市から転出された方へのアンケート調査

選択式の回答は、該当箇所のマーク○を塗りつぶしてご回答ください。

○: 空白マーク ●: 正しいぬりつぶし ◐: 不十分なぬりつぶし

記述式の回答は、回答欄からはみ出さないように記入してください。

この用紙は機械で処理します。回答欄以外に書き込みをしたり、用紙を汚したり、折り目を付けたりしないように注意してください。

◆ 1. あなたご自身やご家族の状況についてうかがいます。

(1) あなたの性別を教えてください。(1つ選択)

1. 男性

2. 女性

(2) あなたの年齢をお書きください。

(3) あなたの就労状況を教えてください。(1つ選択)

1. 正社員・正職員

2. 派遣・嘱託・契約社員

3. パート・アルバイト

4. 自営業主、家族従事者

5. 専業主婦・専業主夫

6. 学生

7. 無職

8. その他

(4) ※(3)で「8. その他」を選んだ場合は、その内容をお書きください。

(5) あなたの家族構成を教えてください。(1つ選択)

1. 単身世帯(ひとり暮らし)

2. 夫婦のみ

3. 親と子

4. 三世帯(親と子と孫)

5. その他世帯

(6) ※(5)で「5. その他世帯」を選んだ場合は、その内容をお書きください。

(7) 一関市にはおおむね何年、お住まいになりましたか。(1つ選択)

1年未満

1年から5年未満

5年から10年未満

10年から20年未満

20年から30年未満

30年以上

(8) 一関市でお住まいになられていた地域を教えてください。(1つ選択)

1. 一関地域

2. 花泉地域

3. 大東地域

4. 千厩地域

5. 東山地域

6. 室根地域

7. 川崎地域

8. 藤沢地域



(9) 一関市でお住まいになられていたときの居住形態について教えてください。(1つ選択)

- 1. 持ち家（一戸建て）
- 2. 持ち家（マンション）
- 3. 借家（一戸建て）
- 4. 民間賃貸住宅（アパート、賃貸マンション）
- 5. 公的賃貸住宅（県営住宅、市営住宅等）
- 6. 会社の寮や社宅
- 7. その他

(10) ※(9)で「7. その他」を選んだ場合は、その内容をお書きください。

◆2. 一関市から転出された経緯についてうかがいます。

(11) 転出先の都道府県名と市区町村名をお書きください。

都道府県名： 市区町村名：

(12) 勤務先の都道府県名と市区町村名をお書きください。(勤務されている方のみお書きください)

都道府県名： 市区町村名：

(13) 一関市から転出された主な理由は何ですか。(1つ選択)

- 1. 自分の仕事の都合
- 2. 配偶者の仕事の都合
- 3. 自分の学校の都合（進学、通学など）
- 4. 子どもの保育所・学校の都合
- 5. 結婚のため
- 6. 離婚のため
- 7. 住宅の新築・購入
- 8. 家族と同居、近居のため
- 9. 親などの介護のため
- 10. その他

(14) ※(13)で「10. その他」を選んだ場合は、その内容をお書きください。

(15) (13)で「1. 自分の仕事の都合」または「2. 配偶者の仕事の都合」を選んだ方にうかがいます。
仕事の都合の具体的な内容は何ですか。(1つ選択)

- 1. 転勤
- 2. 就職
- 3. 転職
- 4. その他

(16) ※(15)で「4. その他」を選んだ場合は、その内容をお書きください。

★マークのしかた



◆ 3. 現在お住まいの市区町村と、一関市の生活環境についてうかがいます。

(17) 現在のお住まいを決める際に、重視した居住環境は何ですか。（あてはまるもの3つまで選択）

- 1. 勤務先に近い
- 2. 仕事の都合で住居が決められていた
- 3. 保育所や学校に近い
- 4. 買い物に便利
- 5. 飲食店が近い
- 6. 医療機関が近い
- 7. 公園が近い
- 8. 交通の便がよい
- 9. 住宅の物件や価格
- 10. 自然環境、景色や静かさ
- 11. 治安や安全性
- 12. 家族と同居・近居するため
- 13. その他

(18) ※(17)で「13. その他」を選んだ場合は、その内容をお書きください。

(19) 現在お住まいの市区町村と比べて、一関市の生活環境の満足度をうかがいます。次の各項目について、1「非常に不満」～5「非常に満足」の5段階評価で、あてはまる番号を1つ選択してください。

		満足度				
		1.非常に不満	2.不満	3.どちらでもない	4.満足	5.非常に満足
1	日常の買い物の便利さ	<input type="radio"/>				
2	飲食店の多さ	<input type="radio"/>				
3	交通の便利さ	<input type="radio"/>				
4	職場までの距離	<input type="radio"/>				
5	働く場の多さ	<input type="radio"/>				
6	子育て環境	<input type="radio"/>				
7	教育環境	<input type="radio"/>				
8	医療環境	<input type="radio"/>				
9	福祉・介護環境	<input type="radio"/>				
10	住宅環境	<input type="radio"/>				
11	インターネットなどの通信環境	<input type="radio"/>				
12	娯楽・余暇での楽しみ	<input type="radio"/>				
13	自然環境	<input type="radio"/>				
14	近所・地域の人間関係	<input type="radio"/>				
15	街のにぎわい	<input type="radio"/>				
16	ゆとりある暮らし	<input type="radio"/>				
17	治安・防犯	<input type="radio"/>				

★マークのしかた



(20) 機会があれば、もう一度一関市に住みたいと思いますか。(1つ選択)

1. 住みたい

2. 住みたくない

(21) (20)で「1. 住みたい」を選んだ方は住みたいと思う理由を、「2. 住みたくない」を選んだ方は住みたくないと思う理由をお書きください。

(22) あなたは、どのような状況になれば、または、どのようなことが満たされれば、一関市に住むことを検討すると思いますか。その内容をお書きください。

(23) 一関市が若者から住んでみたいと思われるまちになるためにどのような分野に力を入れればよいと思いますか。(あてはまるもの3つまで選択)

1. 農林業の振興

2. 工業の振興

3. 商業・サービス業の振興

4. 観光の振興

5. 雇用の創出

6. 就職・就業支援

7. 起業・創業支援

8. 働き方改革・仕事と生活の調和

9. まちのにぎわい創出

10. 交通の利便性

11. 住環境の充実

12. インターネット環境の整備

13. 教育環境の充実

14. 芸術・スポーツの振興

15. 子育てしやすい環境づくり

16. 医療・福祉環境の充実

17. 結婚支援

18. その他

(24) ※(23)で「18. その他」を選んだ場合は、その内容をお書きください。

(25) 若者が多く暮らすようになるには、一関市がどのようなまちになったらよいか、あなたのお考えやご提案がありましたら、お書きください。

ご協力ありがとうございました。

一関市に転入された方へのアンケート調査（単純集計）

令和元年12月11日

【調査目的】

転入者の転入の理由や転入前後の生活環境の変化などについて調査し、令和3年度から5年間を計画期間とする「第2期総合戦略」を策定する際の参考とする。

【調査内容】

- ① 実施時期 令和元年10月4日から10月18日まで
- ② 対象者 転出者 466人
(平成30年に一関市から転出された方の中から無作為に抽出)
- ③ 調査方法 調査票によるアンケート調査（郵送法）

【回答数】

108人 (回収率 23.2%)

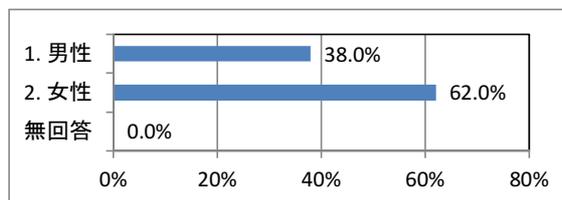
【設問および回答】

(1) あなたの性別を教えてください。（1つ選択）

「女性」が62.0%、「男性」が38.0%となっています。

選択肢	回答数	割合(%)
1. 男性	41	38.0%
2. 女性	67	62.0%
無回答	0	0.0%
合計	108	100.0%

有効回答数= 108

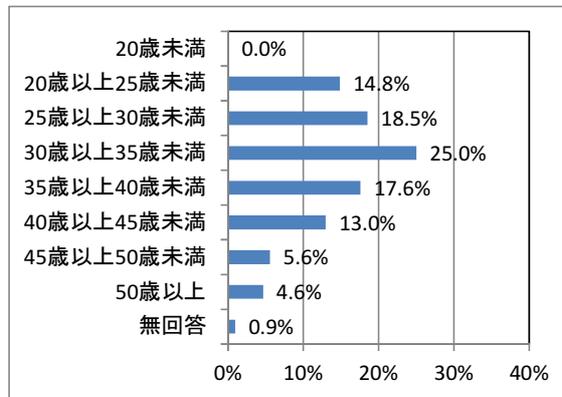


(2) あなたの年齢をお書きください。

5歳年齢階級別にみると、「35歳以上40歳未満」が25.0%と最も多く、次いで「20歳以上25歳未満」が18.5%となっています。

年齢階級	回答数	割合(%)
20歳未満	0	0.0%
20歳以上25歳未満	16	14.8%
25歳以上30歳未満	20	18.5%
30歳以上35歳未満	27	25.0%
35歳以上40歳未満	19	17.6%
40歳以上45歳未満	14	13.0%
45歳以上50歳未満	6	5.6%
50歳以上	5	4.6%
無回答	1	0.9%
合計	108	100.0%

有効回答数= 108

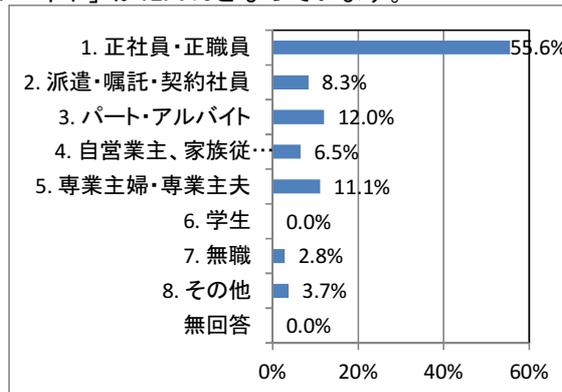


(3) あなたの就労状況を教えてください。（1つ選択）

「正社員・正職員」が55.6%と最も多く、次いで「パート・アルバイト」が12.0%となっています。

選択肢	回答数	割合(%)
1. 正社員・正職員	60	55.6%
2. 派遣・嘱託・契約社員	9	8.3%
3. パート・アルバイト	13	12.0%
4. 自営業主、家族従事者	7	6.5%
5. 専業主婦・専業主夫	12	11.1%
6. 学生	0	0.0%
7. 無職	3	2.8%
8. その他	4	3.7%
無回答	0	0.0%
合計	108	100.0%

有効回答数= 108

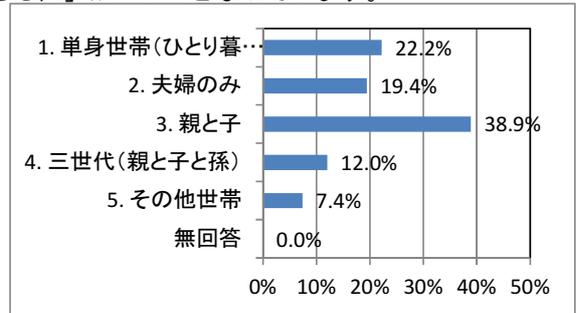


(5) あなたの家族構成は、次のどれですか。(1つ選択)

「親と子」が38.9%と最も多く、次いで「単身世帯(ひとり暮らし)」が22.2%となっています。

選択肢	回答数	割合(%)
1. 単身世帯(ひとり暮らし)	24	22.2%
2. 夫婦のみ	21	19.4%
3. 親と子	42	38.9%
4. 三世代(親と子と孫)	13	12.0%
5. その他世帯	8	7.4%
無回答	0	0.0%
合計	108	100.0%

有効回答数= 108

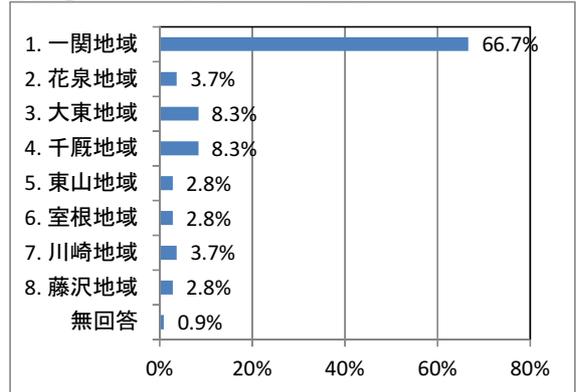


(7) 現在お住まいになられている地域を教えてください。(1つ選択)

「一関地域」が66.7%と最も多く、次いで「大東地域」と「千厩地域」が8.3%となっています。

選択肢	回答数	割合(%)
1. 一関地域	72	66.7%
2. 花泉地域	4	3.7%
3. 大東地域	9	8.3%
4. 千厩地域	9	8.3%
5. 東山地域	3	2.8%
6. 室根地域	3	2.8%
7. 川崎地域	4	3.7%
8. 藤沢地域	3	2.8%
無回答	1	0.9%
合計	108	100.0%

有効回答数= 108

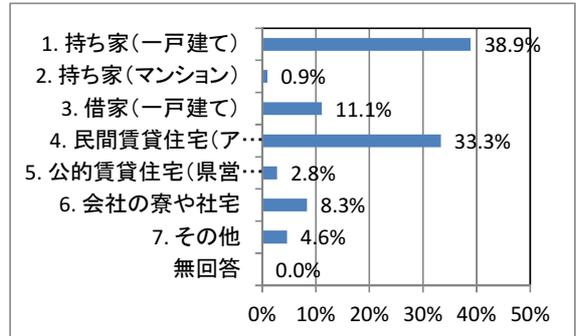


(8) 現在の居住形態について教えてください。(1つ選択)

「持ち家(一戸建て)」が38.9%と最も多く、次いで「民間賃貸住宅(アパート、賃貸マンション)」が33.3%となっています。

選択肢	回答数	割合(%)
1. 持ち家(一戸建て)	42	38.9%
2. 持ち家(マンション)	1	0.9%
3. 借家(一戸建て)	12	11.1%
4. 民間賃貸住宅(アパート、賃貸マンション)	36	33.3%
5. 公的賃貸住宅(県営住宅、市営住宅等)	3	2.8%
6. 会社の寮や社宅	9	8.3%
7. その他	5	4.6%
無回答	0	0.0%
合計	108	100.0%

有効回答数= 108

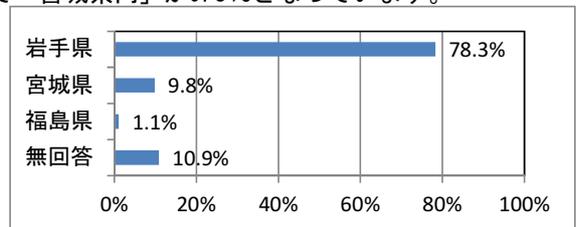


(10) 勤務先の都道府県名と市区町村名をお書きください。(勤務されている方のみお書きください)

都道府県別にみると、「岩手県内」が78.3%と最も多く、次いで「宮城県内」が9.8%となっています。

都道府県	回答数	割合(%)
岩手県	72	78.3%
宮城県	9	9.8%
福島県	1	1.1%
無回答	10	10.9%
合計	92	100.0%

有効回答数= 92

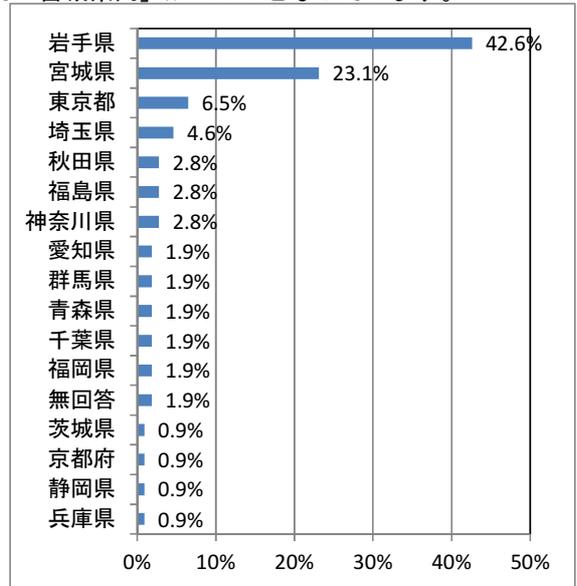


(11) 転入前のお住まいの都道府県名と市区町村名をお書きください。

都道府県別にみると、「岩手県内」が42.6%と最も多く、次いで「宮城県内」が23.1%となっています。

	回答数	割合(%)
岩手県	46	42.6%
宮城県	25	23.1%
東京都	7	6.5%
埼玉県	5	4.6%
秋田県	3	2.8%
福島県	3	2.8%
神奈川県	3	2.8%
愛知県	2	1.9%
群馬県	2	1.9%
青森県	2	1.9%
千葉県	2	1.9%
福岡県	2	1.9%
無回答	2	1.9%
茨城県	1	0.9%
京都府	1	0.9%
静岡県	1	0.9%
兵庫県	1	0.9%
合計	108	100.0%

有効回答数＝ 108

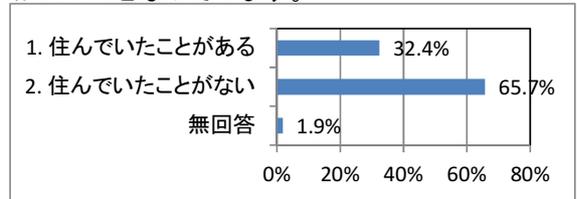


(12) 転入前に一関市（合併した現在の一関市）に住んでいたことがありますか。（1つ選択）

「住んでいたことがない」が65.7%、「住んでいたことがある」が32.4%となっています。

選択肢	回答数	割合(%)
1. 住んでいたことがある	35	32.4%
2. 住んでいたことがない	71	65.7%
無回答	2	1.9%
合計	108	100.0%

有効回答数＝ 108

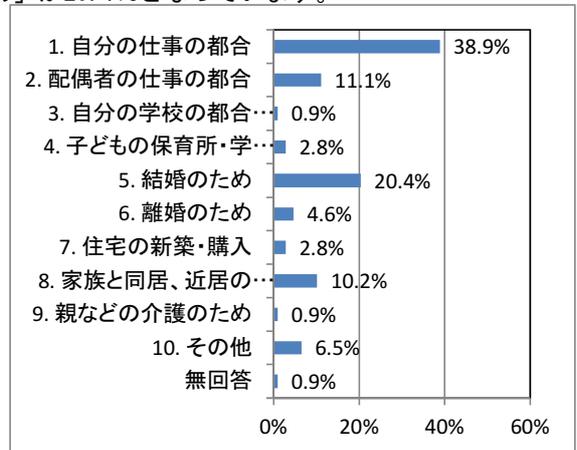


(13) 一関市に転入された主な理由は何ですか。（1つ選択）

「自分の仕事の都合」が38.9%と最も多く、次いで「結婚のため」が20.4%となっています。

選択肢	回答数	割合(%)
1. 自分の仕事の都合	42	38.9%
2. 配偶者の仕事の都合	12	11.1%
3. 自分の学校の都合（進学、通学など）	1	0.9%
4. 子どもの保育所・学校の都合	3	2.8%
5. 結婚のため	22	20.4%
6. 離婚のため	5	4.6%
7. 住宅の新築・購入	3	2.8%
8. 家族と同居、近居のため	11	10.2%
9. 親などの介護のため	1	0.9%
10. その他	7	6.5%
無回答	1	0.9%
合計	108	100.0%

有効回答数＝ 108



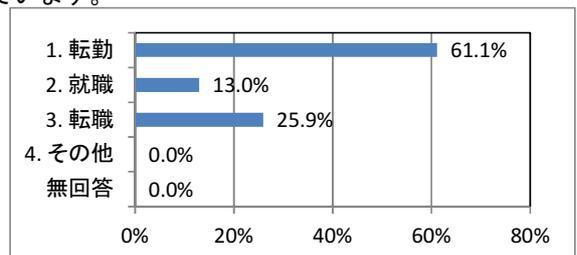
(15) (13)で「1. 自分の仕事の都合」または「2. 配偶者の仕事の都合」を選んだ方にうかがいます。

仕事の都合の具体的な内容は何ですか。（1つ選択）

「転勤」が61.1%と最も多く、次いで「就職」が25.9%となっています。

選択肢	回答数	割合(%)
1. 転勤	33	61.1%
2. 就職	7	13.0%
3. 転職	14	25.9%
4. その他	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	54	100.0%

有効回答数＝ 54

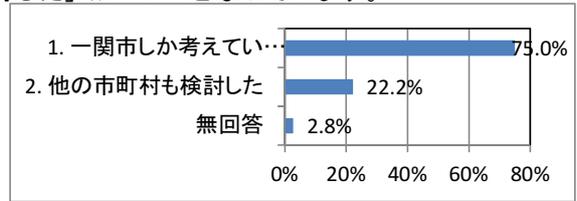


(17) 転居先として一関市以外の市町村を検討していましたか。(1つ選択)

「一関市しか考えていなかった」が75.0%、「他の市町村も検討した」が22.2%となっています。

選択肢	回答数	割合(%)
1. 一関市しか考えていなかった	81	75.0%
2. 他の市町村も検討した	24	22.2%
無回答	3	2.8%
合計	108	100.0%

有効回答数= 108

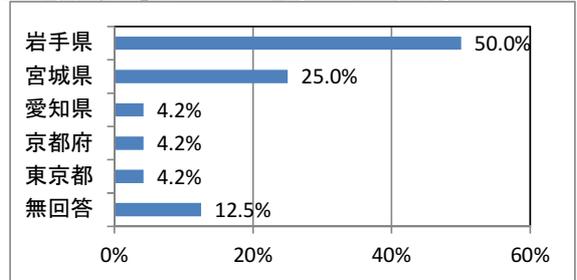


(18) (17)で「2. 他の市町村も検討した」を選んだ方にうかがいます。他にどちらの市町村を検討されていましたか。

都道府県別にみると、「岩手県内」が50.0%と最も多く、次いで「宮城県内」が25.0%となっています。

都道府県	回答数	割合(%)
岩手県	12	50.0%
宮城県	6	25.0%
愛知県	1	4.2%
京都府	1	4.2%
東京都	1	4.2%
無回答	3	12.5%
合計	24	100.0%

有効回答数= 24



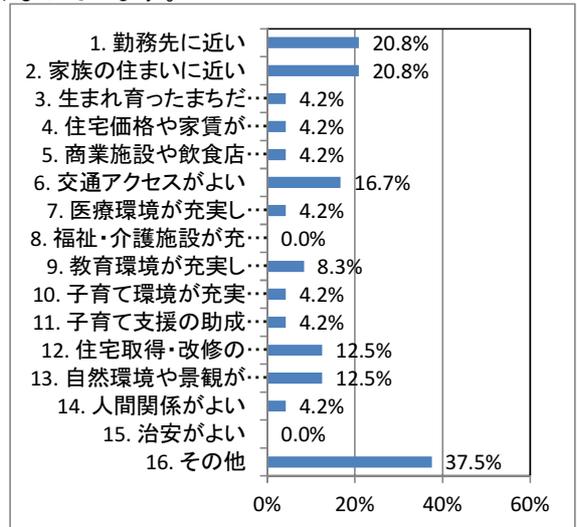
(19) (17)で「2. 他の市町村も検討した」を選んだ方におうかがいします。他の市町村を検討した結果、一関市に決めた理由として大きかったものは何ですか。(あてはまるもの3つまで選択)

「勤務先に近い」と「家族の住まいに近い」が20.8%と最も多くなっています。

選択肢	回答数	割合(%)
1. 勤務先に近い	5	20.8%
2. 家族の住まいに近い	5	20.8%
3. 生まれ育ったまちだから	1	4.2%
4. 住宅価格や家賃が安い	1	4.2%
5. 商業施設や飲食店が充実している	1	4.2%
6. 交通アクセスがよい	4	16.7%
7. 医療環境が充実している	1	4.2%
8. 福祉・介護施設が充実している	0	0.0%
9. 教育環境が充実している	2	8.3%
10. 子育て環境が充実している	1	4.2%
11. 子育て支援の助成制度が充実している	1	4.2%
12. 住宅取得・改修のための助成があったから	3	12.5%
13. 自然環境や景観がよい	3	12.5%
14. 人間関係がよい	1	4.2%
15. 治安がよい	0	0.0%
16. その他	9	37.5%

有効回答数= 24

※複数回答のため、合計は100%にならない



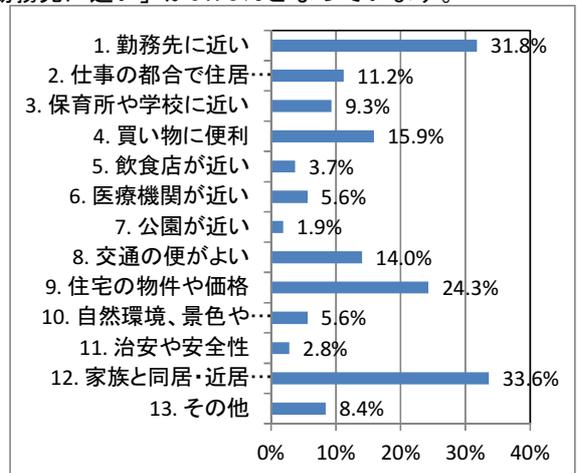
(21) 現在のお住まいを決める際に、重視した居住環境は何ですか。(あてはまるもの3つまで選択)

「家族と同居・近居するため」が33.6%と最も多く、次いで「勤務先に近い」が31.8%となっています。

選択肢	回答数	割合(%)
1. 勤務先に近い	34	31.8%
2. 仕事の都合で住居が決まっていた	12	11.2%
3. 保育所や学校に近い	10	9.3%
4. 買い物に便利	17	15.9%
5. 飲食店が近い	4	3.7%
6. 医療機関が近い	6	5.6%
7. 公園が近い	2	1.9%
8. 交通の便がよい	15	14.0%
9. 住宅の物件や価格	26	24.3%
10. 自然環境、景色や静かさ	6	5.6%
11. 治安や安全性	3	2.8%
12. 家族と同居・近居するため	36	33.6%
13. その他	9	8.4%

有効回答数= 107

※複数回答のため、合計は100%にならない



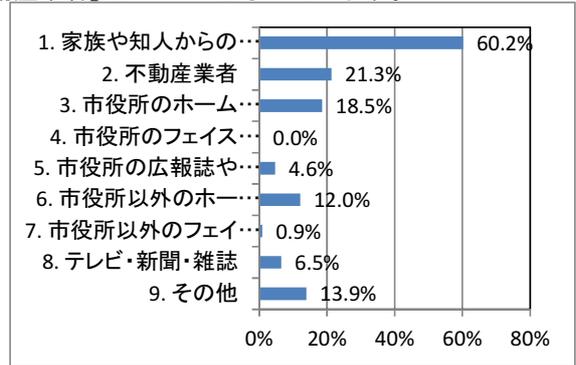
(23) 転入前に、一関市での生活環境に関する情報はどのような手段で得ていましたか。(あてはまるもの3つまで選択)

「家族や知人からの情報」が60.2%と最も多く、次いで「不動産業者」が21.3%となっています。

選択肢	回答数	割合(%)
1. 家族や知人からの情報	65	60.2%
2. 不動産業者	23	21.3%
3. 市役所のホームページ	20	18.5%
4. 市役所のフェイスブック	0	0.0%
5. 市役所の広報誌やチラシ	5	4.6%
6. 市役所以外のホームページ	13	12.0%
7. 市役所以外のフェイスブックなどのSNS	1	0.9%
8. テレビ・新聞・雑誌	7	6.5%
9. その他	15	13.9%

有効回答数= 108

※複数回答のため、合計は100%にならない

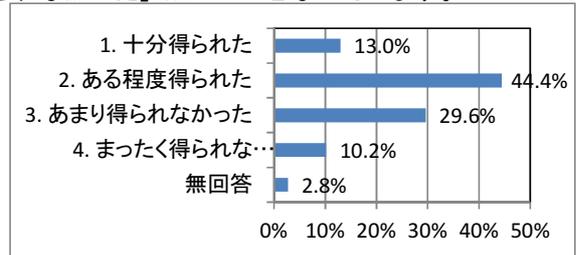


(25) 転入前に、一関市の生活環境に関する情報は十分得られていましたか。(1つ選択)

「ある程度得られた」が44.4%と最も多く、次いで「あまり得られなかった」が29.6%となっています。

選択肢	回答数	割合(%)
1. 十分得られた	14	13.0%
2. ある程度得られた	48	44.4%
3. あまり得られなかった	32	29.6%
4. まったく得られなかった	11	10.2%
無回答	3	2.8%
合計	108	100.0%

有効回答数= 108



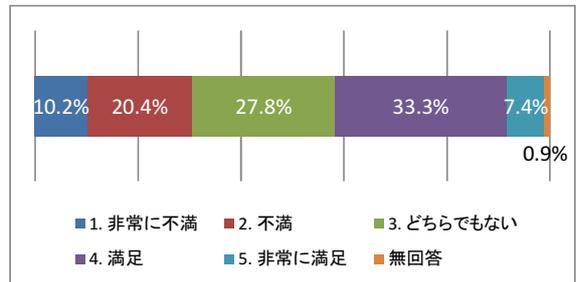
(26) 以前にお住まいの市区町村と比べて、一関市の生活環境の満足度をうかがいます。次の各項目について、1「非常に不満」～5「非常に満足」の5段階評価で、あてはまる番号を1つ選択してください。

1 日常の買い物の便利さ

選択肢	回答数	割合(%)
1. 非常に不満	11	10.2%
2. 不満	22	20.4%
3. どちらでもない	30	27.8%
4. 満足	36	33.3%
5. 非常に満足	8	7.4%
無回答	1	0.9%
合計	108	100.0%

有効回答数= 108

評価の平均= 3.1

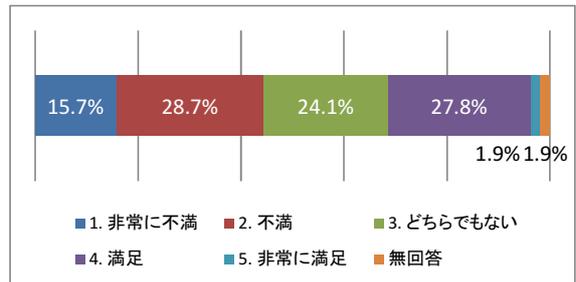


2 飲食店の多さ

選択肢	回答数	割合(%)
1. 非常に不満	17	15.7%
2. 不満	31	28.7%
3. どちらでもない	26	24.1%
4. 満足	30	27.8%
5. 非常に満足	2	1.9%
無回答	2	1.9%
合計	108	100.0%

有効回答数= 108

評価の平均= 2.7

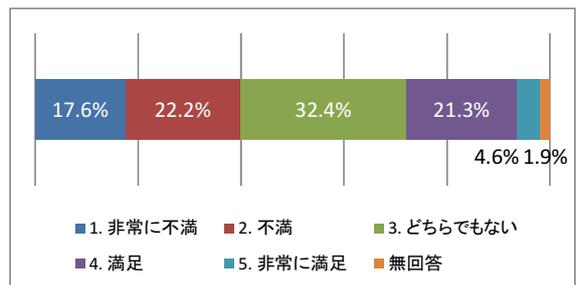


3 交通の便利さ

選択肢	回答数	割合(%)
1. 非常に不満	19	17.6%
2. 不満	24	22.2%
3. どちらでもない	35	32.4%
4. 満足	23	21.3%
5. 非常に満足	5	4.6%
無回答	2	1.9%
合計	108	100.0%

有効回答数= 108

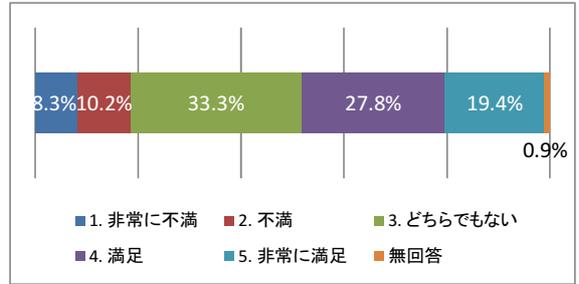
評価の平均= 2.7



4 職場までの距離

選択肢	回答数	割合(%)
1. 非常に不満	9	8.3%
2. 不満	11	10.2%
3. どちらでもない	36	33.3%
4. 満足	30	27.8%
5. 非常に満足	21	19.4%
無回答	1	0.9%
合計	108	100.0%

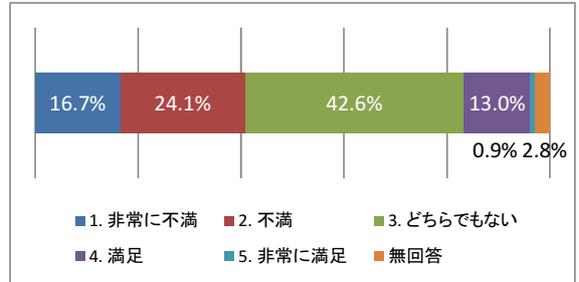
有効回答数= 108
評価の平均= 3.4



5 働く場の多さ

選択肢	回答数	割合(%)
1. 非常に不満	18	16.7%
2. 不満	26	24.1%
3. どちらでもない	46	42.6%
4. 満足	14	13.0%
5. 非常に満足	1	0.9%
無回答	3	2.8%
合計	108	100.0%

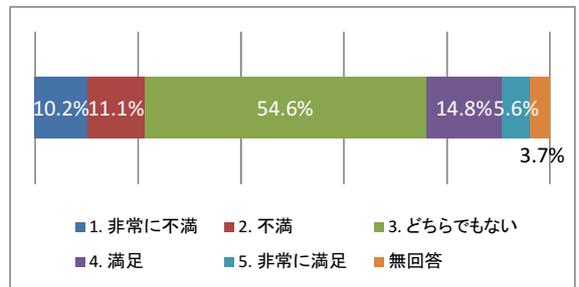
有効回答数= 108
評価の平均= 2.6



6 子育て環境

選択肢	回答数	割合(%)
1. 非常に不満	11	10.2%
2. 不満	12	11.1%
3. どちらでもない	59	54.6%
4. 満足	16	14.8%
5. 非常に満足	6	5.6%
無回答	4	3.7%
合計	108	100.0%

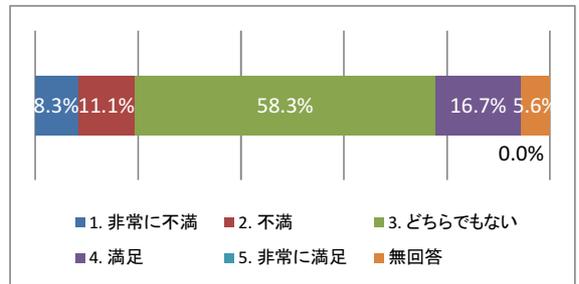
有効回答数= 108
評価の平均= 2.9



7 教育環境

選択肢	回答数	割合(%)
1. 非常に不満	9	8.3%
2. 不満	12	11.1%
3. どちらでもない	63	58.3%
4. 満足	18	16.7%
5. 非常に満足	0	0.0%
無回答	6	5.6%
合計	108	100.0%

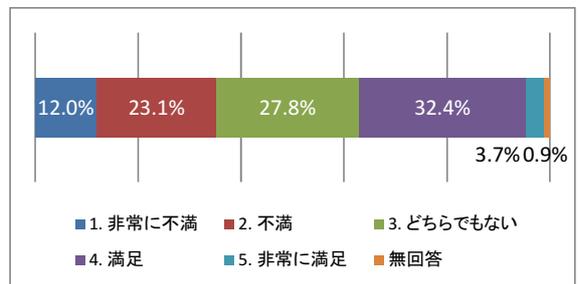
有効回答数= 108
評価の平均= 2.9



8 医療環境

選択肢	回答数	割合(%)
1. 非常に不満	13	12.0%
2. 不満	25	23.1%
3. どちらでもない	30	27.8%
4. 満足	35	32.4%
5. 非常に満足	4	3.7%
無回答	1	0.9%
合計	108	100.0%

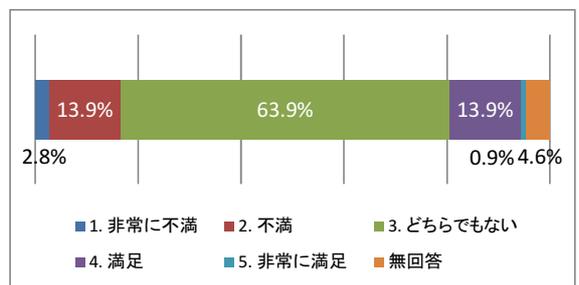
有効回答数= 108
評価の平均= 2.9



9 福祉・介護環境

選択肢	回答数	割合(%)
1. 非常に不満	3	2.8%
2. 不満	15	13.9%
3. どちらでもない	69	63.9%
4. 満足	15	13.9%
5. 非常に満足	1	0.9%
無回答	5	4.6%
合計	108	100.0%

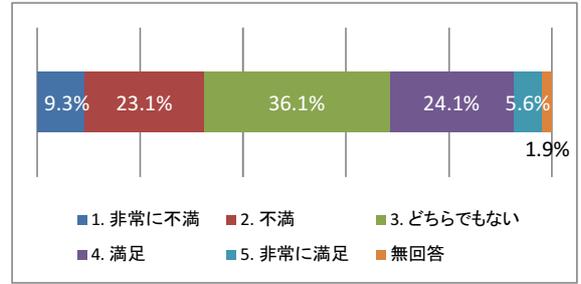
有効回答数= 108
評価の平均= 3.0



10 住宅環境

選択肢	回答数	割合(%)
1. 非常に不満	10	9.3%
2. 不満	25	23.1%
3. どちらでもない	39	36.1%
4. 満足	26	24.1%
5. 非常に満足	6	5.6%
無回答	2	1.9%
合計	108	100.0%

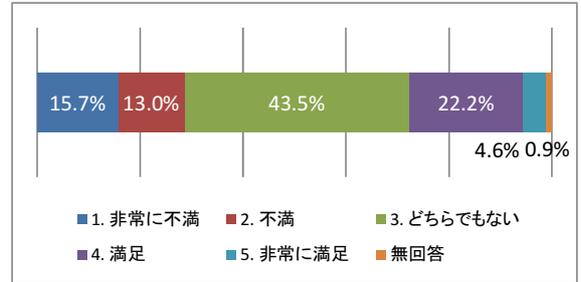
有効回答数= 108
評価の平均= 2.9



11 インターネットなどの通信環境

選択肢	回答数	割合(%)
1. 非常に不満	17	15.7%
2. 不満	14	13.0%
3. どちらでもない	47	43.5%
4. 満足	24	22.2%
5. 非常に満足	5	4.6%
無回答	1	0.9%
合計	108	100.0%

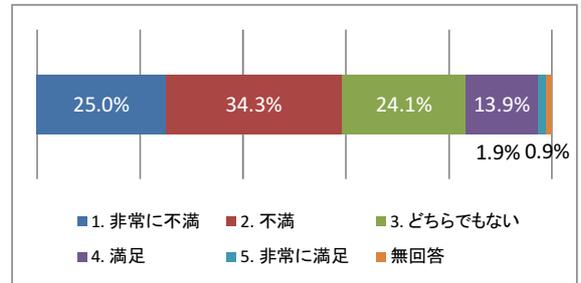
有効回答数= 108
評価の平均= 2.9



12 娯楽・余暇での楽しみ

選択肢	回答数	割合(%)
1. 非常に不満	27	25.0%
2. 不満	37	34.3%
3. どちらでもない	26	24.1%
4. 満足	15	13.9%
5. 非常に満足	2	1.9%
無回答	1	0.9%
合計	108	100.0%

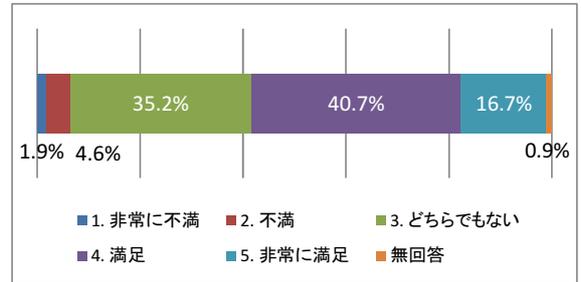
有効回答数= 108
評価の平均= 2.3



13 自然環境

選択肢	回答数	割合(%)
1. 非常に不満	2	1.9%
2. 不満	5	4.6%
3. どちらでもない	38	35.2%
4. 満足	44	40.7%
5. 非常に満足	18	16.7%
無回答	1	0.9%
合計	108	100.0%

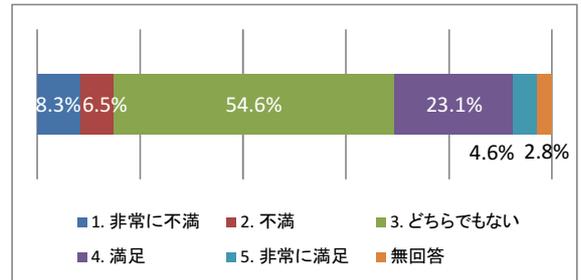
有効回答数= 108
評価の平均= 3.7



14 近所・地域の人間関係

選択肢	回答数	割合(%)
1. 非常に不満	9	8.3%
2. 不満	7	6.5%
3. どちらでもない	59	54.6%
4. 満足	25	23.1%
5. 非常に満足	5	4.6%
無回答	3	2.8%
合計	108	100.0%

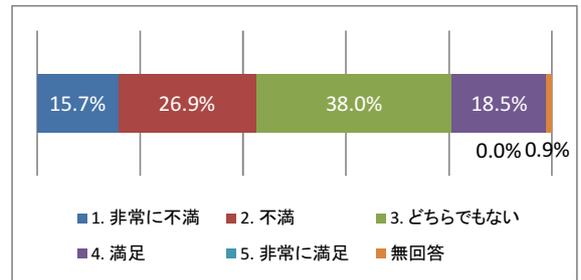
有効回答数= 108
評価の平均= 3.1



15 街のにぎわい

選択肢	回答数	割合(%)
1. 非常に不満	17	15.7%
2. 不満	29	26.9%
3. どちらでもない	41	38.0%
4. 満足	20	18.5%
5. 非常に満足	0	0.0%
無回答	1	0.9%
合計	108	100.0%

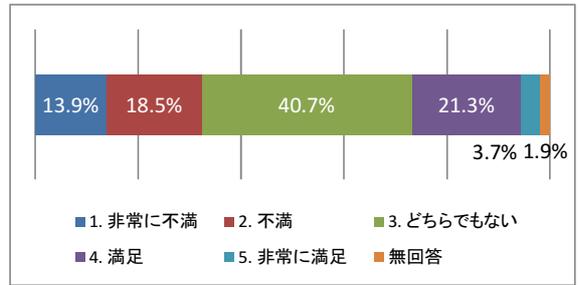
有効回答数= 108
評価の平均= 2.6



16 ゆとりある暮らし

選択肢	回答数	割合(%)
1. 非常に不満	15	13.9%
2. 不満	20	18.5%
3. どちらでもない	44	40.7%
4. 満足	23	21.3%
5. 非常に満足	4	3.7%
無回答	2	1.9%
合計	108	100.0%

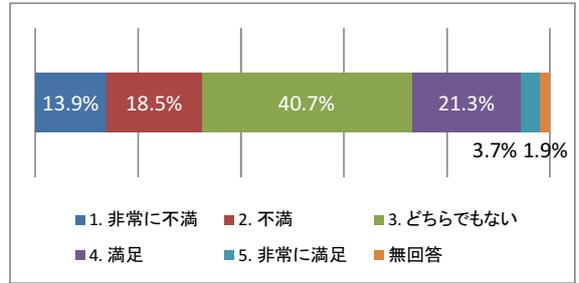
有効回答数= 108
評価の平均= 2.8



17 治安・防犯

選択肢	回答数	割合(%)
1. 非常に不満	15	13.9%
2. 不満	20	18.5%
3. どちらでもない	44	40.7%
4. 満足	23	21.3%
5. 非常に満足	4	3.7%
無回答	2	1.9%
合計	108	100.0%

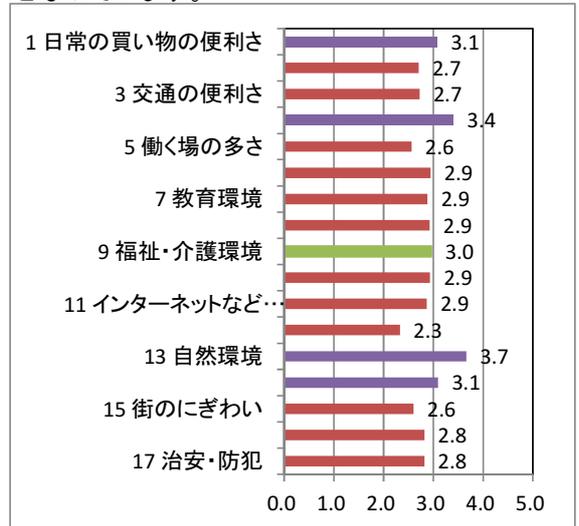
有効回答数= 108
評価の平均= 2.8



各項目の5段階評価の平均値

「自然環境」が3.7と最も高く、次いで「職場までの距離」が3.4となっています。また「娯楽・余暇での楽しみ」が2.3と最も低く、次いで「働く場の多さ」と「街のにぎわい」が2.6となっています。

1 日常の買い物の便利さ	3.1
2 飲食店の多さ	2.7
3 交通の便利さ	2.7
4 職場までの距離	3.4
5 働く場の多さ	2.6
6 子育て環境	2.9
7 教育環境	2.9
8 医療環境	2.9
9 福祉・介護環境	3.0
10 住宅環境	2.9
11 インターネットなどの通信環境	2.9
12 娯楽・余暇での楽しみ	2.3
13 自然環境	3.7
14 近所・地域の人間関係	3.1
15 街のにぎわい	2.6
16 ゆとりある暮らし	2.8
17 治安・防犯	2.8



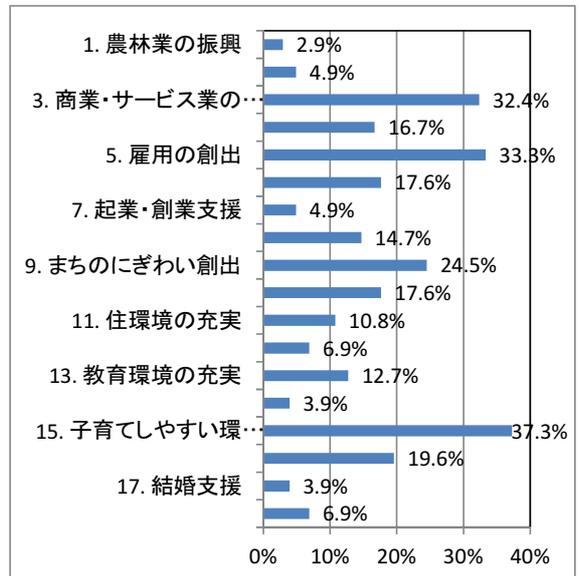
(27) 一関市が若者から住んでみたいと思われるまちになるためにどのような分野に力を入れればよいと思いますか。(あてはまるもの3つまで選択)

「子育てしやすい環境づくり」が37.3%と最も高く、「雇用の創出」の33.3%、「商業・サービス業の振興」の32.4%が続いています。

選択肢	回答数	割合(%)
1. 農林業の振興	3	2.9%
2. 工業の振興	5	4.9%
3. 商業・サービス業の振興	33	32.4%
4. 観光の振興	17	16.7%
5. 雇用の創出	34	33.3%
6. 就職・就業支援	18	17.6%
7. 起業・創業支援	5	4.9%
8. 働き方改革・仕事と生活の調和	15	14.7%
9. まちのにぎわい創出	25	24.5%
10. 交通の利便性	18	17.6%
11. 住環境の充実	11	10.8%
12. インターネット環境の整備	7	6.9%
13. 教育環境の充実	13	12.7%
14. 芸術・スポーツの振興	4	3.9%
15. 子育てしやすい環境づくり	38	37.3%
16. 医療・福祉環境の充実	20	19.6%
17. 結婚支援	4	3.9%
18. その他	7	6.9%

有効回答数= 102

※複数回答のため、合計は100%にならない





一関市に転入された皆さまへ アンケート調査にご協力をお願いいたします

◆調査ご協力のお願い

皆さまには、日頃より市政の推進にご理解・ご協力をいただき、ありがとうございます。

さて、一関市では、人口減少の抑制を図るため、平成27年度に「一関市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、結婚、出産、子育てを応援する取組や市内外の若者が一関市に定着するような取組を進めております。

この調査は、皆さまの転入の理由や転入前後の生活環境の変化などについておうかがいし、令和3年度から5年間を計画期間とする「第2期総合戦略」を策定する際の参考とするため実施するものです。このたびの調査対象者につきましては、平成30年に一関市に転入された方の中から無作為に選ばせていただき、ご協力をお願いしております。

ご回答いただいた調査内容は、「こう思う方は全体の何%」といった形で整理し、統計的な数値に取りまとめますので、お名前や個人が特定された形で回答内容が外部に漏れるなど、ご迷惑をおかけすることはありません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨にご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和元年10月

一関市長 勝部 修

◆ご記入にあたってのお願い

○この調査の回答は、あて名のご本人さまが記入してください。

○できるだけ濃い鉛筆か、黒のボールペンなどで記入してください。

○回答方法は、各問の選択肢の中から該当するものを選択してマークしていただくものと、内容を記述するものがあります。選択するものは、「1つ」の場合や、「あてはまるもの3つまで」などの場合があります。また、設問によっては回答していただく方が限られますので、ご注意ください。

◆調査票は、同封の返信用封筒に入れて【10月18日(金)】までに 投函してください。（切手は不要です）

【お問合せ先】

一関市 市長公室 政策企画課 未来戦略係

〒021-8501 岩手県一関市竹山町7番2号

TEL 0191-21-8641 FAX 0191-21-2164



一関市に転入された方へのアンケート調査

選択式の回答は、該当箇所のマークを塗りつぶしてご回答ください。

: 空白マーク : 正しいぬりつぶし : 不十分なぬりつぶし

記述式の回答は、回答欄からはみ出さないように記入してください。

この用紙は機械で処理します。回答欄以外に書き込みをしたり、用紙を汚したり、折り目を付けたりしないように注意してください。

◆ 1. あなたご自身やご家族の状況についてうかがいます。

(1) あなたの性別を教えてください。（1つ選択）

1. 男性

2. 女性

(2) あなたの年齢をお書きください。

(3) あなたの就労状況を教えてください。（1つ選択）

1. 正社員・正職員

2. 派遣・嘱託・契約社員

3. パート・アルバイト

4. 自営業主、家族従事者

5. 専業主婦・専業主夫

6. 学生

7. 無職

8. その他

(4) ※(3)で「8. その他」を選んだ場合は、その内容をお書きください。

(5) あなたの家族構成を教えてください。（1つ選択）

1. 単身世帯（ひとり暮らし）

2. 夫婦のみ

3. 親と子

4. 三世帯（親と子と孫）

5. その他世帯

(6) ※(5)で「5. その他世帯」を選んだ場合は、その内容をお書きください。

(7) 一関市で現在お住まいになられている地域を教えてください。（1つ選択）

1. 一関地域

2. 花泉地域

3. 大東地域

4. 千厩地域

5. 東山地域

6. 室根地域

7. 川崎地域

8. 藤沢地域



(8) 現在の居住形態について教えてください。(1つ選択)

1. 持ち家（一戸建て） 2. 持ち家（マンション）
 3. 借家（一戸建て） 4. 民間賃貸住宅（アパート、賃貸マンション）
 5. 公的賃貸住宅（県営住宅、市営住宅等） 6. 会社の寮や社宅
 7. その他

(9) ※(8)で「7. その他」を選んだ場合は、その内容をお書きください。

(10) 勤務先の都道府県名と市区町村名をお書きください。(勤務されている方のみお書きください)

都道府県名： 市区町村名：

◆2. 一関市に転入された経緯についてうかがいます。

(11) 転入前のお住まいの都道府県名と市区町村名をお書きください。

都道府県名： 市区町村名：

(12) 転入前に一関市（合併した現在の一関市）に住んでいたことがありますか。(1つ選択)

1. 住んでいたことがある 2. 住んでいたことがない

(13) 一関市に転入された主な理由は何ですか。(1つ選択)

1. 自分の仕事の都合 2. 配偶者の仕事の都合
 3. 自分の学校の都合（進学、通学など） 4. 子どもの保育所・学校の都合
 5. 結婚のため 6. 離婚のため
 7. 住宅の新築・購入 8. 家族と同居、近居のため
 9. 親などの介護のため 10. その他

(14) ※(13)で「10. その他」を選んだ場合は、その内容をお書きください。

(15) (13)で「1. 自分の仕事の都合」または「2. 配偶者の仕事の都合」を選んだ方にうかがいます。仕事の都合の具体的な内容は何ですか。(1つ選択)

1. 転勤 2. 就職 3. 転職 4. その他

(16) ※(15)で「4. その他」を選んだ場合は、その内容をお書きください。

★マークのしかた



◆3. 以前お住まいの市区町村と、一関市の生活環境についてうかがいます。

(17) 転居先として一関市以外の市町村を検討していましたか。(1つ選択)

1. 一関市しか考えていなかった 2. 他の市町村も検討した

(18) (17)で「2. 他の市町村も検討した」を選んだ方にうかがいます。他にどちらの市町村を検討されていましたか。

都道府県名： 市町村名：

(19) (17)で「2. 他の市町村も検討した」を選んだ方におうかがいします。他の市町村と検討した結果、一関市に決めた理由として大きかったものは何ですか。(あてはまるもの3つまで選択)

1. 勤務先に近い 2. 家族の住まいに近い
 3. 生まれ育ったまちだから 4. 住宅価格や家賃が安い
 5. 商業施設や飲食店が充実している 6. 交通アクセスがよい
 7. 医療環境が充実している 8. 福祉・介護施設が充実している
 9. 教育環境が充実している 10. 子育て環境が充実している
 11. 子育て支援の助成制度が充実している 12. 住宅取得・改修のための助成があったから
 13. 自然環境や景観がよい 14. 人間関係がよい
 15. 治安がよい 16. その他

(20) ※(19)で「16. その他」を選んだ場合は、その内容をお書きください。

(21) 現在のお住まいを決める際に、重視した居住環境は何ですか。(あてはまるもの3つまで選択)

1. 勤務先に近い 2. 仕事の都合で住居が決められていた
 3. 保育所や学校に近い 4. 買い物に便利
 5. 飲食店が近い 6. 医療機関が近い
 7. 公園が近い 8. 交通の便がよい
 9. 住宅の物件や価格 10. 自然環境、景色や静かさ
 11. 治安や安全性 12. 家族と同居・近居するため
 13. その他

(22) ※(21)で「13. その他」を選んだ場合は、その内容をお書きください。

★マークのしかた



(23) 転入前に、一関市での生活環境に関する情報はどのような手段で得ていましたか。(あてはまるもの3つまで選択)

1. 家族や知人からの情報 2. 不動産業者 3. 市役所のホームページ
 4. 市役所のフェイスブック 5. 市役所の広報誌やチラシ 6. 市役所以外のホームページ
 7. 市役所以外のフェイスブックなどのSNS 8. テレビ・新聞・雑誌 9. その他

(24) ※(23)で「9. その他」を選んだ場合は、その内容をお書きください。

(25) 転入前に、一関市の生活環境に関する情報は十分得られていましたか。(1つ選択)

1. 十分得られた 2. ある程度得られた
 3. あまり得られなかった 4. まったく得られなかった

(26) 以前にお住まいの市区町村と比べて、一関市の生活環境の満足度をうかがいます。次の各項目について、1「非常に不満」～5「非常に満足」の5段階評価で、あてはまる番号を1つ選択してください。

		満足度				
		1.非常に不満	2.不満	3.どちらでもない	4.満足	5.非常に満足
1	日常の買い物の便利さ	<input type="radio"/>				
2	飲食店の多さ	<input type="radio"/>				
3	交通の便利さ	<input type="radio"/>				
4	職場までの距離	<input type="radio"/>				
5	働く場の多さ	<input type="radio"/>				
6	子育て環境	<input type="radio"/>				
7	教育環境	<input type="radio"/>				
8	医療環境	<input type="radio"/>				
9	福祉・介護環境	<input type="radio"/>				
10	住宅環境	<input type="radio"/>				
11	インターネットなどの通信環境	<input type="radio"/>				
12	娯楽・余暇での楽しみ	<input type="radio"/>				
13	自然環境	<input type="radio"/>				
14	近所・地域の人間関係	<input type="radio"/>				
15	街のにぎわい	<input type="radio"/>				
16	ゆとりある暮らし	<input type="radio"/>				
17	治安・防犯	<input type="radio"/>				

★マークのしかた



(27) 一関市が若者から住んでみたいと思われるまちになるためにどのような分野に力を入れればよいと思いますか。(あてはまるもの3つまで選択)

- | | | |
|--------------------------------------|---|--|
| <input type="radio"/> 1. 農林業の振興 | <input type="radio"/> 2. 工業の振興 | <input type="radio"/> 3. 商業・サービス業の振興 |
| <input type="radio"/> 4. 観光の振興 | <input type="radio"/> 5. 雇用の創出 | <input type="radio"/> 6. 就職・就業支援 |
| <input type="radio"/> 7. 起業・創業支援 | <input type="radio"/> 8. 働き方改革・仕事と生活の調和 | <input type="radio"/> 9. まちのにぎわい創出 |
| <input type="radio"/> 10. 交通の利便性 | <input type="radio"/> 11. 住環境の充実 | <input type="radio"/> 12. インターネット環境の整備 |
| <input type="radio"/> 13. 教育環境の充実 | <input type="radio"/> 14. 芸術・スポーツの振興 | <input type="radio"/> 15. 子育てしやすい環境づくり |
| <input type="radio"/> 16. 医療・福祉環境の充実 | <input type="radio"/> 17. 結婚支援 | <input type="radio"/> 18. その他 |

(28) ※(27)で「18. その他」を選んだ場合は、その内容をお書きください。

(29) 若者が多く暮らすようになるには、一関市がどのようなまちになったらよいか、あなたのお考えやご提案がありましたら、お書きください。

ご協力ありがとうございました。

一関市総合計画後期基本計画策定《中高生アンケート》（単純集計）

令和元年12月11日

【調査目的】

一関市内の中学生、高校生の考えを調査し、総合計画後期基本計画（令和3年度～令和7年度）を策定する際の参考とする。

【調査内容】

- ① 実施時期 令和元年10月4日から10月18日まで
- ② 対象者 一関市内の中学校3年生と高校2年生 913人
- ③ 調査方法 調査票によるアンケート調査（学校で配布、回収）

【回答数】

913人（回収率 100.0%）

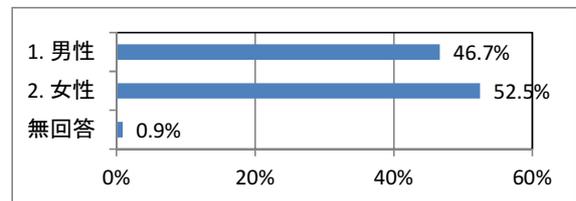
【設問および回答】

(1) あなたの性別を教えてください。（1つ選択）

「女性」が52.5%、「男性」が46.7%となっています。

選択肢	回答数	割合(%)
1. 男性	426	46.7%
2. 女性	479	52.5%
無回答	8	0.9%
合計	913	100.0%

有効回答数= 913

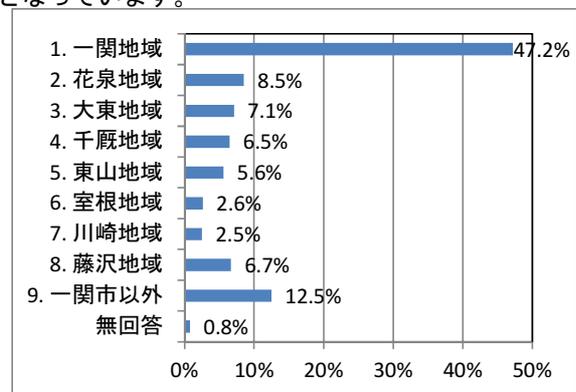


(2) 現在お住まいの地域を教えてください。（1つ選択）

「一関地域」が47.2%と最も多く、次いで「花泉地域」が8.5%となっています。

選択肢	回答数	割合(%)
1. 一関地域	431	47.2%
2. 花泉地域	78	8.5%
3. 大東地域	65	7.1%
4. 千厩地域	59	6.5%
5. 東山地域	51	5.6%
6. 室根地域	24	2.6%
7. 川崎地域	23	2.5%
8. 藤沢地域	61	6.7%
9. 一関市以外	114	12.5%
無回答	7	0.8%
合計	913	100.0%

有効回答数= 913



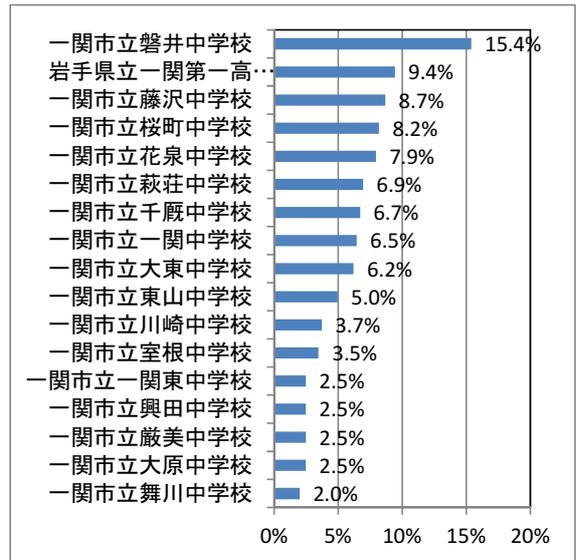
(4) 学校名をお書きください。

中学校

「一関市立磐井中学校」が15.4%と最も多く、次いで「岩手県立一関第一高等学校附属中学校」が9.4%となっています。

	回答数	割合(%)
一関市立磐井中学校	62	15.4%
岩手県立一関第一高等学校附属中学校	38	9.4%
一関市立藤沢中学校	35	8.7%
一関市立桜町中学校	33	8.2%
一関市立花泉中学校	32	7.9%
一関市立萩荘中学校	28	6.9%
一関市立千厩中学校	27	6.7%
一関市立一関中学校	26	6.5%
一関市立大東中学校	25	6.2%
一関市立東山中学校	20	5.0%
一関市立川崎中学校	15	3.7%
一関市立室根中学校	14	3.5%
一関市立一関東中学校	10	2.5%
一関市立興田中学校	10	2.5%
一関市立厳美中学校	10	2.5%
一関市立大原中学校	10	2.5%
一関市立舞川中学校	8	2.0%
合計	403	100.0%

有効回答数= 403

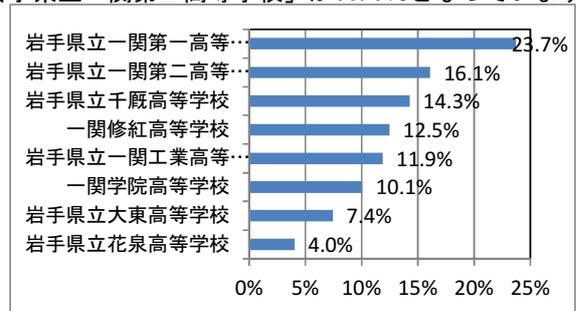


高校

「岩手県立一関第一高等学校」が23.7%と最も多く、次いで「岩手県立一関第二高等学校」が16.1%となっています。

	回答数	割合(%)
岩手県立一関第一高等学校	118	23.7%
岩手県立一関第二高等学校	80	16.1%
岩手県立千厩高等学校	71	14.3%
一関修紅高等学校	62	12.5%
岩手県立一関工業高等学校	59	11.9%
一関学院高等学校	50	10.1%
岩手県立大東高等学校	37	7.4%
岩手県立花泉高等学校	20	4.0%
合計	497	100.0%

有効回答数= 497



無回答

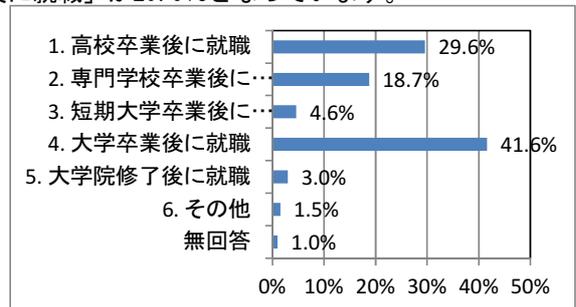
	回答数	割合(%)
無回答	13	-

(6) 就職はどの時期にしたいと考えていますか。(1つ選択)

「大学卒業後に就職」が41.6%と最も多く、次いで「高校卒業後に就職」が29.6%となっています。

選択肢	回答数	割合(%)
1. 高校卒業後に就職	270	29.6%
2. 専門学校卒業後に就職	171	18.7%
3. 短期大学卒業後に就職	42	4.6%
4. 大学卒業後に就職	380	41.6%
5. 大学院修了後に就職	27	3.0%
6. その他	14	1.5%
無回答	9	1.0%
合計	913	100.0%

有効回答数= 913

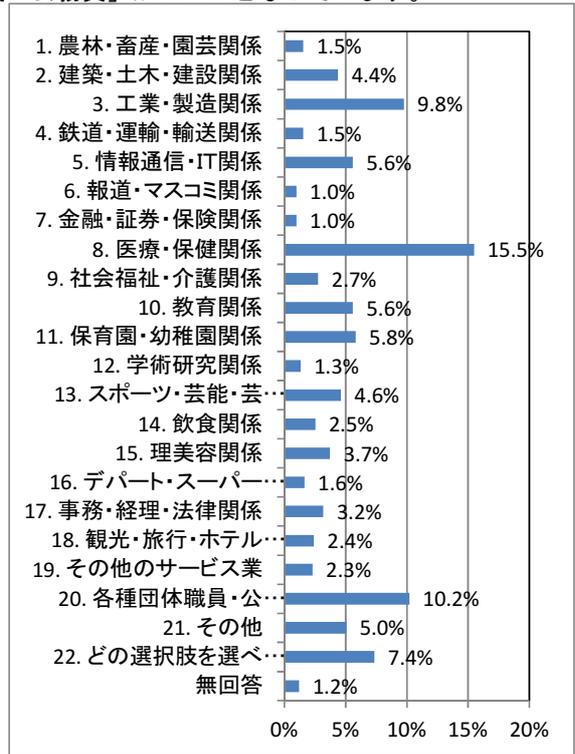


(8) あなたは将来、どのような職業につきたいですか。(1つ選択)

「医療・保健関係」が15.5%と最も多く、次いで「各種団体職員・公務員」が10.2%となっています。

選択肢	回答数	割合(%)
1. 農林・畜産・園芸関係	14	1.5%
2. 建築・土木・建設関係	40	4.4%
3. 工業・製造関係	89	9.8%
4. 鉄道・運輸・輸送関係	14	1.5%
5. 情報通信・IT関係	51	5.6%
6. 報道・マスコミ関係	9	1.0%
7. 金融・証券・保険関係	9	1.0%
8. 医療・保健関係	141	15.5%
9. 社会福祉・介護関係	25	2.7%
10. 教育関係	51	5.6%
11. 保育園・幼稚園関係	53	5.8%
12. 学術研究関係	12	1.3%
13. スポーツ・芸能・芸術関係	42	4.6%
14. 飲食関係	23	2.5%
15. 理美容関係	34	3.7%
16. デパート・スーパーなどの小売関係	15	1.6%
17. 事務・経理・法律関係	29	3.2%
18. 観光・旅行・ホテル関係	22	2.4%
19. その他のサービス業	21	2.3%
20. 各種団体職員・公務員	93	10.2%
21. その他	46	5.0%
22. どの選択肢を選べばよいかわからない	67	7.4%
無回答	11	1.2%
合計	911	100.0%

有効回答数= 911

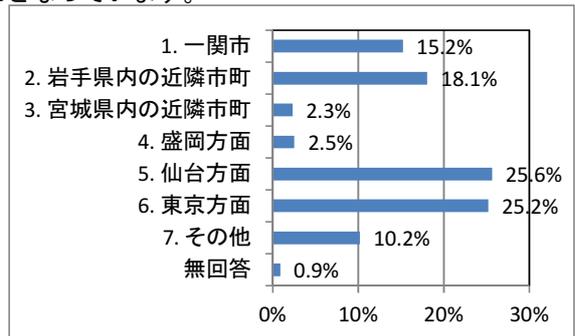


(11) あなたは将来、どの地域への就職を希望しますか。(1つ選択)

「仙台方面」が25.6%と最も多く、次いで「東京方面」が25.2%となっています。

選択肢	回答数	割合(%)
1. 一関市	139	15.2%
2. 岩手県内の近隣市町	165	18.1%
3. 宮城県内の近隣市町	21	2.3%
4. 盛岡方面	23	2.5%
5. 仙台方面	234	25.6%
6. 東京方面	230	25.2%
7. その他	93	10.2%
無回答	8	0.9%
合計	913	100.0%

有効回答数= 913

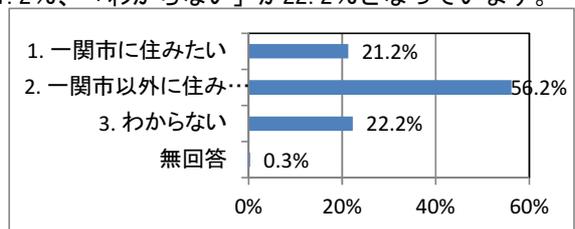


(13) あなたが就職後に住みたい場所はどこですか。(1つ選択)

「一関市以外に住みたい」が56.2%、「一関市に住みたい」が21.2%、「わからない」が22.2%となっています。

選択肢	回答数	割合(%)
1. 一関市に住みたい	194	21.2%
2. 一関市以外に住みたい	513	56.2%
3. わからない	203	22.2%
無回答	3	0.3%
合計	913	100.0%

有効回答数= 913



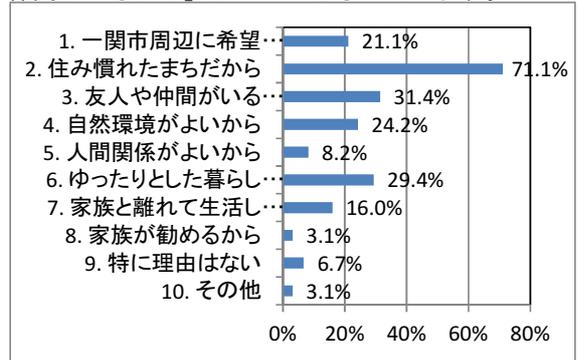
(14) (13)で「1. 一関市に住みたい」と答えた方にうかがいます。住みたいと思った理由は何ですか。
 (あてはまるもの3つまで選択)

「住み慣れたまちだから」が71.1%と最も多く、次いで「友人や仲間がいるから」が31.4%となっています。

選択肢	回答数	割合(%)
1. 一関市周辺に希望する仕事や職種があるから	41	21.1%
2. 住み慣れたまちだから	138	71.1%
3. 友人や仲間がいるから	61	31.4%
4. 自然環境がよいから	47	24.2%
5. 人間関係がよいから	16	8.2%
6. ゆったりとした暮らしができるから	57	29.4%
7. 家族と離れて生活しようと思わないから	31	16.0%
8. 家族が勧めるから	6	3.1%
9. 特に理由はない	13	6.7%
10. その他	6	3.1%

有効回答数= 194

※複数回答のため、合計は100%にならない



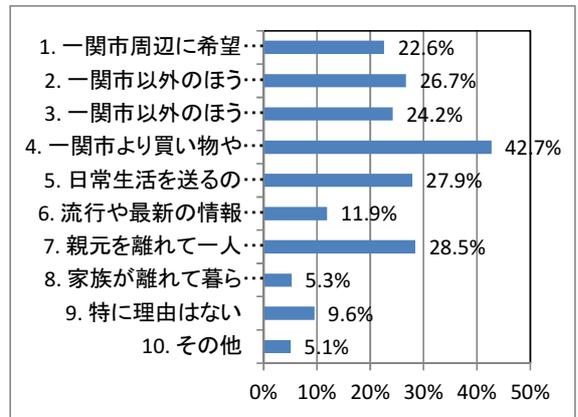
(16) (13)で「2. 一関市以外に住みたい」と答えた方にうかがいます。一関市以外に住みたいと思った理由は何ですか。(あてはまるもの3つまで選択)

「一関市より買い物や娯楽を楽しめるから」が42.7%と最も多く、次いで「親元を離れて一人暮らしをしたいから」が28.5%となっています。

選択肢	回答数	割合(%)
1. 一関市周辺に希望する仕事や職種がないから	116	22.6%
2. 一関市以外のほうが給料や休暇などの待遇面が良いと思うから	137	26.7%
3. 一関市以外のほうが自分の能力を生かし、成長できる機会があるから	124	24.2%
4. 一関市より買い物や娯楽を楽しめるから	219	42.7%
5. 日常生活を送るのに便利だから	143	27.9%
6. 流行や最新の情報に触れていたいから	61	11.9%
7. 親元を離れて一人暮らしをしたいから	146	28.5%
8. 家族が離れて暮らすことに反対していないから	27	5.3%
9. 特に理由はない	49	9.6%
10. その他	26	5.1%

有効回答数= 513

※複数回答のため、合計は100%にならない

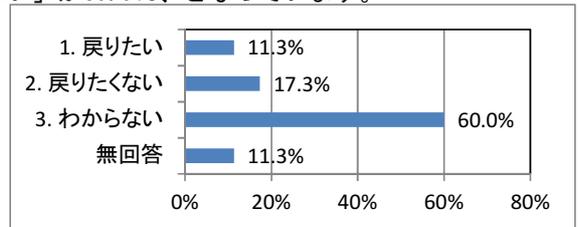


(18) (13)で「2. 一関市以外に住みたい」と答えた方にうかがいます。将来的に一関市に戻ってくる考えはありますか。(1つ選択)

「戻りたくない」が17.3%、「戻りたい」が11.3%、「わからない」が60.0%、となっています。

選択肢	回答数	割合(%)
1. 戻りたい	58	11.3%
2. 戻りたくない	89	17.3%
3. わからない	308	60.0%
無回答	58	11.3%
合計	513	100.0%

有効回答数= 513



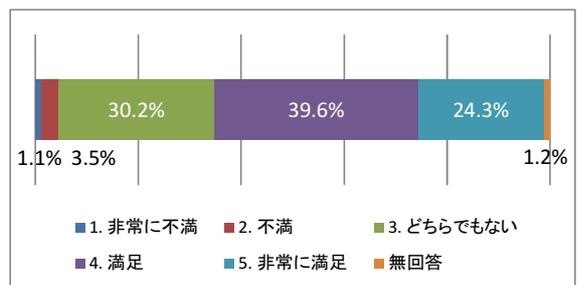
(20) あなたは一関市の住みやすさについて、どのように感じていますか。項目ごとに1「非常に不満」～5「非常に満足」の5段階評価のうち、あてはまる番号を1つ選択してください。

1 人間関係、近隣関係

選択肢	回答数	割合(%)
1. 非常に不満	10	1.1%
2. 不満	32	3.5%
3. どちらでもない	276	30.2%
4. 満足	362	39.6%
5. 非常に満足	222	24.3%
無回答	11	1.2%
合計	913	100.0%

有効回答数= 913

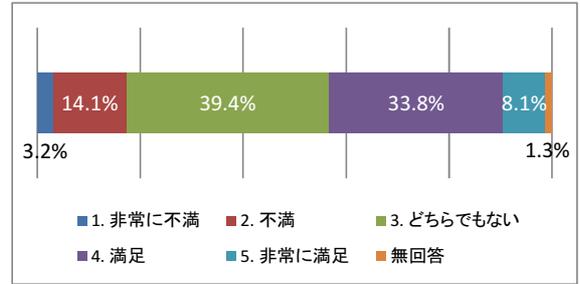
評価の平均= 3.8



2 まちの活気

選択肢	回答数	割合(%)
1. 非常に不満	29	3.2%
2. 不満	129	14.1%
3. どちらでもない	360	39.4%
4. 満足	309	33.8%
5. 非常に満足	74	8.1%
無回答	12	1.3%
合計	913	100.0%

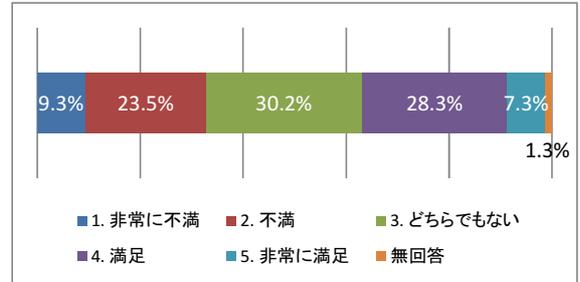
有効回答数= 913
評価の平均= 3.3



3 交通の利便性

選択肢	回答数	割合(%)
1. 非常に不満	85	9.3%
2. 不満	215	23.5%
3. どちらでもない	276	30.2%
4. 満足	258	28.3%
5. 非常に満足	67	7.3%
無回答	12	1.3%
合計	913	100.0%

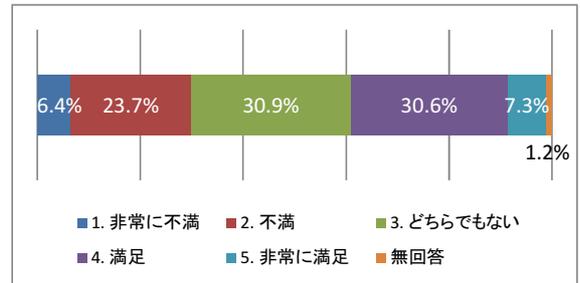
有効回答数= 913
評価の平均= 3.0



4 買い物の利便性

選択肢	回答数	割合(%)
1. 非常に不満	58	6.4%
2. 不満	216	23.7%
3. どちらでもない	282	30.9%
4. 満足	279	30.6%
5. 非常に満足	67	7.3%
無回答	11	1.2%
合計	913	100.0%

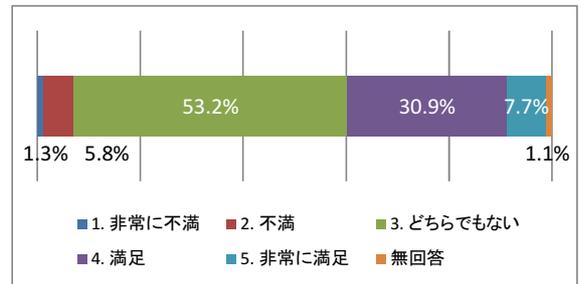
有効回答数= 913
評価の平均= 3.1



5 物価

選択肢	回答数	割合(%)
1. 非常に不満	12	1.3%
2. 不満	53	5.8%
3. どちらでもない	486	53.2%
4. 満足	282	30.9%
5. 非常に満足	70	7.7%
無回答	10	1.1%
合計	913	100.0%

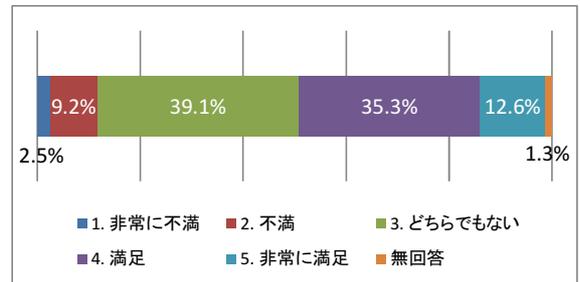
有効回答数= 913
評価の平均= 3.4



6 教育環境

選択肢	回答数	割合(%)
1. 非常に不満	23	2.5%
2. 不満	84	9.2%
3. どちらでもない	357	39.1%
4. 満足	322	35.3%
5. 非常に満足	115	12.6%
無回答	12	1.3%
合計	913	100.0%

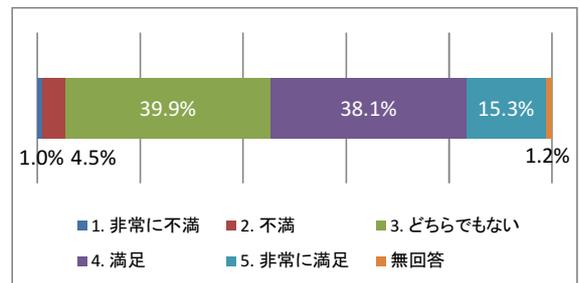
有効回答数= 913
評価の平均= 3.5



7 保健・医療機関の体制

選択肢	回答数	割合(%)
1. 非常に不満	9	1.0%
2. 不満	41	4.5%
3. どちらでもない	364	39.9%
4. 満足	348	38.1%
5. 非常に満足	140	15.3%
無回答	11	1.2%
合計	913	100.0%

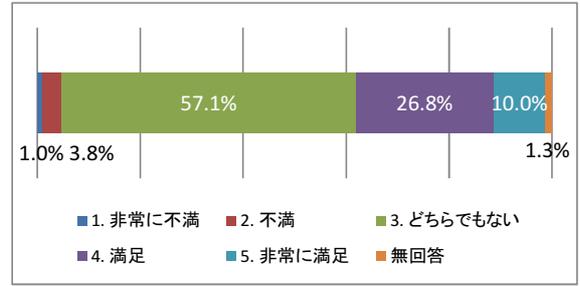
有効回答数= 913
評価の平均= 3.6



8 子育て支援の体制

選択肢	回答数	割合(%)
1. 非常に不満	9	1.0%
2. 不満	35	3.8%
3. どちらでもない	521	57.1%
4. 満足	245	26.8%
5. 非常に満足	91	10.0%
無回答	12	1.3%
合計	913	100.0%

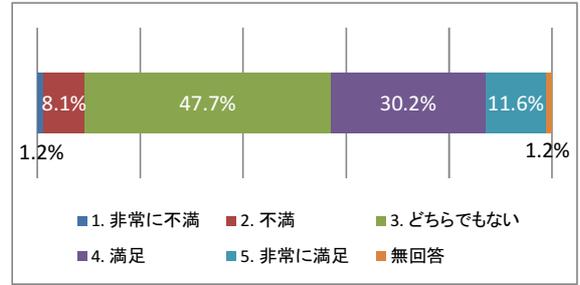
有効回答数= 913
 評価の平均= 3.4



9 高齢者、障がい者、妊婦、子ども等への配慮

選択肢	回答数	割合(%)
1. 非常に不満	11	1.2%
2. 不満	74	8.1%
3. どちらでもない	435	47.7%
4. 満足	275	30.2%
5. 非常に満足	106	11.6%
無回答	11	1.2%
合計	912	100.0%

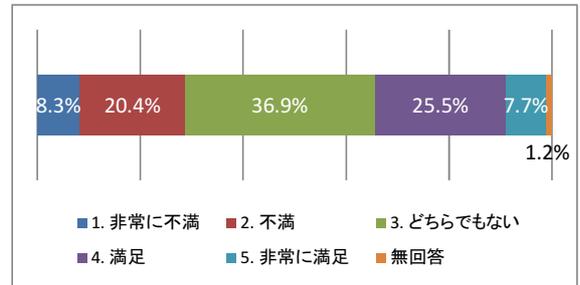
有効回答数= 912
 評価の平均= 3.4



10 文化、教養、娯楽施設の充実

選択肢	回答数	割合(%)
1. 非常に不満	76	8.3%
2. 不満	186	20.4%
3. どちらでもない	337	36.9%
4. 満足	233	25.5%
5. 非常に満足	70	7.7%
無回答	11	1.2%
合計	913	100.0%

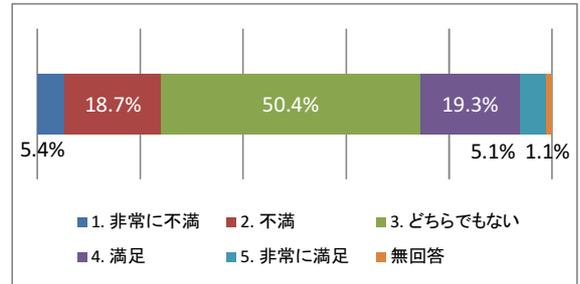
有効回答数= 913
 評価の平均= 3.0



11 働く場所

選択肢	回答数	割合(%)
1. 非常に不満	49	5.4%
2. 不満	171	18.7%
3. どちらでもない	460	50.4%
4. 満足	176	19.3%
5. 非常に満足	47	5.1%
無回答	10	1.1%
合計	913	100.0%

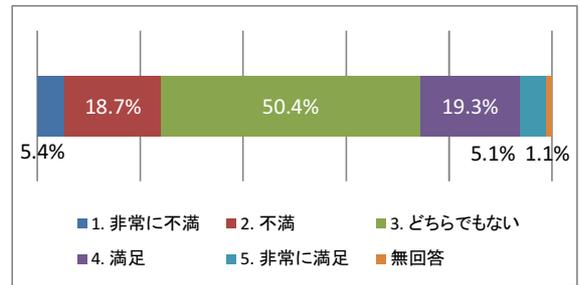
有効回答数= 913
 評価の平均= 3.0



12 自然環境

選択肢	回答数	割合(%)
1. 非常に不満	11	1.2%
2. 不満	29	3.2%
3. どちらでもない	239	26.2%
4. 満足	350	38.3%
5. 非常に満足	273	29.9%
無回答	11	1.2%
合計	913	100.0%

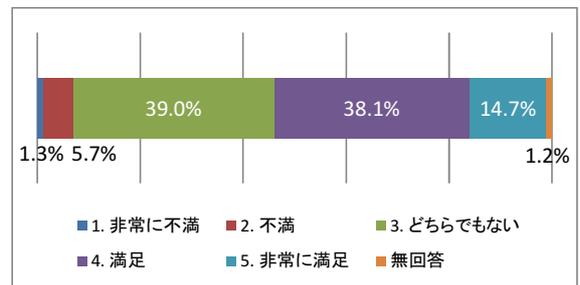
有効回答数= 913
 評価の平均= 3.9



13 居住環境

選択肢	回答数	割合(%)
1. 非常に不満	12	1.3%
2. 不満	52	5.7%
3. どちらでもない	356	39.0%
4. 満足	348	38.1%
5. 非常に満足	134	14.7%
無回答	11	1.2%
合計	913	100.0%

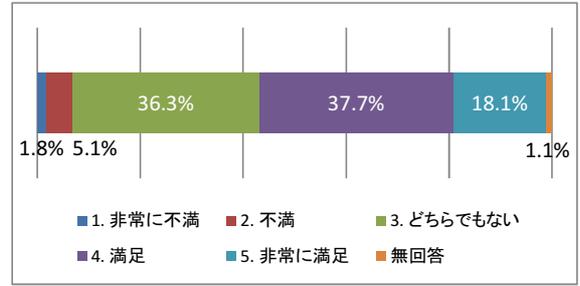
有効回答数= 913
 評価の平均= 3.6



14 治安、防災

選択肢	回答数	割合(%)
1. 非常に不満	16	1.8%
2. 不満	47	5.1%
3. どちらでもない	331	36.3%
4. 満足	344	37.7%
5. 非常に満足	165	18.1%
無回答	10	1.1%
合計	913	100.0%

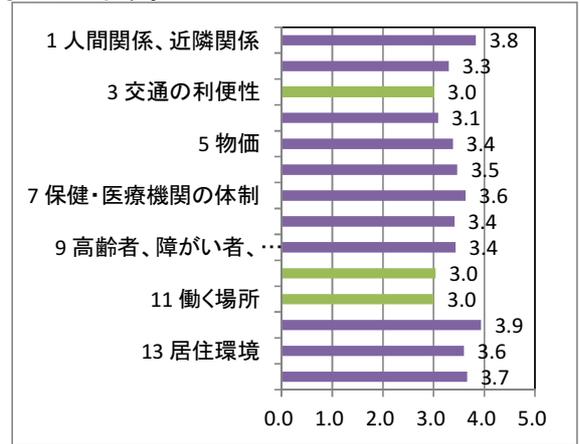
有効回答数＝ 913
 評価の平均＝ 3.7



各項目の5段階評価の平均値

「自然環境」が3.9と最も高く、次いで「人間関係、近隣関係」が3.8となっています。また「交通の利便性」と「文化、教養、娯楽施設の充実」、「働く場所」が3.0と最も低くなっています。

1 人間関係、近隣関係	3.8
2 まちの活気	3.3
3 交通の利便性	3.0
4 買い物の利便性	3.1
5 物価	3.4
6 教育環境	3.5
7 保健・医療機関の体制	3.6
8 子育て支援の体制	3.4
9 高齢者、障がい者、妊婦、子ども等への配慮	3.4
10 文化、教養、娯楽施設の充実	3.0
11 働く場所	3.0
12 自然環境	3.9
13 居住環境	3.6
14 治安、防災	3.7



(21) 一関市を含む北上高地が I L C (国際リニアコライダー) 計画の国内候補地となっています。一関市では I L C の実現を目指し、市民への普及啓発、国内外への情報発信などに取り組んでいます。

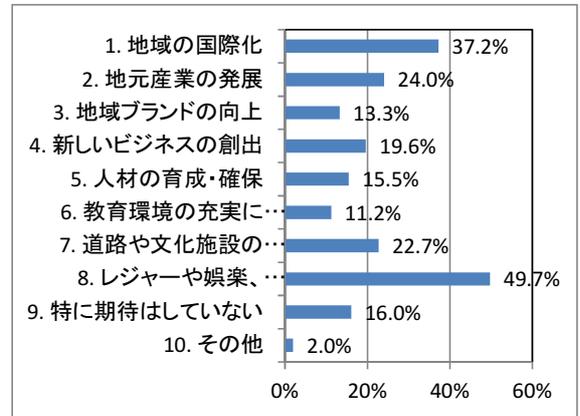
あなたは I L C の実現に伴って地域にどのようなことを期待しますか。(あてはまるもの3つまで選択)

「レジャーや娯楽、ショッピングなど生活環境(ソフト面)の充実」が49.7%と最も高く、次いで「地域の国際化」が37.2%となっています。

選択肢	回答数	割合(%)
1. 地域の国際化	339	37.2%
2. 地元産業の発展	219	24.0%
3. 地域ブランドの向上	121	13.3%
4. 新しいビジネスの創出	179	19.6%
5. 人材の育成・確保	141	15.5%
6. 教育環境の充実による教育水準の向上	102	11.2%
7. 道路や文化施設の整備など生活環境(ハード面)の充実	207	22.7%
8. レジャーや娯楽、ショッピングなど生活環境(ソフト面)の充実	453	49.7%
9. 特に期待はしていない	146	16.0%
10. その他	18	2.0%

有効回答数＝ 911

※複数回答のため、合計は100%にならない

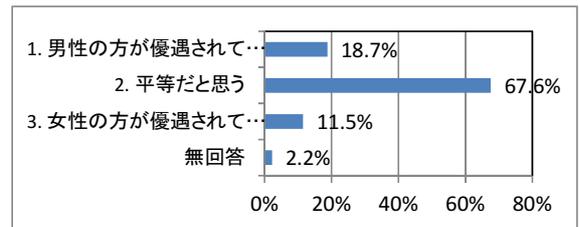


(23) あなたは社会全体でみた場合には、男女の地位は平等になっていると思いますか。(1つ選択)

「平等だと思う」が67.6%、「男性の方が優遇されている」が18.7%、「女性の方が優遇されている」が11.5%となっています。

選択肢	回答数	割合(%)
1. 男性の方が優遇されている	171	18.7%
2. 平等だと思う	617	67.6%
3. 女性の方が優遇されている	105	11.5%
無回答	20	2.2%
合計	913	100.0%

有効回答数＝ 913



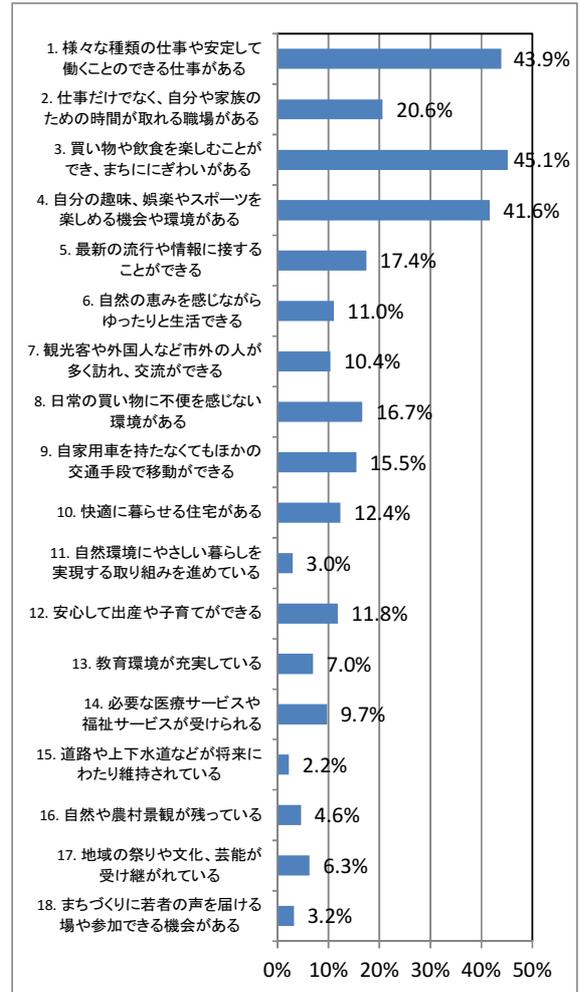
(24) 将来、どのようなまちになれば、一関市に住みたいと思う人が多くなると思いますか。(あてはまるもの3つまで選択)

「買い物や飲食を楽しむことができ、まちににぎわいがある」が45.1%と最も多く、次いで「様々な種類の仕事や安定して働くことのできる仕事がある」が43.9%となっています。

選択肢	回答数	割合(%)
1. 様々な種類の仕事や安定して働くことのできる仕事がある	398	43.9%
2. 仕事だけでなく、自分や家族のための時間が取れる職場がある	187	20.6%
3. 買い物や飲食を楽しむことができ、まちににぎわいがある	409	45.1%
4. 自分の趣味、娯楽やスポーツを楽しめる機会や環境がある	377	41.6%
5. 最新の流行や情報に接することができる	158	17.4%
6. 自然の恵みを感じながらゆったりと生活できる	100	11.0%
7. 観光客や外国人など市外の人が多く訪れ、交流ができる	94	10.4%
8. 日常の買い物に不便を感じない環境がある	151	16.7%
9. 自家用車を持たなくてもほかの交通手段で移動ができる	140	15.5%
10. 快適に暮らせる住宅がある	112	12.4%
11. 自然環境にやさしい暮らしを実現する取り組みを進めている	27	3.0%
12. 安心して出産や子育てができる	107	11.8%
13. 教育環境が充実している	63	7.0%
14. 必要な医療サービスや福祉サービスが受けられる	88	9.7%
15. 道路や上下水道などが将来にわたり維持されている	20	2.2%
16. 自然や農村景観が残っている	42	4.6%
17. 地域の祭りや文化、芸能が受け継がれている	57	6.3%
18. まちづくりに若者の声を届ける場や参加できる機会がある	29	3.2%

有効回答数＝ 906

※複数回答のため、合計は100%にならない





一関市総合計画後期基本計画策定 《中高生アンケート》へのご協力をお願い

◆調査ご協力をお願い

日ごろより、一関市のよりよいまちづくりにご協力いただき、ありがとうございます。

現在一関市では、令和3年度から7年度までのまちづくりの方向を定める「総合計画後期基本計画」の検討を始めています。そこで、中学生、高校生のみなさんの考えもこの計画に反映させることを目的として、一関市内の中学校3年生と高校2年生の中から900人の方を対象にアンケート調査へのご協力をお願いしております。

ご回答いただいた調査内容は、「こう思う方は全体の何%」といった形で統計的な数値に取りまとめますので、お名前や個人が特定された形で回答内容が外部に漏れるなど、ご迷惑をおかけすることはありません。自分の思ったとおりにお答えください。よろしくお願いいたします。

令和元年10月

一関市長 勝部 修

◆ご記入にあたってのお願い

- できるだけ濃い鉛筆か、黒のボールペンなどで記入してください。
- 設問に対する回答方法は、各問の選択肢の中から当てはまるものを選択してマークしていただくものと、内容を記入していただくものがあります。選択するものは、「1つ」の場合や、「あてはまるもの3つまで」などの場合があります。また、設問によっては回答していただく方が限られますので、ご注意ください。

※アンケート調査の集計結果につきましては、市のホームページでお知らせする予定です。

◆お答えいただいたアンケート調査票は、指定の日までに学校に提出してください。

【お問合せ先】

一関市 市長公室 政策企画課 政策推進係
〒021-8501 岩手県一関市竹山町7番2号
TEL 0191-21-8641 FAX 0191-21-2164



一関市総合計画後期基本計画策定 《中高生アンケート》

選択式の回答は、該当箇所のマーク○を塗りつぶしてご回答ください。

○: 空白マーク ●: 正しいぬりつぶし /: 不十分なぬりつぶし

記述式の回答は、回答欄からはみ出さないように記入してください。

この用紙は機械で処理します。回答欄以外に書き込みをしたり、用紙を汚したり、折り目を付けたりしないように注意してください。

(1) あなたの性別を教えてください。（1つ選択）

1. 男性

2. 女性

(2) 現在お住まいの地域を教えてください。（1つ選択）

1. 一関地域

2. 花泉地域

3. 大東地域

4. 千厩地域

5. 東山地域

6. 室根地域

7. 川崎地域

8. 藤沢地域

9. 一関市以外

(3) ※(2)で「9. 一関市以外」を選んだ場合は、お住まいの市町村名をお書きください。

(4) 学校名をお書きください。

(5) 高校生の方は、学科・コース名をお書きください。

(6) 就職はどの時期にしたいと考えていますか。（1つ選択）

1. 高校卒業後に就職

2. 専門学校卒業後に就職

3. 短期大学卒業後に就職

4. 大学卒業後に就職

5. 大学院修了後に就職

6. その他

(7) ※(6)で「6. その他」を選んだ場合は、その内容をお書きください。

★マークのしかた



(8) あなたは将来、どのような職業につきたいですか。(1つ選択)

- 1. 農林・畜産・園芸関係
- 2. 建築・土木・建設関係
- 3. 工業・製造関係
- 4. 鉄道・運輸・輸送関係
- 5. 情報通信・IT関係
- 6. 報道・マスコミ関係
- 7. 金融・証券・保険関係
- 8. 医療・保健関係
- 9. 社会福祉・介護関係
- 10. 教育関係
- 11. 保育園・幼稚園関係
- 12. 学術研究関係
- 13. スポーツ・芸能・芸術関係
- 14. 飲食関係
- 15. 理美容関係
- 16. デパート・スーパーなどの小売関係
- 17. 事務・経理・法律関係
- 18. 観光・旅行・ホテル関係
- 19. その他のサービス業
- 20. 各種団体職員・公務員
- 21. その他
- 22. どの選択肢を選べばよいかわからない

(9) ※(8)で「21. その他」を選んだ場合は、その内容をお書きください。

(10) ※(8)で「22. どの選択肢を選べばよいかわからない」を選んだ場合は、わかる範囲で希望する職業のイメージなどについてお書きください。

(11) あなたは将来、どの地域への就職を希望しますか。(1つ選択)

- 1. 一関市
- 2. 岩手県内の近隣市町
- 3. 宮城県内の近隣市町
- 4. 盛岡方面
- 5. 仙台方面
- 6. 東京方面
- 7. その他

(12) ※(11)で「7. その他」を選んだ場合は、その内容をお書きください。

(13) あなたが就職後に住みたい場所はどこですか。(1つ選択)

- 1. 一関市に住みたい
- 2. 一関市以外に住みたい → (16)へお進みください
- 3. わからない → (20)へお進みください

(14) (13)で「1. 一関市に住みたい」と答えた方にうかがいます。住みたいと思った理由は何ですか。(あてはまるもの3つまで選択)

- 1. 一関市周辺に希望する仕事や職種があるから
- 2. 住み慣れたまちだから
- 3. 友人や仲間がいるから
- 4. 自然環境がよいから
- 5. 人間関係がよいから
- 6. ゆったりとした暮らしができるから
- 7. 家族と離れて生活しようと思わないから
- 8. 家族が勧めるから
- 9. 特に理由はない
- 10. その他

(15) ※(14)で「10. その他」を選んだ場合は、その内容をお書きください。

★マークのしかた



(16) (13)で「2. 一関市以外に住みたい」と答えた方にうかがいます。一関市以外に住みたいと思った理由は何ですか。（あてはまるもの3つまで選択）

- 1. 一関市周辺に希望する仕事や職種がないから
- 2. 一関市以外のほうが給料や休暇などの待遇面が良いと思うから
- 3. 一関市以外のほうが自分の能力を生かし、成長できる機会があるから
- 4. 一関市より買い物や娯楽を楽しめるから
- 5. 日常生活を送るのに便利だから
- 6. 流行や最新の情報に触れていたいから
- 7. 親元を離れて一人暮らしをしたいから
- 8. 家族が離れて暮らすことに反対していないから
- 9. 特に理由はない
- 10. その他

(17) ※(16)で「10. その他」を選んだ場合は、その内容をお書きください。

(18) (13)で「2. 一関市以外に住みたい」と答えた方にうかがいます。将来的に一関市に戻ってくる考えはありますか。（1つ選択）

- 1. 戻りたい
- 2. 戻りたくない
- 3. わからない

(19) ※(18)で「1. 戻りたい」を選んだ場合は、その理由をお書きください。

(20) あなたは一関市の住みやすさについて、どのように感じていますか。項目ごとに1「非常に不満」～5「非常に満足」の5段階評価のうち、あてはまる番号を1つ選択してください。

		満足度				
		1.非常に不満	2.不満	3.どちらでもない	4.満足	5.非常に満足
1	人間関係、近隣関係	<input type="radio"/>				
2	まちの活気	<input type="radio"/>				
3	交通の利便性	<input type="radio"/>				
4	買い物の利便性	<input type="radio"/>				
5	物価	<input type="radio"/>				
6	教育環境	<input type="radio"/>				
7	保健・医療機関の体制	<input type="radio"/>				
8	子育て支援の体制	<input type="radio"/>				
9	高齢者、障がい者、妊婦、子ども等への配慮	<input type="radio"/>				
10	文化、教養、娯楽施設の充実	<input type="radio"/>				
11	働く場所	<input type="radio"/>				
12	自然環境	<input type="radio"/>				
13	居住環境	<input type="radio"/>				
14	治安、防災	<input type="radio"/>				

★マークのしかた



(21) 一関市を含む北上高地がＩＬＣ（国際リニアコライダー）計画の国内候補地となっています。一関市ではＩＬＣの実現を目指し、市民への普及啓発、国内外への情報発信などに取り組んでいます。あなたはＩＬＣの実現に伴って地域にどのようなことを期待しますか。（あてはまるもの3つまで選択）

- | | |
|--|--|
| <input type="radio"/> 1. 地域の国際化 | <input type="radio"/> 2. 地元産業の発展 |
| <input type="radio"/> 3. 地域ブランドの向上 | <input type="radio"/> 4. 新しいビジネスの創出 |
| <input type="radio"/> 5. 人材の育成・確保 | <input type="radio"/> 6. 教育環境の充実による教育水準の向上 |
| <input type="radio"/> 7. 道路や文化施設の整備など生活環境（ハード面）の充実 | <input type="radio"/> 8. レジャーや娯楽、ショッピングなど生活環境（ソフト面）の充実 |
| <input type="radio"/> 9. 特に期待はしていない | <input type="radio"/> 10. その他 |

(22) ※(21)で「10. その他」を選んだ場合は、その内容をお書きください。

(23) あなたは社会全体でみた場合には、男女の地位は平等になっていると思いますか。（1つ選択）

1. 男性の方が優遇されている 2. 平等だと思う 3. 女性の方が優遇されている

(24) 将来、どのようなまちになれば、一関市に住みたいと思う人が多くなると思いますか。（あてはまるもの3つまで選択）

- 1. 様々な種類の仕事や安定して働くことのできる仕事がある
- 2. 仕事だけでなく、自分や家族のための時間が取れる職場がある
- 3. 買い物や飲食を楽しむことができ、まちににぎわいがある
- 4. 自分の趣味、娯楽やスポーツを楽しめる機会や環境がある
- 5. 最新の流行や情報に接することができる
- 6. 自然の恵みを感じながらゆったりと生活できる
- 7. 観光客や外国人など市外の人が多く訪れ、交流ができる
- 8. 日常の買い物に不便を感じない環境がある
- 9. 自家用車を持たなくてもほかの交通手段で移動ができる
- 10. 快適に暮らせる住宅がある
- 11. 自然環境にやさしい暮らしを実現する取り組みを進めている
- 12. 安心して出産や子育てができる
- 13. 教育環境が充実している
- 14. 必要な医療サービスや福祉サービスが受けられる
- 15. 道路や上下水道などが将来にわたり維持されている
- 16. 自然や農村景観が残っている
- 17. 地域の祭りや文化、芸能が受け継がれている
- 18. まちづくりに若者の声を届ける場や参加できる機会がある

★マークのしかた



(25) あなたは将来、一関市がどのようなまちになればよいと思いますか。ご意見やご提案があれば自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。